工事番号2

波照間漁港波除提等整備工事(R8-2)

【公表資料】

特記仕様書
数量総括表
図面
積算参考資料

令和8年度離島における漁港工事
の発注に対するアンケート調査

添付資料

特記仕様書　　（ 当 初 ）

1. 工 事 名　　**波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)**

2. 工事場所　　**竹富町　波照間漁港**　　(**別紙「工事位置図」**参照)

3. 工　　期　　**210日間**

4. 工事概要

第1波除堤(防風柵)	L=	76m
第3波除堤(防風柵)	L=	22m
第5波除堤(防風柵)	L=	50m
4号岸壁(防風柵)	L=	9m
用地(1)(係船環)	A=	580㎡

5. 工事数量　　**別紙「工事数量総括表」**参照

6. 特記事項　　以下のとおり

※項目欄の条項に【該当なし】と記載のあるものについては、本工事に適用しない。

項　目	内　　容	共通仕様書
	第　1　章　　総　則	
第　1　条 共通仕様書の適用	本工事は本特記仕様書及び図面に基づき施工するものとし、本特記仕様書に定めの無い事項については、沖縄県農林水産部制定の「漁港漁場関係共通仕様書(**令和5年4月1日**)」(以下、「沖縄県共通仕様書」という。)、水産庁漁港漁場整備部制定の「漁港漁場関係工事共通仕様書(**令和8年4月**)」(以下、「水産庁共通仕様書」という。」に基づき実施しなければならない。 共通仕様書及び本特記仕様書に記載がない事項は、発注者の承諾を得たものを使用すること。 施工は本特記仕様書、図面を優先し、沖縄県共通仕様書、水産庁共通仕様書、その他の参考図書の順とする。	
第　2　条 一般承認事項	設計図書に定めのない事項、または本工事の施工にあたり疑義が生じた場合には、必要に応じて監督員と協議しなければならない。	
第　3　条 工事用基準面	工事用基準面は、以下のとおりとする。 漁 港 名　**波照間漁港** 漁港原点　**DL＝5．14m**　　**(EL＝4．14m)** (別紙「図面等」参照)	
第　4　条 貸与図書	貸与できる図書は、共通仕様書1－1－3条第1項のほか、下記の図書についても貸与することができる。 No ／ 貸与できる図書名 ① **波照間漁港波除堤等設計委託業務(R3)** ② **波照間漁港波除堤等設計委託業務(R4)** ③ **波照間漁港船揚場等防風柵設計委託業務(R5)** ④ ⑤	1-1-3 設計図書の照査等

第　5　条 主任技術者等の資格	主任技術者等の資格については、以下のとおりとする。 1.　主任技術者の資格は、次(イ)又は(ロ)に掲げるものとする。 請負工事金額 / 主任技術者 1億円以上 / 次の(イ)又は(ロ)に掲げる者とする。 (イ)　建設業法(昭和24年法律第100号)による技術検定(以下「技術検定」という。)のうち、検定種目を1級の建設機械施工または1級の土木施工管理に合格した者。 (ロ)技術士(建設部門、農業部門(選択科目を「農業土木」とするものに限る。)、森林部門(選択科目を「森林土木」とするものに限る。)水産部門(選択科目を「水産土木」とするものに限る。)又は総合技術監理部門(選択科目を「建設」、「農業－農業土木」、森林－森林土木」、「水産－水産土木」とするものに限る。))の資格を有する者。 1億円未満 / 次の(イ)又は(ロ)に掲げる者とする。 (イ)　技術検定のうち、検定種目を1級若しくは2級の建設機械施工または1級若しくは2級の土木施工管理とするものに合格した者。 (ロ)　上段(ロ)に掲げる者 2.　下請金額の総額が5千万円以上の場合は、主任技術者に代えて専任の監理技術者を置くものとする。 3.　監理技術者は、指定建設業監理技術者資格者証(以下「資格者証」という。)の交付を受けた者でなければならない。 4.　主任技術者等は、受注者(企業)と入札執行日以前に3カ月以上の雇用関係が成立していなければならない。 5.　受注者は、「直接的な雇用関係」を証明する資料(監理技術者資格者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる資料の写し)を、着手届と共に提示しなければならない。 6.　監理技術者は、資格者証を常に携帯し、発注者等から請求があったときはこれを掲示しなければならない。 7.　監理技術者の氏名、資格名、登録者証交付番号を記載した標識を、公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。	1-2-3 主任技術者 (監理技術者)
第　6　条 工場製品の品質管理	建設工事の目的物の一部を構成する工場製品の品質管理について、当該工場製品を工場へ注文した下請(又は元請)やその上位の下請、元請の主任技術者等については、主要な工程の立ち会い確認や規格品及び認定品に関する品質証明書類の確認など適宜合理的な方法による品質管理を行うこと。	1-2-3 主任技術者 (監理技術者)
第　7　条 現場事務所の設置	1.　受注者は、工事現場内、又は現場付近に現場事務所を設置しなければならない。 2.　現場事務所内には、本工事の概要、実施工程表、工事組織図、天気図その他必要事項を一目で理解できるよう作成し掲示すること。また、本工事に必要な測量器具を常時使用できるように整備するとともに、図面・仕様書及び必要な規格図書を常置しておかなければならない。	

第　8　条
設計変更等に伴うコリンズ登録について

設計変更等により「本件登録工事の受注に対応した建設業許可業種（いわゆる主たる工種）」が変更となる場合には、工事実績情報サービス（コリンズ）に基づき、契約変更後速やかに「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、変更登録を行うこと。

1-1-6
工事実績情報（工事実績データサービスCORINS）の作成・登録

第　9　条
下請け業者の県内企業優先活用

受注者は、下請契約の相手方を県内企業（主たる営業所を沖縄県内に有するもの）から選定するよう努めなければならない。

1-1-10
工事の下請負

第　10　条
支給材料及び貸与物件
【該当なし】

支給材料及び貸与物件は下記のとおりとする。

1. 引渡場所

2. 引渡時期

3. 内　訳

品名	形状寸法	単位	数量	備考

1-1-19
支給材料及び貸与物件

第　11　条
材料検査

受注者は、下記の材料について事前に監督職員の検査（確認を含む）を受けるものとする。

指定材料	規格	備考
防風柵	**支柱、有孔折板**	

検査時期及び検査場所、検査内容については、事前に監督職員と調整すること。

1-1-21
工事材料の品質

1-1-22
監督員による材料検査（確認を含む）、施工状況検査及び立会等

第　12　条
施工状況検査

1. 施工状況検査の内容及び時期について、施工計画書の「施工管理」の事項に記載すること。記載内容は、施工状況検査の対象となる工種、細別【項目】、検査時期とする。

（記載例）

（施工状況検査）内容及び時期

工　種	細 別 ［項目］	検査時期	備　考
基礎工	**基礎捨石工［出来型］**	**荒均し完了時**	**P5-2**

1-1-22
監督員による材料検査（確認を含む）、施工状況検査及び立会等

2.　受注者は、共通仕様書1-1-24条第3項第1号の検査を受ける場合は、監督職員に**別紙「施工立会請求書」**により検査を請求すること。
　施工立会請求書の工種及び項目欄は下記の記載例のとおりとする。

（記載例）
1　工　　種　：（施工状況検査）基礎工
2　項　　目　：基礎捨石工[出来型]（荒均し完了時）

第　13　条
指定部分検査

【該当なし】

建設工事請負契約書第39条に規定する「指定部分」については、下記の工事を指定する。

工種	規格	数量	単位	備考
本工事では、指定部分はありません。				

検査日程等については、受注後、監督職員と協議の上決定する。

1-1-25
既済部分検査等

第　14　条
提出書類

本工事では、下記の書類を作成し、監督員の承認のうえ提出すること。

(1) 工事概要書
　工事概要書の作成は、**別紙「漁港・漁場・海岸工事概要書の作成例（案）」**に基づき作成すること。
　提出部数は、製本を2部、電子データ（CD－R等）を2枚とする。

1-1-23
提出書類

第　15　条
施工環境監理者の配置

1.　本工事では、施工環境監理者を配置すること。

2.　施工環監理者の配置ついては共通仕様書1-2-4の定めによるものと

3.　施工環境監理者業務のため、特別に必要とされる水質調査、底質調査、環境生物調査等に関しては、監督員と協議のうえ、変更契約の対象とする。

1-2-4
施工環境監理者

第　16　条
公共事業労務費調査

【該当なし】

本工事は、モニタリング調査の対象工事である。受注者は、下記の資料を作成し、電子データを監督職員に提出すること。

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)
※　様式は、別紙参照。
※　電子データは、CD－Rに保存して1枚提出すること。

1-1-15
調査・試験等

第　17　条
ウィークリースタンスの取り組みについて

1.　工事現場環境に関しては、ウィークリースタンス実施要領の3．取組内容について、業務着手時の打合せ時に確認、調整し、取組内容を設定すること。なお、取組内容は打合せ記録簿へ記録し、受発注者で共有すること。

取組内容

ワーク・ライフ・バランスを推進するため、以下の取組を設定し、業務環境の改善を図る。ただし、業務の進捗に差し支えない範囲で実施するものとする。

(ア)標準項目

① ワンデーレスポンスに関すること
② 依頼日・時間及び期限に関すること
③ 会議・打合せに関すること
④ 業務時間外の連絡に関すること

1-2-5
工程管理

第　18　条 『建設リサイクル法』実施に伴う留意点について	1.　受注者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物について、「建設工事に係わる資材の再資源化等に関する法律」（以下、「建設リサイクル法」という。）及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下、「廃棄物処理法」という。）を遵守し適正に処理しなければならない。 2.　受注者は、その請け負った建設工事の全部または一部を他の建設業を営む者に請け負わせようとするときは、当該他の建設業を営む者に対し、建設リサイクル法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について、「告知書」で告げなければならない（下請者への告知「建設リサイクル法第12条第2項）。 3.　受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」（COBRIS）により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督員に提出しなければならない。 4.　受注者は、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「建設副産物情報交換システム」（COBRIS）により作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督員に提出しなければならない。 5.　本工事で発生した建設資材廃棄物は、沖縄県が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。 6.　本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記5. に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計がもっとも経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。	1-2-10 建設副産物
第　19　条 アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物等	アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物及び濁水は、産業廃棄物として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正に処理すること。	1-2-10 建設副産物
第　20　条 建設発生土について	1.　工事現場等における分別及び保管 建設発生土の搬出に当たっては、建設廃棄物が混入しないように分別解体に努めなければならない。重金属等で汚染されていると判断される建設発生土等については、特に適切に取り扱わなければならない。 また、建設発生土をストックヤードへ保管する場合には、建設廃棄物の混入を防止するための必要な措置を講じるとともに、公衆災害の防止を含め周辺の生活環境に影響を及ぼさないように努めなければならない。 2.　運搬 次の事項に留意し、建設発生土を運搬しなければならない。 (1)　運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により、騒音、振動、塵埃等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。 (2)　運搬途中において一時仮置きを行う場合には、関係者等と打合せを行い、環境保全に留意すること。 (3)　海上運搬する場合、周辺海域の利用状況等を考慮して適切に経路を設定するとともに、運搬中は環境保全に必要な措置を講じること。	1-2-10 建設副産物

	3. 受入地での埋立て及び盛土 建設発生土の工事間流用ができず、受入地に置いて埋立てる場合には、関係法令に基づく必要な手続きの他、受入地の関係者と打合せを行い、建設発生土の崩壊や降雨による流出等により公衆災害が生じないよう適切な措置を講じなければならない。重金属で汚染されている建設発生土等については、特に適切に取り扱わなければならない。	
第 21 条 不発弾等発見時の処理について	本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署(交番、駐在所)に報告すると共に、監督職員を通して関連市町村(防災主管課)、沖縄県知事公室防災危機管理課及び農林水産部漁港漁場課に報告すること。 また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態で保存すること。 上記については、下請業者へも周知すること。	1-3-1-10 適用 (安全管理)
第 22 条 暴力団員等による不当介入の排除対策	1. 受注者は、共通仕様書に定めのある事項のほか、当該工事の施工に当たって「沖縄県農林水産部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書」(平成19年9月26日)に基づき、次に掲げる事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するもの 2. 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 3. 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署に被害届けを提出すること。 4. 排除対策を講じたにもかかわらず、工期に遅れが生じる恐れがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。	1-1-41 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置
第 23 条 情報共有システムの使用	本工事は、沖縄県が指定する情報共有システムを使用するものとする。 現場事務所等に、情報共有システムが使用可能な下記程度のインターネット環境を整えること。なお、現場条件等により、当該整備が不可能な場合は、監督員と協議すること。 【インターネット環境】:ブロードバンド回線 【パソコンOS】:Microsoft Windows 【推奨ブラウザ】: Microsoft Edge (沖縄県CALSシステム運用サイト HPアドレス) http://www.okinawa.pref.calsasp.jp/ 情報共有システムとは、業務や工事の履行期間中において、発注者間でインターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有・交換するもである。	
第 24 条 沖縄県CALSシステム使用許諾料の支払い	請負者は、沖縄県CALS システムの利用にあたっては、沖縄県とCALS運営会社で定めた使用許諾料を、「沖縄県CALS システム運営業務」を受託している者に支払うこと。	

第　25　条 支払証明	沖縄県CALS システムの使用許諾料を支払ったときは、すみやかに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること。確認を受ける際には、支払いの事実を証明する書類（銀行振り込みの写し等）の提出すること。	
第　26　条 本工事と関連する工事を本受注者と随意契約する場合の取扱いについて	本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合、関連する工事の予定価格は、関連する工事の設計額に本工事の請負比率（当初請負額÷当初設計額）を乗じたものとする。	
第　27　条 請負代金額を変更する場合の請負比率の適用について	工事の内容または数量等に変更が生じ請負代金額の変更が生じた場合、協議の対象となる変更請負代金額は、本工事の変更設計額に本工事の請負比率（当初契約額÷当初設計額）を乗じたものとする。 請負代金額（変更）　＝設計金額（変更）×請負比率 請負比率　　＝当初契約額÷当初設計額	
	第　2　章　　材 料	
第　28　条 アスベスト含有建設資材の使用禁止について	1.　原則として、原材料にアスベストを含んだ建設資源を使用しないこと。 8.　前項の確認にあたっては、メーカーが発行する「アスベストを原材料としていない旨の証明書」などにより行うこととする。	
第　29　条 県産品の優先使用	受注者は、本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ規格、品質及び価格等が適正である場合は、これを優先して使用するものとする。また、工事完成通知書に「県産建設資材使用状況報告書」を添付して提出しなければならない。	
第　30　条 設計図書における資材等の取扱いについて	1.　本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品または工法を指定するものではない。 2.　本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとおりの品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同等品以上の資材を使用すること。なお、使用にあたっては監督職員の承諾を得るものとする。 3.　**「参考図」**は建設工事請負契約約款第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。	
第　31　条 ゆいくる材	1.　ゆいくる材の利用 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物を原材料とするゆいくる材に限り、原則「ゆいくる材」とする。それ以外を原材料とするゆいくる材は率先して使用することとする。 ゆいくる材がない離島等での工事の場合は、ゆいくる材以外の再生資源を使用することができる。この場合においても受注者は「ゆいくる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施しなければならない。 またゆいくる材の在庫がない等により使用できない場合は、監督職員と協議すること。	

	2. 建設廃棄物の搬出 (1) 受注者は、工事で発生した建設廃棄物については、ゆいくる材の認定を受けた施設、またはゆいくる材の認定を受けていないが、再資源化後にゆいくる材製造業者への原材料として出荷している施設へ搬出すること。ただし、離島で施設がない場合や、建設発生木材(伐採木を含む)や建設汚泥の再資源化施設が50 km以内にない場合はこの限りではない。 (2) 本工事における再生資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前述に掲げる施設のうち、受入条件の合う中から、運搬費と処分費(平日受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。 3. ゆいくる材の品質管理 (1) ゆいくる材の品質管理にあたっては、「共通仕様書」のほかに「ゆいくる材品質管理要領」に基づいて行うこと。 (2) 受注者は、工事請負金額が500万円以上でゆいくる材を使用する場合、着手後に(一財)沖縄県建設技術センターあてに「ゆいくる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。 (3) 受注者は、サンプル送付試験のサンプル採取、及び現場への資材初回搬入時と敷均し転圧完了後の現場簡易試験を実施する場合、監督職員等の立会いのもと実施しなければならない。 (4) 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した場合、速やかに監督職員に試験結果を報告しなければならない。 4. ゆいくる材の品質管理 受注者は、完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督職員に提出しなければならない。 ・ ゆいくる材利用状況報告書 ・ ゆいくる材出荷量証明書 ・ 再生資源利用実施書、同利用促進実施書
第 32 条 琉球石灰岩の違法採掘防止	工事用資材として琉球石灰岩(古生代石灰岩を除く)を使用する場合は、出鉱証明書(原本)を提出すること。琉球石灰岩とは、捨石、栗石、クラッシャーラン等をいう。
第 33 条 コンクリート	コンクリートは、JIS A 5308レディーミクストコンクリートとし、配合は下記のとおりとする。 配合設計において、指定された設計基準強度で下表の水セメント比が確保できない場合は、上位規格である設計基準強度のコンクリートを使用して下表の水セメント比を確保するものとする。

コンクリート配合条件及び設計基準強度

種類	対象構造物	設計基準強度 N/mm2	ｽﾗﾝﾌﾟ cm	粗骨材最大寸法 mm	水セメント比 %	許容塩化物量 kg/m3
無筋	**上部工**	18	8	40	65以下	0.3以下

第 34 条
水中コンクリート

水中コンクリートの配合は下表のとおりとする。

コンクリート配合条件及び設計基準強度

種類	呼び強度 N/mm2	設計基準強度 N/mm2	ｽﾗﾝﾌﾟ cm	粗骨材最大寸法 mm	最大水セメント比 %	単位セメント量 kg/m3
水中コンクリート	30	18	15	40	50	370以上

上記に示す呼び強度以下で、配合条件及び設計基準強度を満足できる場合は、設計変更の対象とする。

第 34 条
水中不分離性コンクリート
【該当なし】

水中不分離性コンクリートの配合は下表のとおりとする。

コンクリート配合条件及び設計基準強度

種類	呼び強度 N/mm2	設計基準強度 N/mm2	配合条件			
			ｽﾗﾝﾌﾟﾌﾛｰ cm	粗骨材最大寸法 mm	最大水セメント比 %	単位セメント量 kg/m3
水中不分離性コンクリート	27	18	50	20	60	300以上

上記に示す呼び強度以下で、配合条件及び設計基準強度を満足できる場合は、設計変更の対象とする。

第 35 条
単位水量の測定について

1. 単位水量の測定を実施する対象工事は、1日当たりコンクリート種別ごとの使用量が100m^{3}以上施工するコンクリート工を対象とする

2. 単位水量の測定は、次によるものとする。
   (1) 受注者に単位水量を含む正確な配合設計書を確認させることとする。
   (2) 示方配合の単位水量の上限値は、粗骨材の最大寸法が20mmから25mmの場合は175kg/m^3、40mmの場合は165kg/m^{3}を基本とする。単位水量を減じることにより、施工性が低下する場合は、必要に応じて、支障のない量で高性能AE減水剤の使用を検討すること。
   (3) 単位水量の測定は、2回/日（午前1回、午後1回）または構造物の重要度と工事の規模に応じて100m^{3}から150m^{3}ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時に実施することとする。
   (4) 現場で測定した単位水量の管理値は、次の通りとして施工することとする。

	ア　測定した単位水量が、配合設計±15kg/m^3の範囲にある場合はそのまま施工してよいものとする。 イ　測定した単位水量が、配合設計±15kg/m^3を越え±20kg/m^3の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m^3以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行うこととする。 ウ　配合設計±20kg/m^3の指示値を超える場合は、生コンを打ち込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い、配合設計±20kg/m^3以内になることを確認する。さらに、配合設計±15kg/m^3以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行うこととする。 打設≦(管理値＝配合設計±15)＜改善指示≦(指示値＝配合設計±20)＜持ち帰り (5) 単位水量管理についての記録を書面と写真により提出させることとする。 3.　コンクリートのスランプ管理は次によるものとする。 (1)　スランプの測定は2回/日(午前1回、午後1回)または構造物の重要度と工事の規模に応じて100m^3～150m^3ごとに1回、および荷卸し時に品質変化が認められた時に実施することとする。 (2) コンクリート打設時にポンプの筒先等の適切なワーカビリティーを確保するため、場内運搬時のスランプロスを考慮してコンクリートのスランプを指定するものとする。 (3) コンクリートポンプを用いる場合は、コンクリートのポンプ施工指針(土木学会)等の規程によることとし、コンクリート打込み地点とスランプ管理地点である荷卸し定点の差を見込むものとする。	
	第　3　章　　施　工	
第　36　条 漁港漁場関係工事における週休2日施行工事について	本工事は、月単位の週休2日に取り組む工事の対象である。 月単位の週休二日とは、対象期間において、全ての月で4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう(すべての月毎の現場閉所率が28．5%(8日／28日)以上)(土日でなくても可)。やむを得ず取得した休日に作業が生じる場合は、振り替えの休日を取得するものとする。 工事着手前に、月単位の4週8休以上の取得計画を記載した「取得計画表」を作成し、監督員の確認を得たうえで、施工計画書に添付するものとする。 毎月の履行報告書と併せて休日取得状況報告書を発注者へ提出する。週休2日の取組状況により、工事成績評定における創意工夫及び工事管理の項目で評価する。なお、提出された工程表が週休2日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に週休2日に取り組むし姿勢が見られなかった場合については、必要に応じて点数を減ずる措置を行う。 予定核については、月単位の4週8休以上を達成した場合の補正係数を労務単価等に乗じたうえで作成している。4週8休以上の達成が見込まれ	

現場閉所率が28．5%（8日／28日）以上の場合
・労務費 1．02
・共通仮設費率1．02
・現場管理費率 1．03
・市場単価及び土木標準単価「漁港関係工事における週休2日施行工事の実施要領」による。
工事現場の公衆の見やすい場所に週休2日の取得状況を掲示するものとする。

第 37 条
施工条件

本工事の施工にあたっての施工条件を**別紙「施工条件明示」**に明示するので、受注者は、施工計画書の作成時及び工事施工時においては、十分留意するものとする。
なお、明示した施工条件に変更が生じた場合は、契約変更の対象とする。また、施工条件が当初の段階で想定できず、工事実施期間中に発生した場合についても、発注者と受注者で協議し、契約変更の対象とする。

第 38 条
作業船の回航えい航費について

【該当なし】

1. 本工事で使用する作業船等については、下記数量のとおり、回航費を計上している。

作業船	規格	基地港	作業場所	回航・えい航	往復・片道	回数	備考

2. 船舶の入出港等が異なる場合については、監督職員と別途協議しなければならない。

3. 作業船の回航等において、その他疑義が生じた場合は、監督職員と別途協議しなければならない。

第 39 条
汚濁防止膜工

【該当なし】

汚濁防止膜については、使用する。

1. 汚濁防止膜の規格 ： #300
2. 汚濁防止膜の施工位置等
(1) 位置
(2) 延長
(3) 高さ

3. 汚濁防止膜の位置等を適宜確認し管理すること。

第 40 条
地域外労働者確保に関する間接費の設計変更について

1.本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象費」という。）について、工事実施に当たって不足する労働者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、漁港漁場関係工事積算基準（以下「積算基準」という。）の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象費の支出実績も踏まえて最終精算変更時点で設計変更する施行工事である。
営繕費：労働者の輸送に要する費用、宿泊費、借上費
（宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る。）
労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

	2.受注者は、契約締結後、労働者確保に要する間接工事費の実績変更（以下「間接工事費の実績変更」という。）の請求をする意思がある場合は、事前に「労働者確保に要する実績変更対象費に関する実施計画書（別添様式）」を監督員に提出し、発注者と協議するものとする。 3.本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額（漁港漁場工事積算基準に基づき算出した額）における共通仮設費（率分）及び現場管理費に対する実績変更対象費分（以下、「実績変更対象（率式）」という。【C】）の割合は次のとおりである。 1）共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合 ・構造物工事　15.24％ 2）現場管理費に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合 ・構造物工事　1.95％ 4.受注者は、「間接工事費の実績変更」を請求する場合は、「労働者確保に係る実績報告書（様式1）」及び実績変更対象費に実際に支払ったすべての証明書類（領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書などをいう。）を監督員に提出し、「間接工事費の実績変更」の内容について協議するものとする。なお、自責報告書及び証明書類の提出期限等については、監督員と協議のうえけっていするものとする。 実績変更対象費に実際支払った額のうち、証明書類において確認された費用（以下「支出実績額」という【B】）を協議対象とする。 5.受注者の責めによる工事工程の遅れ等、受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。 6.発注者は、実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、支出実績額【B】から実績変更対象費（率式）【C】を差し引いた費用（これを「実績変更対象費（積上）」という。【A】）を、積算基準により算出した共通仮設費及び現場管理費に加算し、清算変更時の設計額を算出するものとする。（【A】＝【B】-【C】） 7.受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名停止等の措置を行う場合がある。 8.疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。 9.受注者は、発注者による当該工事の実績変更対象額にかかる労働者の従事状況の確認時には、必要な書類（対象となる名簿等）を準備するとともに、当該調査に立ち会う等の協力を行うものとする。
第　41　条 不正軽油の使用の禁止等について	1. 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）又は建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第 144条の 32 の規定に違反する燃料をいう。）を使用し、又は使用させてはならない。 2. 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の抜取調査に協力しなければならない。
第　42　条 施工管理について	本工事の施工管理について、水産庁漁港漁場共通仕様書に記載されている〈特による。〉の決定については、監督職員と協議の上決定するものとする。
第　43　条 建設業退職金共済制度の履行	受注者は、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入し、その掛金収納書（発注者用）を工事請負契約締結後原則1ヶ月以内（電子申請方式による場合にあっては、工事請負契約締結後40日以内）に、発注者に提出しなければならない。また、受注者は、建設業退職金共済制度について、建設キャリアアップシステムの活用等により技能労働者等の就労状況を適切に把握し、これに基づく履行状況について、工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し、検査職員に提示しなければならな

第　44　条 難工事指定について	本工事は、施工実績をその後の工事発注での総合評価において、「難工事施工実績」として加点評価する「難工事」に指定された工事である。 「難工事」として施行し、完成したことを認められた工事について、「難工事施工実績証明書」（様式1）を発行し、当該証明書は、総合評価の「難工事施工実績」における証明資料とすることができる。	
第　45　条 熱中症対策について	1.本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の施行対象工事である。 現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。なお、補正は変更契約において行うものとする。 補正値（%）＝真夏日率×真夏日補正係数※ 2.用語の定義 (1)真夏日 日最高気温が30度以上の日をいう。 ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が30度以上の場合とする。 (2)工期 工事の始期から工事の終期までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、 不稼働日、後片付け期間の合計をいう。 なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、 工事全体を一時中止している期間は含まない。 (3)真夏日率 以下の式に算出された率をいう。 3.工事着手前に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を施工計画書に記載し提出すること。 気温の計測方法は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または、環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT)を用いることを標準とする。なお、WBGTを用いる場合は、WBGTが25以上となる日を真夏日と見なす。 ただし、これによりがたい場合は、施工現場を代表する1地点で気象庁の気温計測方法に準拠した方法により得られた計測結果を用いてもよい。 なお、計測に要する費用は受注者の負担とするものとする。 4.施工計画書に基づき、計測結果の資料を提出すること。	
第　46　条 建設現場における遠隔臨場の実施について	(1) 建設現場における遠隔臨場の実施 「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「施工状況検査等に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）とWeb会議システム等を介して「施工状況検査」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。 なお、遠隔臨場は、沖縄県農林水産部漁港漁場課制定の『漁港・漁場の建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』の内容に従い実施する。 (2) 遠隔臨場を適用する工種、確認項目 現場条件により遠隔臨場の適用性が一致しない場合も想定されることから、現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。受注者は適用する工種・確認項目に関する協議資料作成にあたり、国土交通省 港湾局技術企画課制定の『港湾の建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』「7. 参考資料」、「7.3 確認項目の適用性」別表1～3を参考とする。 (3) 実施内容 1) 施工状況検査・材料検査、立会での確認 ① 受注者が動画撮影用カメラ（ウェアラブルカメラ等）により撮影した映像と音声をWeb 会議システム等を利用しながら確認するものである。試行内容については、受注者との協議により実施するものとする。	

	② 確認実施者が現場技術員の場合は、現場技術員が使用するPC等にて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ（パソコン等の画面表示を静止画像として保存）等で記録し、沖縄県CALSシステム等で監督職員へ提出する。なお、データの提出は水産庁制定の『漁港・漁場の建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査試行要領（案）』に従い、取りまとめるものとする。 2) 機器の準備 遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）やWeb 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。発注者側にて準備している動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や既に使用している Web 会議システム等を含め詳細については、監督職員と協議し決定するものとする。 3) 遠隔臨場を中断した場合の対応 電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行う。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。 4) 費用 遠隔臨場にかかる費用については、技術管理費に積上げ計上する。なお、遠隔臨場にかかる費用は当初計上していないため、監督職員との協議により設計変更の対象とする。 5) 不正行為 遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業を営む者の不正行為等に対する監督処分の基準（平成19年12月7日）』等に従い、監督処分を実施する場合がある	
第 47 条 工事円滑化会議について	本工事は、工事の着手前に、現場条件、施工計画、工事行程等について、受注者と発注者が一堂に会して、情報共有を行い、円滑な工事を実施することを目的として開催する「工事円滑化会議」の施行対象工事である。 なお、工事円滑会議は、工事の円滑化が目的であり、設計変更等の協議を行う会議ではない。 その他事項については、沖縄県農林水産部工事円滑会議施行要領による。	
第 48 条 作業船を使用した工種の積算について	1. 本工事は、作業船乗組員の時間外労働を前提とした現行の積算基準を適用せず、適正な就業時間を反映させた『見積』により積算計上する試行工事である。	
【該当なし】	2. 浚渫工及び土捨工の海上作業船を使用する歩掛について、当初積算では漁港漁場関係工事積算基準を適用しているが、施工条件や適正な就業時間を反映させた『歩掛見積』をもって監督職員と協議し、工期末日までに変更契約するものとする。なお、作業船の就業時間は最大8時間とする。	
第 49 条 余裕工期	1. 本工事は余裕期間として30日間を設定した工事である。なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮していない。	
【該当なし】	2. CORINS登録については、実工期期間にて技術者の従事期間の登録を行なうこと。 3. 余裕期間における現場代理人、主任技術者又は監理技術者の配置は、不要とする。 4. 受注者は、契約書第3条に基づき提出する工程表は、余裕期間を記入したものとする。 5. 受注者は、着手関係書類（ 工程表、請負代金内訳書を除く）について、実工期の始期に提出するものとする。	

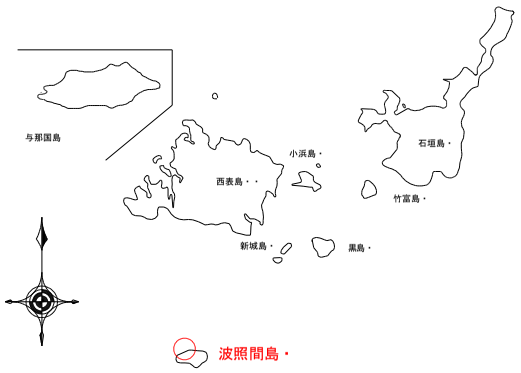
（別紙）施工条件明示

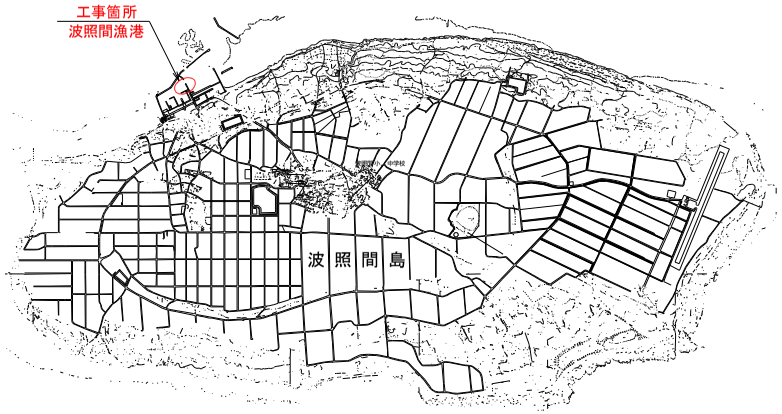
項　目	結　果	明示事項
1. 工程関係		
ア　工事の着手時期	調整は無い	
イ　施工時間帯	通常を予定	施工時間帯は、日の出から日の入りまでの間とする。
ウ　発注者と関係機関等との協議	無し	・特定された条件は特段付されていない。 ただし、工事施工に当たっては、漁港利用者に支障が生じないように努めること。 ・浮桟橋(2)に高速船が係留するため、施工方法等について安永観光と十分調整すること。
エ　発注者と他官庁等との協議	無し	・特定された条件は特段付されていない。
オ　余裕工期	無し	・余裕工期は設定していない。
カ　漁港関係工事協議会の設置	無し	
キ　地下埋設物等の調査	無し	
ク　週休2日対象外期間	無し	
2. 用地関係		
ア　工事区域の用地取得	無し	
イ　ブロック製作ヤード	**無し**	
3. 公害関係		
ア　工事に伴う公害防止（騒音・振動・粉塵・排出ガス等）	特段の考慮なし	・ただし、本工事に伴う騒音・振動・粉塵・排出ガス等の対策については十分に配慮するとともに、地域住民及び漁業者との協調を図り、工事の円滑な進捗に努めること。 ・既設構造物を取り壊す際は、コンクリートを海面下に落下させないこと。
イ　水替、濁水処理等（海域の汚濁防止）	無し	・ただし、濁水対策については十分に配慮するとともに、地域住民及び漁業者との協調を図り、工事の円滑な進捗に努めること。 ・土砂を取り扱う場合は、赤土等流出防止対策を行うこと。

ウ	事業損失に係わる事前調査等	想定していない	・周辺環境へ影響が懸念される場合は調査をおこなうこと
4. 安全対策関係			
ア	所轄警察との事前協議及び保安対策	検討が必要	・本工事では、交通誘導員を計画していないが、現地の交通状況等により必要と判断される場合は、監督員と協議するものとする
イ	安全監視船の配置	無し	・本工事では、安全監視船を計画していないが、現場状況により必要と判断される場合は、監督員と協議するものとする
ウ	有毒ガス及び酸素欠乏等の対策	無し	
エ	不発弾探査	無し	・必要が生じた場合は監督職員と協議すること
5. 工事用道路関係			
資機材等の搬入路		制限を受けていない	・漁港内臨港道路を使用する場合、地元漁協と調整・連絡すること。 ・公道を通行する際は、管理者と協議すること。
6. 仮設備関係			
本工事で設置した仮設物		**撤去すること**	・工事目的物が完成した段階で撤去すること。
7. 作業船関係			
作業船の指定		**指定しない**	・本工事では作業船の指定はない。
作業船の回航内容の指定		**指定しない**	・特記仕様書第38条のとおり。
8. 建設副産物関係			
ア	建設発生土	発生する	・掘削土の仮置き場所は別途協議する。
イ	建設副産物	発生する	・コンクリート殻（無筋）、は適正に処理すること。

9. 工事支障物件等			
	工事区域の占用等の支障物件	無し	
10. 薬液注入関係			
	薬液注入工法の施工	無し	
11. その他			
	ア　工事用資機材の仮置き	**特段考慮していない**	・漁港施設を工事ヤードとして使用する場合は、施設使用の申請を行うこと
	イ　現場発生品及び支給品等	**無し**	
	ウ　関係機関・自治体等との近接施工	無し	・本工事受注後、近接工事があれば関連する工事業者と十分に連絡、打合せを行い、工程に支障が生じないよう調整すること
	エ　新技術・新工法・特許工法	無し	
	オ　部分使用	無し	
	カ　用水の取水	無し	
12. その他			
	ア　建設機械の海上運搬	無し	
	イ　地元との調整	無し	
	ウ　積算について(間接費の取り扱い)	有り	防風柵設置工における資材費においては漁港漁場関係積算基準(令和7年度版)に基づき、共通仮設費率、イメージアップ経費率、現場管理費率、については対象外とする。
	エ　積算基準書等の採用年月について	本工事設計書は、以下の基準・単価を用いて作成している。 【歩掛】令和7年度　積算基準 令和8年7月（夏）　市場単価 【労務】令和8年3月 【資材】令和8年7月　沖縄県実施単価表 令和8年7月　物価資料 【損料】令和7年度	

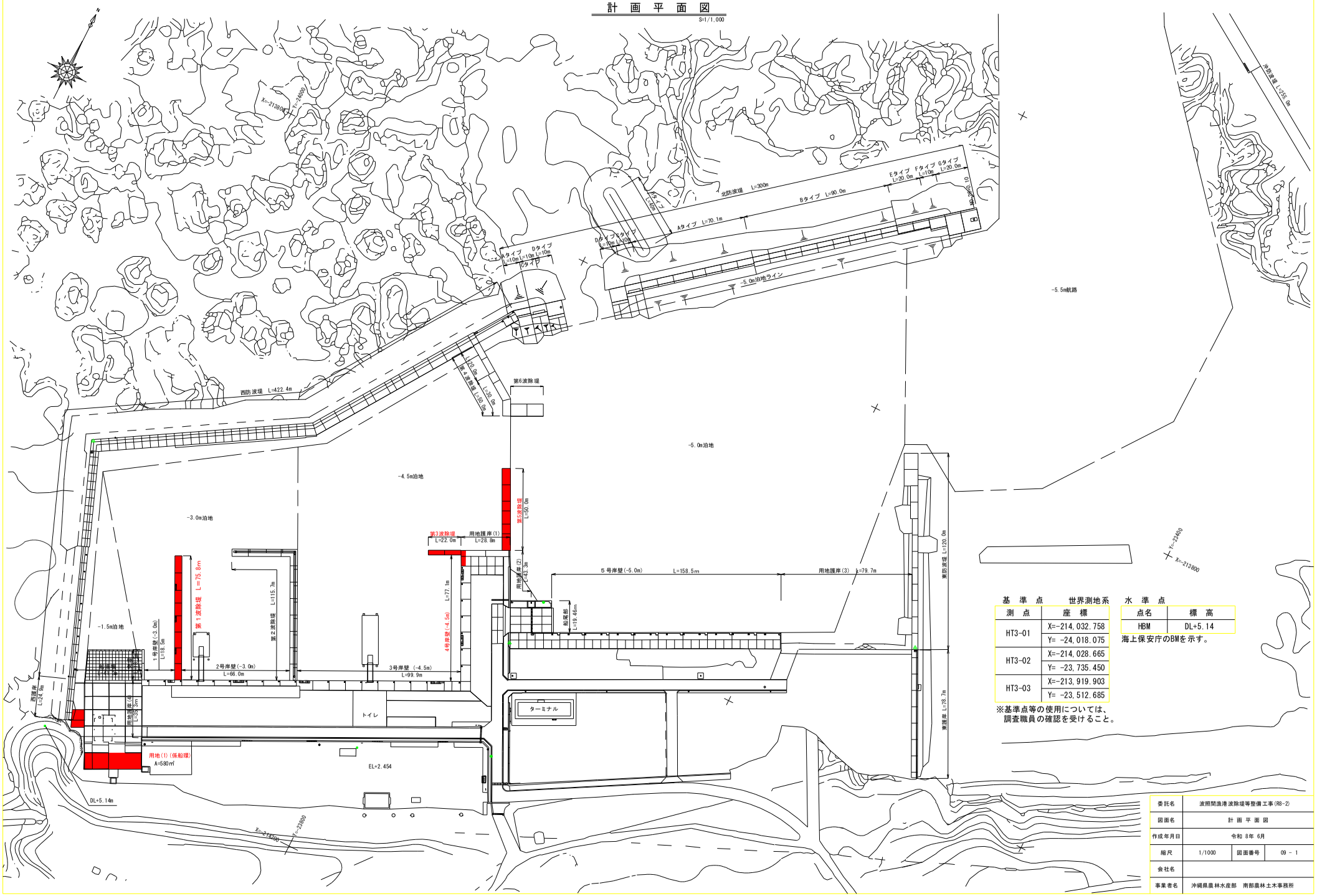
位　置　図





計 画 平 面 図

S=1/1,000



基 準 点　　世界測地系

測 点	座 標
HT3-01	X=-214,032.758
	Y= -24,018.075
HT3-02	X=-214,028.665
	Y= -23,735.450
HT3-03	X=-213,919.903
	Y= -23,512.685

※基準点等の使用については、
調査職員の確認を受けること。

水 準 点

点名	標 高
HBM	DL+5.14

海上保安庁のBMを示す。

委託名	波照間漁港 波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	計 画 平 面 図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	1/1000	図面番号	09 - 1
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
第1波除堤			m	75.8	
上部工					
	型　枠	製作 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ16t吊 鋼製	m^2	161.5	陸上施工
	コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車 18N-8-40	m^3	84.5	
	目地材	t=10mm 瀝青質系	m^2	9.5	
雑工					
	チッピング	空気圧縮機、ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ20kg級 陸上部	m^2	75.0	
	削孔	ハンマドリル、発動発電機 陸上部	孔	300	
	コンクリートアンカー用 樹脂カプセル	陸上部、D16用、HP-16	本	300	
	鉄筋	D16mm、SD295A	kg	295	
防風柵設置工 標準部					
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4750mm	本	18	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）上16段	枚	288	
	有孔折板 取付ボルト	M8×30(1緩止N･2W付)	組	1,152	
	(ツキツケ用) 巾止金具	t2.3×25×65	枚	540	
	巾止金具 取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	組	540	
防風柵取付工 標準部					
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4750mm	本	18	
	有孔折板	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	枚	288	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
防風柵設置工 堤頭部					
	取合支柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4750mm	本	1	
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4750mm	本	7	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）上15段	枚	90	
	〃	t1.6×250、L=1940mm（遮蔽率60%）上15段	枚	15	
	有孔折板 取付ボルト	M8×30(1緩止N･2W付)	組	420	
	有孔折板60	t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）下1段	枚	6	
	〃	t2.3×250、L=1940mm（遮蔽率60%）下1段	枚	1	
	有孔折板 取付ボルト	M10×35(1緩止N･2W付)	組	28	
	(ツキツケ用) 巾止金具	t2.3×25×65	枚	210	
	巾止金具 取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	組	210	
防風柵取付工 堤頭部					
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4750mm	本	8	
	有孔折板	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	枚	112	
付属工					
	係船直柱	新設 50kN型	基	12	
	コーナー保護材	100H	m	24	
	タラップ	補助梯子付（900） 150H×1800L	基	2	
	安全標示灯	φ25,D200 ＬＥＤ、防水	基	2	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
共通仮設費					
運搬費	クローラクレーン	2.8t×1.4m級	式	1	

数　量　総　括　表

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
第3波除堤			m	40.0	
堤体工					
	水中型枠	潜水士船・ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ45t吊 鋼製	m^2	126.3	陸上施工
	漏えい防止シート	潜水士船D180ps 3～5t吊 不織布4mm	m^2	44.0	
	水中コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車 30N-15-40	m^3	125.7	陸上施工
	目地材	瀝青系 t=10mm	m^2	16.8	
上部工					
	支保工	ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ45t吊 鋼製枠組	m	29.0	陸上施工
	型　枠	ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ45t吊 鋼製	m^2	93.7	陸上施工
	コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車 18N-8-40	m^3	78.7	
	目地材	瀝青系 t=10mm	m^2	9.8	
雑工					
	チッピング	空気圧縮機、ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ20kg級 陸上部	m^2	55.2	
	〃	空気圧縮機、ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ20kg級 水中部	m^2	109.0	
	削孔	ハンマドリル、発動発電機 陸上部	孔	132	
	〃	ハンマドリル、潜水士船 水中部	孔	66	
	コンクリートアンカー用 樹脂カプセル	陸上部、D19用、HP-20	本	44	
	〃	陸上部、D16用、HP-16	本	88	
	〃	水中部、D19用、HP-20	本	66	
	鉄筋	D19mm、SD295A	kg	200	
	〃	D16mm、SD295A	kg	86	
防風柵設置工					
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4550mm	本	8	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）上12段	枚	84	
	〃	t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）中2段	枚	14	
	防波板70	t4.5×250、L=2940mm（遮蔽率70%）下1段	枚	7	
	有孔折板 取付ボルト	M8×30(1緩止N･2W付)	組	336	
	有孔折板 取付ボルト	M10×35(1緩止N･2W付)	組	56	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
	防波板 取付ボルト	M12×40(1緩止N･2W付)	組	28	
	(ツキツケ用) 巾止金具	t2.3×25×65	枚	196	
	巾止金具(特)	t3×25×25	枚	7	
	巾止金具 取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	組	196	
防風柵取付工					
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4550mm	本	8	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	枚	84	
	〃	t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	枚	14	
	防波板70	t4.5×250、L=2940mm（遮蔽率70%）	枚	7	
付属工					
	防舷材	流用 150H×1900L	基	7	
	係船直柱	新設 50kN型	基	1	
	〃	流用 50kN型	基	4	
	コーナー保護材	100H	m	10	
	タラップ	流用 150H×2700L	基	1	
	安全標示灯	φ25,D200 ＬＥＤ、防水	基	2	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格　・　寸　法	単位	数　量	摘　要
第5波除堤			m	50.0	
上部工					
	支保工	ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ45t吊 鋼製枠組	m	30.0	陸上施工
	型　枠	ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ45t吊 鋼製	m^2	109.7	陸上施工
	コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車 18N-8-40	m^3	91.8	陸上施工
	目地材	瀝青系 t=10mm	m^2	6.1	
雑工					
	チッピング	空気圧縮機、ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ20kg級 陸上部	m^2	97.2	
	削孔	ハンマドリル、発動発電機 陸上部	孔	120	
	コンクリートアンカー用 樹脂カプセル	陸上部、D16用、HP-16	本	120	
	鉄筋	D16mm、SD295A	kg	118	
防風柵設置工					
	主柱 H形鋼	H-200×200×8×13　L=7100mm	本	11	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2920mm（遮蔽率60%）上20段	枚	180	
	〃	t1.6×250、L=1920mm（遮蔽率60%）上20段	枚	20	
	〃	t2.3×250、L=2920mm（遮蔽率60%）中1段	枚	9	
	〃	t2.3×250、L=2920mm（遮蔽率60%）中1段	枚	1	
	防波板70	t4.5×250、L=2920mm（遮蔽率70%）下4段	枚	36	
	〃	t4.5×250、L=1920mm（遮蔽率70%）下4段	枚	4	
	有孔折板 取付ボルト	M8×35(1緩止N･2W付)	組	800	
	〃	M10×35(1緩止N･2W付)	組	40	
	防波板 取付ボルト	M12×45(1緩止N･2W付)	組	160	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
	(ツキツケ用) 巾止金具	t2.3×25×65	枚	480	
	巾止金具(特)	t3×25×25	枚	10	
	巾止金具 取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	組	480	
防風柵取付工					
	主柱 H形鋼	H-200×200×8×13　L=7100mm	本	11	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2920mm（遮蔽率60%）	枚	200	
	〃	t2.3×250、L=2920mm（遮蔽率60%）	枚	10	
	防波板70	t4.5×250、L=2920mm（遮蔽率70%）	枚	40	
付属工					
	タラップ	流用 150H×2700L	基	1	
	安全標示灯	φ25,D200 ＬＥＤ、防水	基	2	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
4号岸壁			m	9.0	
防風柵設置工 段差部			m	3.0	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2775mm（遮蔽率60%）上15段	枚	15	
	〃	t1.6×250、L=1175mm（遮蔽率60%）下4段	枚	4	
	有孔折板 取付ボルト	M8×30(1緩止N･2W付)	組	76	
	(ツキツケ用) 巾止金具	t2.3×25×65	枚	28	
	巾止金具 取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	組	28	
	コーナープレート	t4.5×100×2373	枚	2	
	〃	t4.5×100×1873	枚	2	
	コーナープレート 取付ボルト	M8×35(1緩止N･2W付)	組	62	
	〃	M10×40(1緩止N･2W付)	組	4	
	〃	M12×45(1緩止N･2W付)	組	2	
	パネル取付プレート	t4.5×125×1000	枚	1	
	オールアンカー	M12×100(1N･1W付)	組	3	
防風柵取付工 段差部					
	有孔折板60	t1.6×250、L=2775mm（遮蔽率60%）	枚	19	
防風柵設置工 取付部			m	6.0	
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4550mm	本	3	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）上12段	枚	24	
	〃	t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）中2段	枚	4	
	防波板70	t4.5×250、L=2940mm（遮蔽率70%）下1段	枚	2	
	有孔折板 取付ボルト	M8×30(1緩止N･2W付)	組	96	
	有孔折板 取付ボルト	M10×35(1緩止N･2W付)	組	16	
	防波板 取付ボルト	M12×40(1緩止N･2W付)	組	8	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
	(ツキツケ用) 巾止金具	t2.3×25×65	枚	56	
	巾止金具(特)	t3×25×25	枚	2	
	巾止金具 取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	組	56	
防風柵取付工 取付部					
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4550mm	本	3	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	枚	24	
	〃	t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	枚	4	
	防波板70	t4.5×250、L=2940mm（遮蔽率70%）	枚	2	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
漁船保管施設用地			式	1.0	
土工					
	床掘	小規模 土砂(砂質土)	m^3	42	
	埋戻し	小規模 土砂	m^3	11	
	残土運搬	漁港内 L=0.4km	m^3	30	
	整地	敷均し(ルーズ)	m^3	30	
舗装工					
	コンクリート舗装	t=20cm 18N-8-40	m^2	54.7	
	基礎材	t=30cm 栗石5～15cm	m^2	54.7	
	型枠	t=20cm 鋼製型枠	m2	19.9	
付属工					
	係船環	流用 環径D200	基	7	
	係船環	新設 環径D200	基	23	
	係船環撤去	環径D200	基	7	
撤去工					
	コンクリート舗装切断	厚さt=20cm	m	90.4	
	コンクリート舗装版破砕	厚さt=20cm	m^2	45.7	
	コンクリート殻処理	波照間～石垣島	m^3	9	
	コンクリート殻処分	㈲エメラルドグリーン・コーポレーション Co殻	m^3	9	

漁港・漁場・海岸工事概要書の作成例（案）

工事概要書は、受注者が完成させた工事について、竣工検査時に検査員に対し、わかりやすく簡潔に説明するために必要な重要な資料である。工事概要書は、沖縄県農林水産部制定の「漁港漁場関係工事共通仕様書（令和5年4月）」（以下「共通仕様書」という。）1-1-23の工事完成図書として、以下のとおり作成し提出するものとする。

1. 工事概要書の記入要領

工事概要書は、以下の①から⑩で構成するものとし、指定様式に基づき作成すること。
作成時の留意点は以下のとおりとする。また、作成にあたって、疑義が生じた場合は、監督員の承諾を得ること。

① 表紙
- 工事名は、契約書に記載の工事名を記載する
- 工事年度は、上段に完成年、下段に事業予算年度を記載する

② 目次
- 以下の③から⑩まで項目についてページをふること

③ 位置図
- 漁港位置図（県地図）及び工事位置図（漁港平面図及び漁港航空写真）

④ 工事概要
- 契約年月日、工期・請負代金は当初から最終契約までのすべての契約内容を記載すること
- 工事内容の数量は、上段は発注数量、下段は出来高数量を記載すること

⑤ 数量内訳書
- 数量内訳書は、最終契約数量と出来高数量を記載すること

⑥ 工程表
- 工程表は、共通仕様書1-1-29に基づく履行報告に基づき提出した最終工程表とする

⑦ 工事区間平面図
- 全工事箇所がわかるよう1ページとする
- 工事箇所は赤塗り（半透明）すること

⑧ 詳細図
- 施設毎に作成すること
- 以下の図面を作成すること

    1） 詳細図（平面図）
    2） 詳細図（縦断図）
    3） 詳細図（標準断面図）

- 既設構造物は黒塗り（半透明）とし、施工箇所は赤塗り（半透明）とする
- 工事計画のある箇所で未施工箇所は緑塗り（半透明）とする
- 標準断面図が同一区間に複数ある場合は、区間表示すること。

⑨ 施工フローチャート
- 施設毎に作成すること
- 同一工種でページが複数有る場合、番号をふること　⇒ フローチャート（1）など
- 仮設工がある工種は仮設工からフローを作成すること

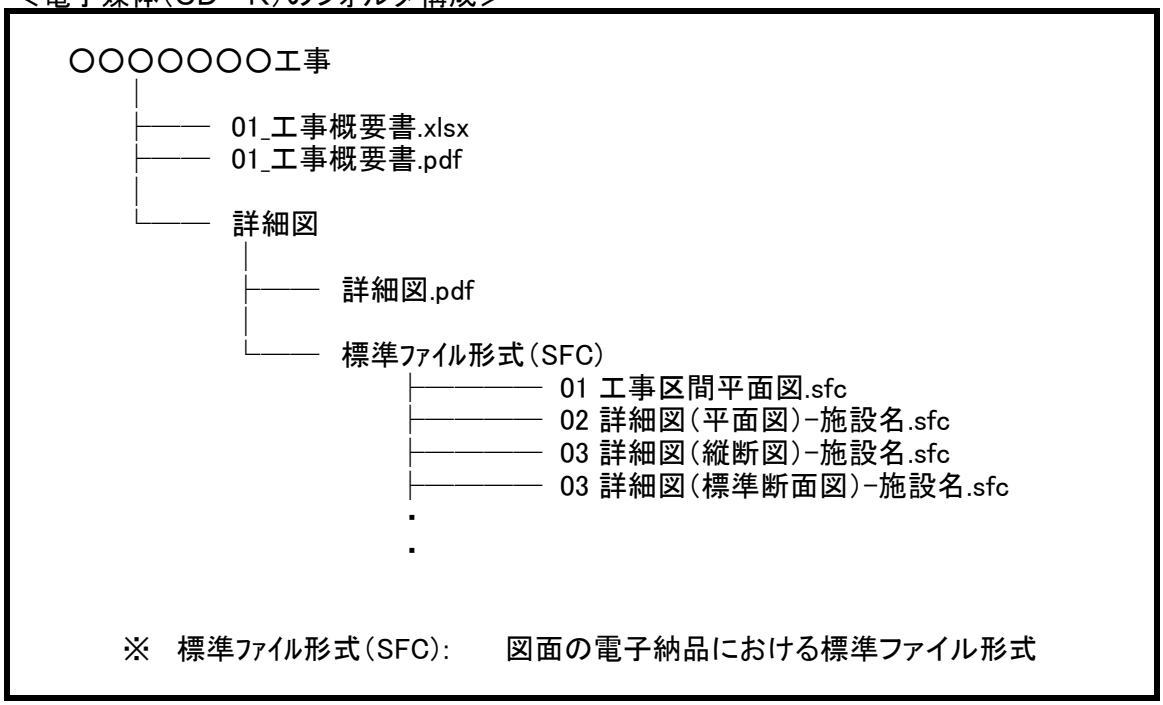
⑩　工事写真
- 工事写真（工事着手前と工事完成写真の対比）は、施設毎に作成すること
- 工事着手前、工事完成写真は同じ箇所から撮影すること
- 施設毎に2方向から撮影すること
- 工事範囲は、赤色で旗揚げや囲いするなど、判るように表示すること
- 撮影は、船舶や車両等が極力写りこまないようにすること
- 撮影は、干潮時に撮影するなど、工事箇所を直接撮影できるよう工夫すること
- 水中工事など写真判別が困難な箇所は、撮影方法等について監督員と調整すること

2.　提出資料

工事概要書及び漁港台帳入力シートは、マイクロソフト「エクセル」等を使用し、エクセルデータ（拡張子は、xlsxとする。）とPDFデータを作成すること。
エクセルに画像を貼り付ける場合は、画像が粗くならないよう、可能な限り圧縮したデータとし、データ容量を減らすこと。このため、プリントスクリーンは禁止とする。

提出資料は、①から④はA4サイズ、⑤から⑩はA3サイズとし、A3ファイル（横）に製本して、2部提出すること。
電子データは、作成時のCADデータと合わせて、下記のフォルダ構成に従い、電子媒体（CD－R）に保存してウイルスチェック後、2枚提出すること

＜電子媒体（CD－R）のフォルダ構成＞



※　標準ﾌｧｲﾙ形式（SFC）:　　図面の電子納品における標準ファイル形式

漁港・漁場・海岸工事概要書の作成例（案）
指 定 様 式 集

① 表紙

工事名：　　○○○○漁港○○○○○○○工事

工　事　概　要　書

令和○年
（令和○年度繰）

施工会社：　　○○○○○○○○○

② 目次

目　　次

1．位置図　○
2．工事概要　○
3．数量内訳書　○
4．工程表　○
5．工事区間平面図　○
6．詳細図　○
7．施工フローチャート　○
8．工事写真　○

③ 位置図

工事位置図

工 事 名 称 ： ○○○○漁港○○○○○○○工事
工 事 場 所 ： 竹富町波照間漁港

沖縄県地図
←波照間島に赤点

波照間島地図

・漁港位置図
・該当する漁港に「赤点」と「赤矢印」を記載する

工事箇所

漁港平面図（工事位置図）

・工事箇所に「赤丸」と「赤矢印」を記載する

工事箇所

漁港航空写真（工事位置図）

・工事箇所に「赤丸」と「赤矢印」を記載する

工事箇所

④ 工事概要

工事概要

漁　　港　名：○○○○漁港
工　　事　名：○○○○漁港○○○○○○○工事
工 事 場 所：竹富町波照間漁港
契 約 年 月 日：
　当　　初　令和　年　月　日
　第1回変更　令和　年　月　日
　第2回変更　令和　年　月　日

工期・請負代金：
　当　　初　令和　年　月　日から令和　年　月　日まで　¥○○,○○,○○　円
　第1回変更　令和　年　月　日から令和　年　月　日まで　¥○○,○○,○○　円
　第2回変更　令和　年　月　日から令和　年　月　日まで　¥○○,○○,○○　円

発　　注　者：沖縄県知事　○○　○○
所　　轄：沖縄県南部農林土木事務所
受　　注　者：○○○○○○○○○
工 事 内 容：

○○○○○	（　〃　）	L= ○○ m
○○○○○	（△△）	L= ○○ m
○○○○○	（　〃　）	L= ○○ m
○○○○○	（　〃　）	L= ○○ m
○○○○○	（　〃　）	L= ○○ m

※工事数量は、上段は発注数量、下段は出来高数量

監督員及び現場担当者

	職　務	監督課及び受注会社	氏　名
	主任監督員		
	現場監督員		
	現場技術員		
	現場代理人		
※	主任技術者		

※または監理技術者

⑤ 数量内訳書

数　量　内　訳　書	漁港名： 工事名：	○○○○漁港 ○○○○漁港○○○○○○工事

・数量内訳書は、最終契約数量と出来高数量を記載すること
・A3（横）サイズとする

⑥ 工程表

工　　程　　表	漁港名： 工事名：	○○○○漁港 ○○○○漁港○○○○○○工事

・工程表は、共通仕様書1-1-29に基づく履行報告に基づき提出した工程表とする
・A3（横）サイズとする

⑦　工事区間平面図

工事区間平面図	漁　港　名　：　○○○○漁港 工　事　名　：　○○○○漁港○○○○○○工事

・全工事箇所がわかるよう1ページとする
・工事箇所は赤塗り（半透明）すること
・A3（横）サイズとする

⑧　詳細図

詳　細　図　（　　※　　）	漁港名：○○○○漁港 工事名：○○○○漁港○○○○○○工事 施設名：○○○○○

・施設毎に作成すること
・以下の図面を作成し、※欄に記載する。
　1）　平面図
　2）　縦断図
　3）　標準断面図
・既設構造物は黒塗り（半透明）とし、施工箇所は赤塗り（半透明）とする。
・暫定断面の未施工箇所は緑塗り（半透明）とする。
・標準断面図が同一区間に複数ある場合は、区間表示すること。
・A3（横）サイズとする

⑨　施工フローチャート

施工フローチャート（※）	漁港名：○○○○漁港 工事名：○○○○漁港○○○○○○工事 施設名：○○○○○

・施設毎に作成すること
・同一工種でページが複数有る場合、（※）に番号をふること
・仮設工がある工種は仮設工からフローを作成すること
・A3（横）サイズとする

⑩　工事写真

工　事　写　真	漁　港　名　：○○○○漁港 工　事　名　：○○○○漁港○○○○○○工事 施　設　名　：○○○○○

・工事写真（工事着手前と工事完成写真の対比）は、施設毎に作成すること
・工事着手前、工事完成写真は同じ箇所から撮影すること
・施設毎に2方向から撮影すること
・工事範囲は、赤色で旗揚げや囲いするなど、判るように表示すること
・撮影は、船舶や車両等が入らないようにすること
・撮影は、干潮時に撮影するなど、工事箇所を直接撮影できるよう工夫すること
・水中工事など写真判別が困難な箇所は、撮影方法等について監督員と調整すること
・A3（横）サイズとする

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
第1波除堤			m	75.8	
上部工					
	型　枠	製作 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ16t吊 鋼製	m^2	161.5	陸上施工
	コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車 18N-8-40	m^3	84.5	
	目地材	t=10mm 瀝青質系	m^2	9.5	
雑工					
	チッピング	空気圧縮機、ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ20kg級 陸上部	m^2	75.0	
	削孔	ハンマドリル、発動発電機 陸上部	孔	300	
	コンクリートアンカー用 樹脂カプセル	陸上部、D16用、HP-16	本	300	
	鉄筋	D16mm、SD295A	kg	295	
防風柵設置工 標準部					
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4750mm	本	18	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）上16段	枚	288	
	有孔折板 取付ボルト	M8×30(1緩止N･2W付)	組	1,152	
	(ツキツケ用) 巾止金具	t2.3×25×65	枚	540	
	巾止金具 取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	組	540	
防風柵取付工 標準部					
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4750mm	本	18	
	有孔折板	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	枚	288	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
防風柵設置工 堤頭部					
	取合支柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4750mm	本	1	
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4750mm	本	7	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）上15段	枚	90	
	〃	t1.6×250、L=1940mm（遮蔽率60%）上15段	枚	15	
	有孔折板 取付ボルト	M8×30(1緩止N･2W付)	組	420	
	有孔折板60	t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）下1段	枚	6	
	〃	t2.3×250、L=1940mm（遮蔽率60%）下1段	枚	1	
	有孔折板 取付ボルト	M10×35(1緩止N･2W付)	組	28	
	(ツキツケ用) 巾止金具	t2.3×25×65	枚	210	
	巾止金具 取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	組	210	
防風柵取付工 堤頭部					
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4750mm	本	8	
	有孔折板	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	枚	112	
付属工					
	係船直柱	新設 50kN型	基	12	
	コーナー保護材	100H	m	24	
	タラップ	補助梯子付（900） 150H×1800L	基	2	
	安全標示灯	φ25,D200 ＬＥＤ、防水	基	2	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
共通仮設費					
運搬費	クローラクレーン	2.8t×1.4m級	式	1	

数　量　総　括　表

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
第3波除堤			m	40.0	
堤体工					
	水中型枠	潜水士船・ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ45t吊 鋼製	m^2	126.3	陸上施工
	漏えい防止シート	潜水士船D180ps 3～5t吊 不織布4mm	m^2	44.0	
	水中コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車 30N-15-40	m^3	125.7	陸上施工
	目地材	瀝青系 t=10mm	m^2	16.8	
上部工					
	支保工	ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ45t吊 鋼製枠組	m	29.0	陸上施工
	型　枠	ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ45t吊 鋼製	m^2	93.7	陸上施工
	コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車 18N-8-40	m^3	78.7	
	目地材	瀝青系 t=10mm	m^2	9.8	
雑工					
	チッピング	空気圧縮機、ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ20kg級 陸上部	m^2	55.2	
	〃	空気圧縮機、ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ20kg級 水中部	m^2	109.0	
	削孔	ハンマドリル、発動発電機 陸上部	孔	132	
	〃	ハンマドリル、潜水士船 水中部	孔	66	
	コンクリートアンカー用 樹脂カプセル	陸上部、D19用、HP-20	本	44	
	〃	陸上部、D16用、HP-16	本	88	
	〃	水中部、D19用、HP-20	本	66	
	鉄筋	D19mm、SD295A	kg	200	
	〃	D16mm、SD295A	kg	86	
防風柵設置工					
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4550mm	本	8	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）上12段	枚	84	
	〃	t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）中2段	枚	14	
	防波板70	t4.5×250、L=2940mm（遮蔽率70%）下1段	枚	7	
	有孔折板 取付ボルト	M8×30(1緩止N･2W付)	組	336	
	有孔折板 取付ボルト	M10×35(1緩止N･2W付)	組	56	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
	防波板 取付ボルト	M12×40(1緩止N･2W付)	組	28	
	(ツキツケ用) 巾止金具	t2.3×25×65	枚	196	
	巾止金具(特)	t3×25×25	枚	7	
	巾止金具 取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	組	196	
防風柵取付工					
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4550mm	本	8	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	枚	84	
	〃	t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	枚	14	
	防波板70	t4.5×250、L=2940mm（遮蔽率70%）	枚	7	
付属工					
	防舷材	流用 150H×1900L	基	7	
	係船直柱	新設 50kN型	基	1	
	〃	流用 50kN型	基	4	
	コーナー保護材	100H	m	10	
	タラップ	流用 150H×2700L	基	1	
	安全標示灯	φ25,D200 ＬＥＤ、防水	基	2	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格　・　寸　法	単位	数　量	摘　要
第5波除堤			m	50.0	
上部工					
	支保工	ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ45t吊 鋼製枠組	m	30.0	陸上施工
	型　枠	ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ45t吊 鋼製	m^2	109.7	陸上施工
	コンクリート	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車 18N-8-40	m^3	91.8	陸上施工
	目地材	瀝青系 t=10mm	m^2	6.1	
雑工					
	チッピング	空気圧縮機、ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ20kg級 陸上部	m^2	97.2	
	削孔	ハンマドリル、発動発電機 陸上部	孔	120	
	コンクリートアンカー用 樹脂カプセル	陸上部、D16用、HP-16	本	120	
	鉄筋	D16mm、SD295A	kg	118	
防風柵設置工					
	主柱 H形鋼	H-200×200×8×13　L=7100mm	本	11	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2920mm（遮蔽率60%）上20段	枚	180	
	〃	t1.6×250、L=1920mm（遮蔽率60%）上20段	枚	20	
	〃	t2.3×250、L=2920mm（遮蔽率60%）中1段	枚	9	
	〃	t2.3×250、L=2920mm（遮蔽率60%）中1段	枚	1	
	防波板70	t4.5×250、L=2920mm（遮蔽率70%）下4段	枚	36	
	〃	t4.5×250、L=1920mm（遮蔽率70%）下4段	枚	4	
	有孔折板 取付ボルト	M8×35(1緩止N･2W付)	組	800	
	〃	M10×35(1緩止N･2W付)	組	40	
	防波板 取付ボルト	M12×45(1緩止N･2W付)	組	160	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
	(ツキツケ用) 巾止金具	t2.3×25×65	枚	480	
	巾止金具(特)	t3×25×25	枚	10	
	巾止金具 取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	組	480	
防風柵取付工					
	主柱 H形鋼	H-200×200×8×13　L=7100mm	本	11	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2920mm（遮蔽率60%）	枚	200	
	〃	t2.3×250、L=2920mm（遮蔽率60%）	枚	10	
	防波板70	t4.5×250、L=2920mm（遮蔽率70%）	枚	40	
付属工					
	タラップ	流用 150H×2700L	基	1	
	安全標示灯	φ25,D200 ＬＥＤ、防水	基	2	

数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
4号岸壁			m	9.0	
防風柵設置工 段差部			m	3.0	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2775mm（遮蔽率60%）上15段	枚	15	
	〃	t1.6×250、L=1175mm（遮蔽率60%）下4段	枚	4	
	有孔折板 取付ボルト	M8×30(1緩止N･2W付)	組	76	
	(ツキツケ用) 巾止金具	t2.3×25×65	枚	28	
	巾止金具 取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	組	28	
	コーナープレート	t4.5×100×2373	枚	2	
	〃	t4.5×100×1873	枚	2	
	コーナープレート 取付ボルト	M8×35(1緩止N･2W付)	組	62	
	〃	M10×40(1緩止N･2W付)	組	4	
	〃	M12×45(1緩止N･2W付)	組	2	
	パネル取付プレート	t4.5×125×1000	枚	1	
	オールアンカー	M12×100(1N･1W付)	組	3	
防風柵取付工 段差部					
	有孔折板60	t1.6×250、L=2775mm（遮蔽率60%）	枚	19	
防風柵設置工 取付部			m	6.0	
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4550mm	本	3	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）上12段	枚	24	
	〃	t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）中2段	枚	4	
	防波板70	t4.5×250、L=2940mm（遮蔽率70%）下1段	枚	2	
	有孔折板 取付ボルト	M8×30(1緩止N･2W付)	組	96	
	有孔折板 取付ボルト	M10×35(1緩止N･2W付)	組	16	
	防波板 取付ボルト	M12×40(1緩止N･2W付)	組	8	

数　量　総　括　表

NO.1

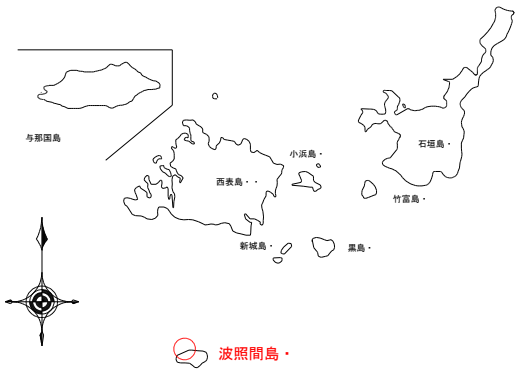
工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
	(ツキツケ用) 巾止金具	t2.3×25×65	枚	56	
	巾止金具(特)	t3×25×25	枚	2	
	巾止金具 取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	組	56	
防風柵取付工 取付部					
	主柱 H形鋼	H-150×150×7×10　L=4550mm	本	3	
	有孔折板60	t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	枚	24	
	〃	t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	枚	4	
	防波板70	t4.5×250、L=2940mm（遮蔽率70%）	枚	2	

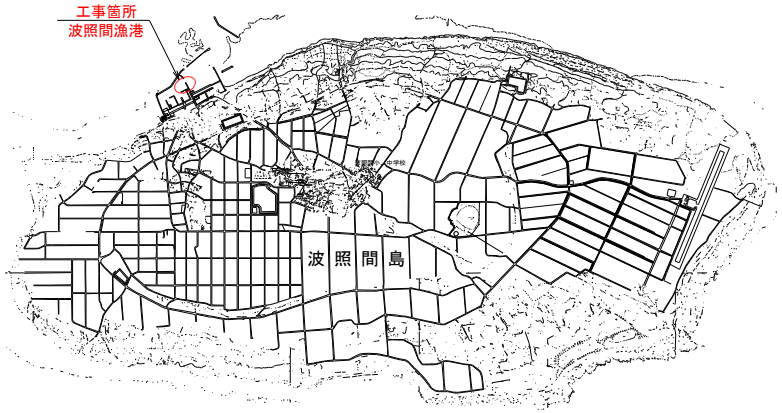
数　量　総　括　表

NO.1

工　種	名　称	規　格・寸　法	単位	数　量	摘　要
漁船保管施設用地			式	1.0	
土工					
	床掘	小規模 土砂(砂質土)	m^3	42	
	埋戻し	小規模 土砂	m^3	11	
	残土運搬	漁港内 L=0.4km	m^3	30	
	整地	敷均し(ルーズ)	m^3	30	
舗装工					
	コンクリート舗装	t=20cm 18N-8-40	m^2	54.7	
	基礎材	t=30cm 栗石5～15cm	m^2	54.7	
	型枠	t=20cm 鋼製型枠	m2	19.9	
付属工					
	係船環	流用 環径D200	基	7	
	係船環	新設 環径D200	基	23	
	係船環撤去	環径D200	基	7	
撤去工					
	コンクリート舗装切断	厚さt=20cm	m	90.4	
	コンクリート舗装版破砕	厚さt=20cm	m^2	45.7	
	コンクリート殻処理	波照間～石垣島	m^3	9	
	コンクリート殻処分	㈲エメラルドグリーン・コーポレーション Co殻	m^3	9	

位　置　図





波照間漁港波除堤等整備工事（R8-2）　図面目録一覧

図　面　目　録

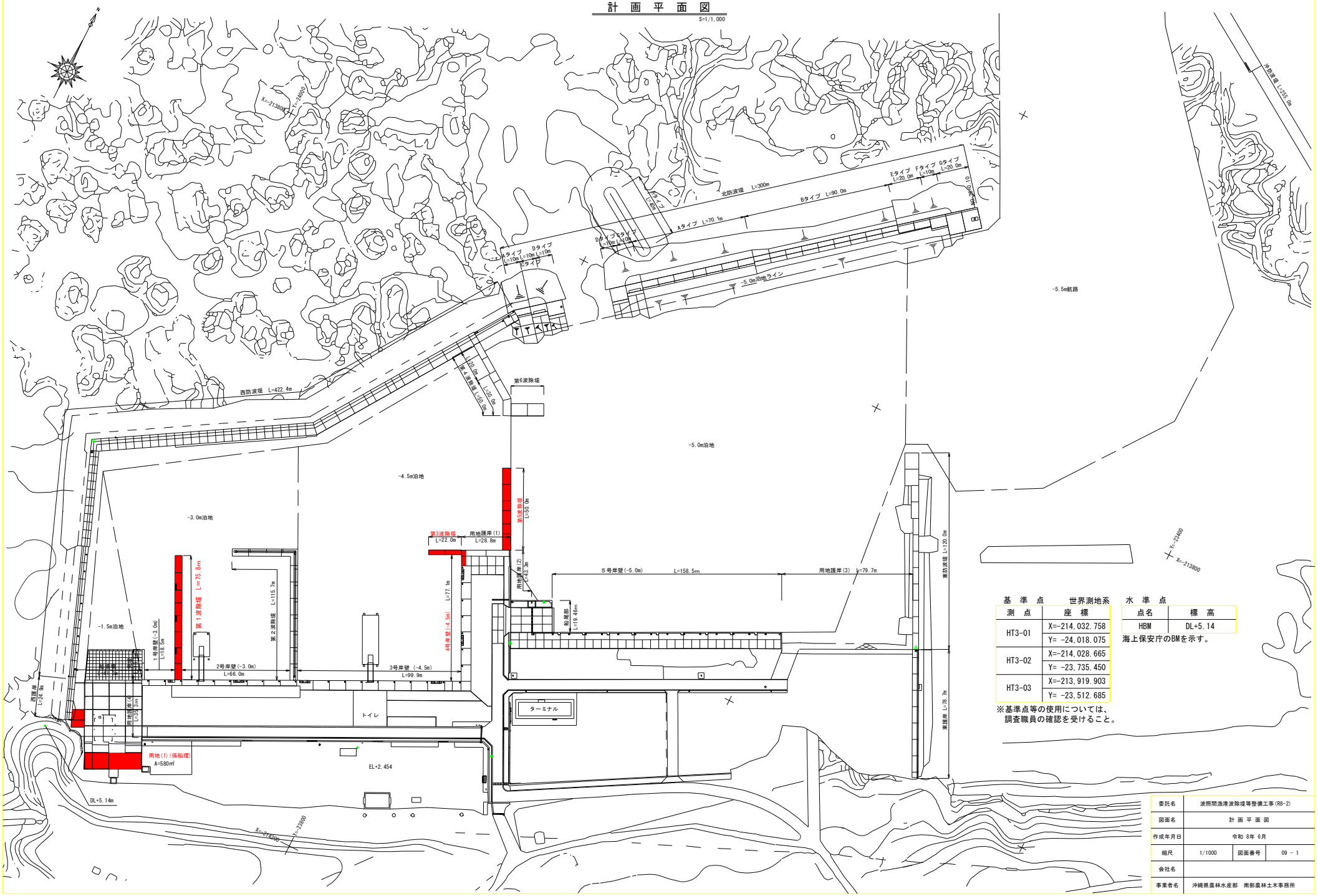
図面番号	図　面　名　称
	第1波除提
9 － 1	計 画 平 面 図
－ 2	第1波除堤平面詳細図
－ 3	第1波除堤標準断面図
－ 4	第1波除堤縦断図
－ 5	第1波除堤天端コンクリート詳細図
－ 6	第1波除堤付属工配置図
－ 7	第1波除堤防風柵詳細図-1
－ 8	第1波除堤防風柵詳細図-2
－ 9	第1波除堤付属工詳細図
	第3波除提
9 － 1	第3波除堤平面詳細図
－ 2	第3波除提縦断図
－ 3	第3波除提標準断面図
－ 4	第3波除提横断図1
－ 5	第3波除提横断図2
－ 6	第3波除提腹付けコンクリート詳細図
－ 7	第3波除提付属工配置図
－ 8	第3波除提付属工詳細図
－ 9	第3波除堤防風柵詳細図

図　面　目　録

図面番号	図　面　名　称
	第5波除提
8 － 1	第5波除堤平面詳細図
－ 2	第5波除堤標準断面図
－ 3	第5波除堤縦断図
－ 4	第5波除堤横断図1
－ 5	第5波除堤横断図2
－ 6	第5波除堤付属工配置図
－ 7	第5波除堤付属工詳細図
－ 8	第5波除堤防風柵詳細図
	4号岸壁
2 － 1	4号岸壁防風柵取付部詳細図
－ 2	4号岸壁防風柵詳細図-2
	用地(1)(係船環)
2 － 1	漁船保管施設用地平面詳細図（係船環）
－ 2	漁船保管施設用地付属工詳細図（係船環）

計 画 平 面 図

S=1/1,000



基 準 点　　世界測地系

測 点	座 標
HT3-01	X=-214,032.758
	Y= -24,018.075
HT3-02	X=-214,028.665
	Y= -23,735.450
HT3-03	X=-213,919.903
	Y= -23,512.685

※基準点等の使用については、
調査職員の確認を受けること。

水 準 点

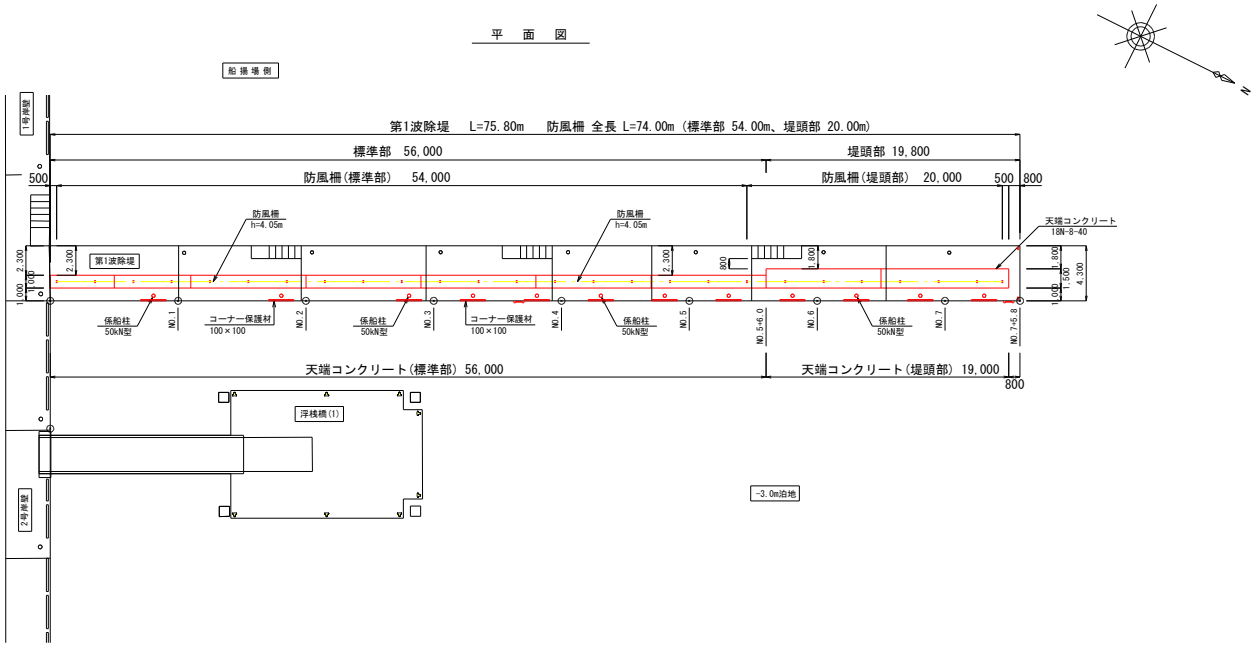
点名	標 高
HBM	DL+5.14

海上保安庁のBMを示す。

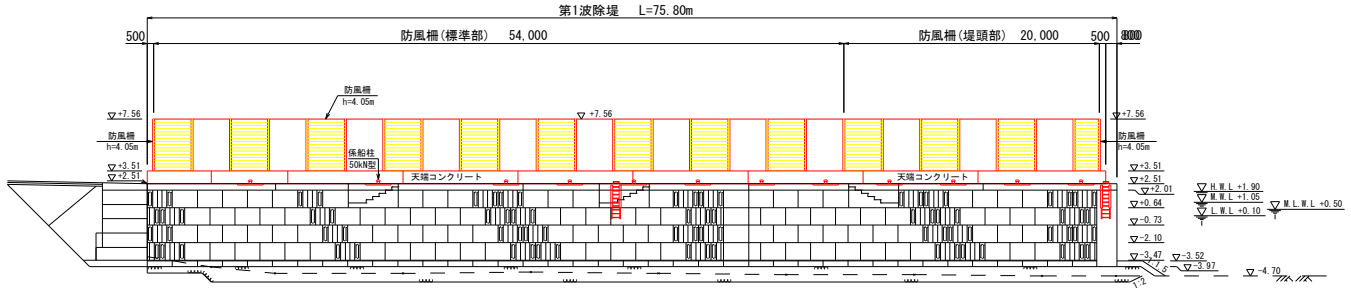
委託名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	計 画 平 面 図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	1/1000	図面番号	09 - 1
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

第１波除堤平面詳細図

平　面　図

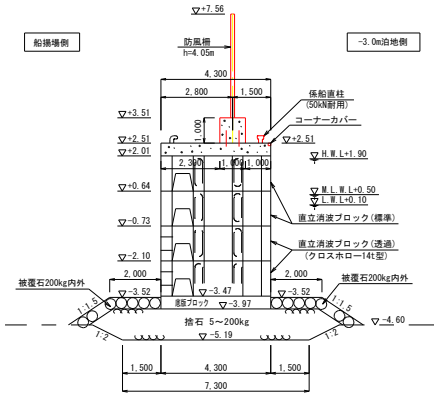


正　面　図



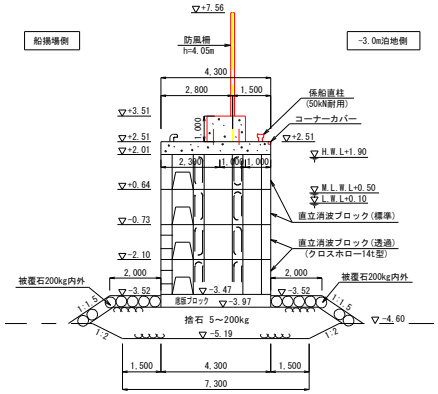
標　準　部

S=1/100



堤　頭　部

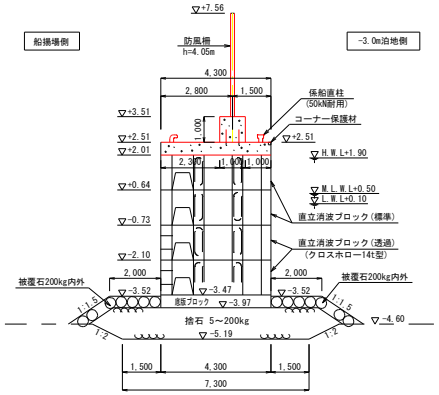
S=1/100



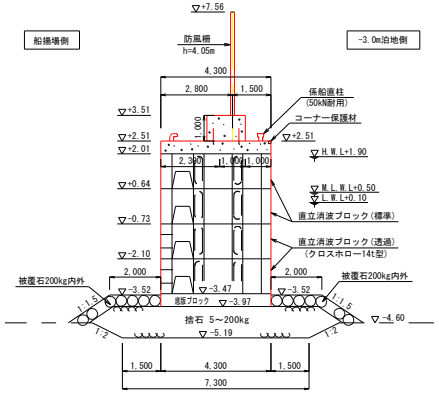
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第１波除堤平面詳細図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図 示	図面番号	9 - 2
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

第１波除堤標準断面図

標　準　部
(NO.0～NO.5+6.0)　S=1/100

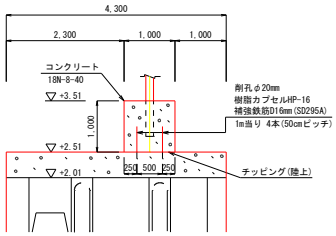


堤　頭　部
(NO.5+6.0～NO.7+5.8)　S=1/100

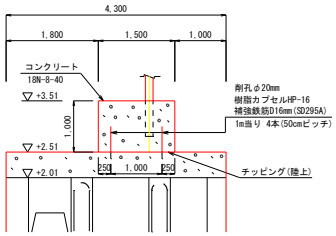


天端コンクリート詳細図
S=1/50

標　準　部
(NO.0～NO.5+6.0)



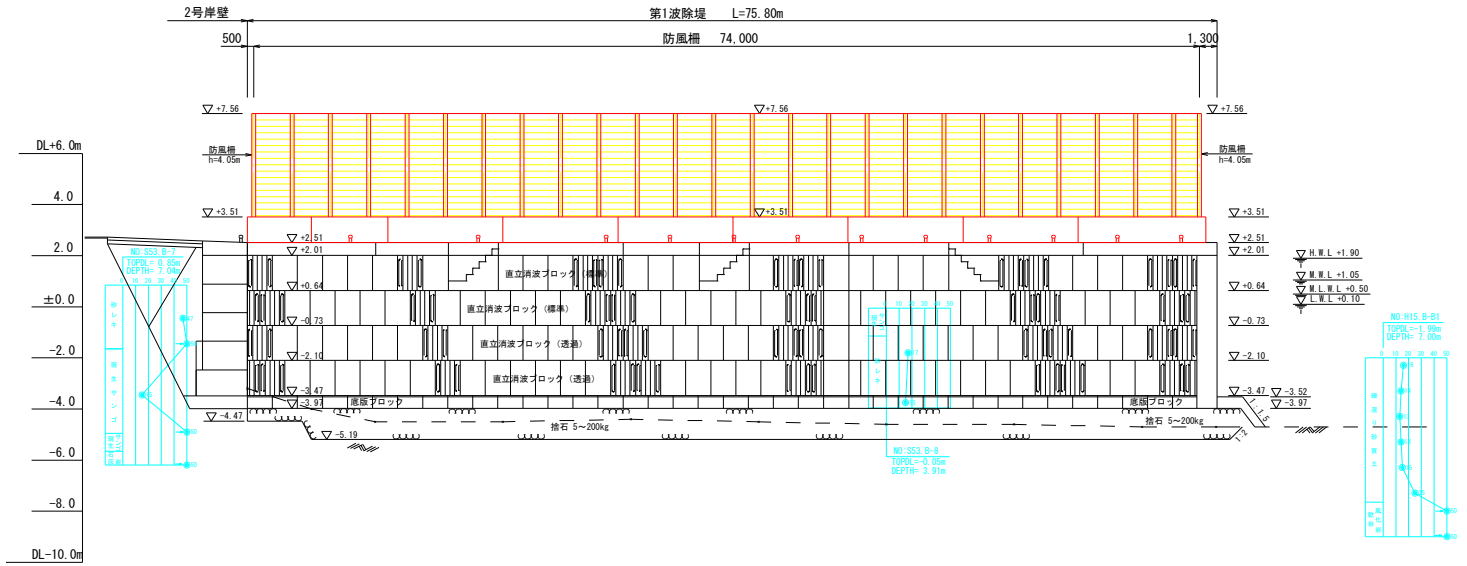
堤　頭　部
(NO.5+6.0～NO.7+5.8)



工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第１波除堤標準断面図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	1/100	図面番号	9 - 3
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

第１波除堤縦断図

S：V=1/100
H=1/200



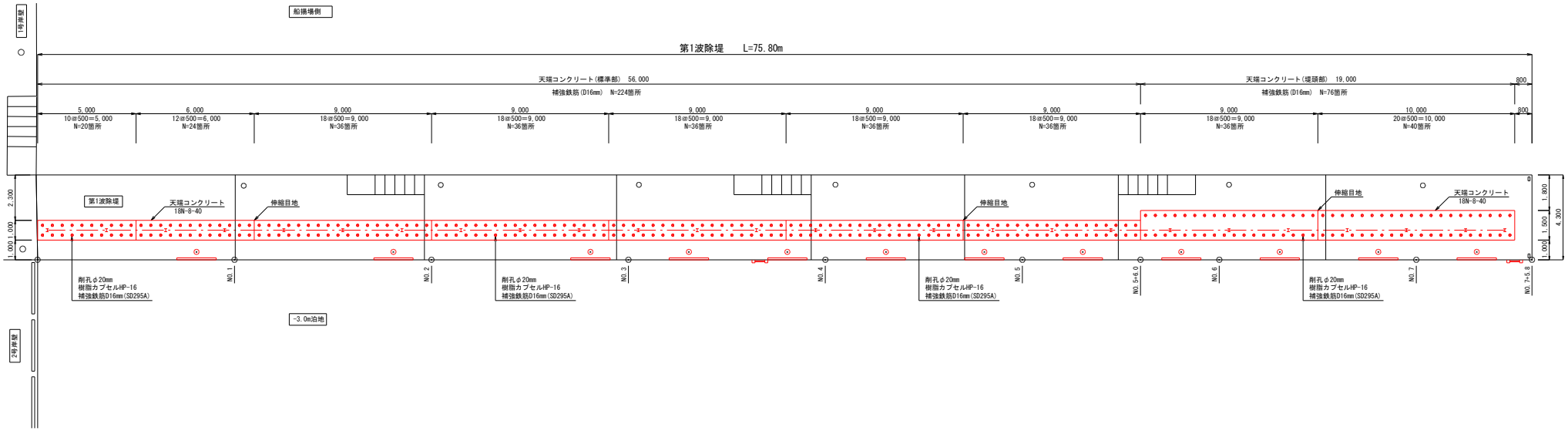
計画天端高	+2.51	+2.51	+2.51	+2.51	+2.51	+2.51	+2.51	+2.51	+2.51	+2.51	+2.51
計画根入高	-3.97	-3.97	-3.97	-3.97	-3.97	-3.97	-3.97	-3.97	-3.97	-3.97	-3.97
地　盤　高	-3.20	-4.00	-4.50	-4.50	-4.40	-4.50	-4.60	-4.60	-4.60	-4.70	-4.70
追加距離	0.00	5.00	10.00	20.00	30.00	40.00	50.00	56.50	60.00	70.00	75.80
距　　離	0.00	5.00	5.00	10.00	10.00	10.00	10.00	6.50	3.50	10.00	5.80
測　　点	NO.0	NO.0 +5.00	NO.1	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5	+6.50	NO.6	NO.7	NO.7 +5.80

工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)			
図面名	第１波除堤縦断図			
作成年月日	令和 8年 6月			
縮尺	図　示	図面番号	9 - 4	
会社名				
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所			

第1波除堤天端コンクリート詳細図

天端コンクリート平面図

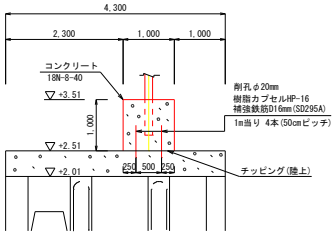
S=1/100



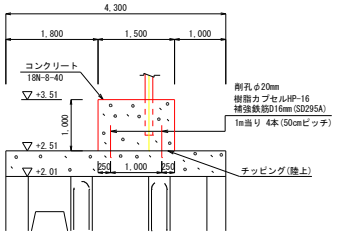
天端コンクリート詳細図

S=1/50

標　準　部

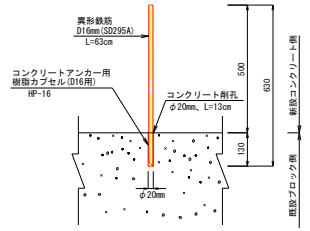


堤　頭　部



補強鉄筋詳細図(天端部)

S=1/10



※異形鉄筋は旧コンクリート側先端を片面カット、または、両面カットにすること。
※孔内清掃が不十分だと、強度低下の原因となるので、孔内清掃は確実、丁寧に行う。
※既設コンクリート側の削孔深さは、過剰削孔しないように注意する。
※コンクリート削孔後、孔内に水がある場合は、可能であれば取り除く。取り除けない場合は水孔施工の注意事項を遵守する。
※硬化時間は、気中：15℃→20分 20℃→18分 25℃→15分 30℃→10分である。(参考:HP)

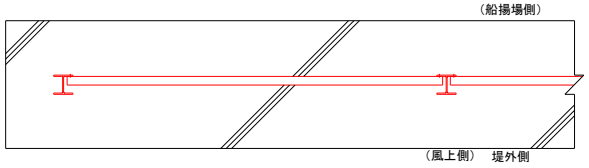
注意事項

※ 作業中に異常音や異変を察知した場合は、削孔位置を変更する。
削孔位置を変更する場合には、調査職員の確認を受けること。
※ 削孔位置は、目地やブロック端部から、10cm以上離れた位置とする。
※ 設計図の配置間隔が確保できず、配置位置を変更する場合には、調査職員の確認を受けること。

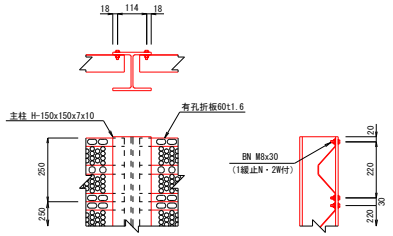
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第1波除堤天端コンクリート詳細図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図　示	図面番号	9 - 5
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

第1波除堤防風柵詳細図-1

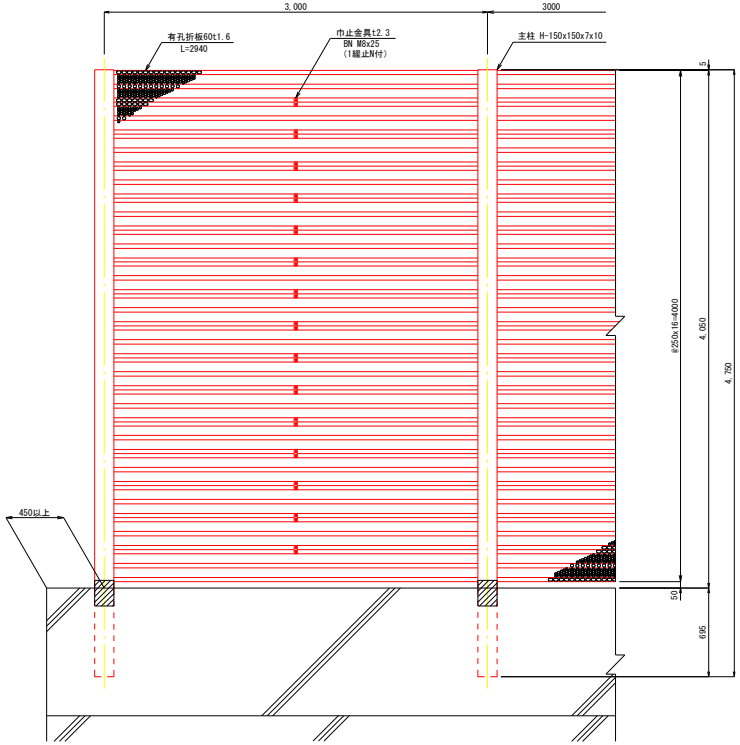
平 面 図
S=1/20



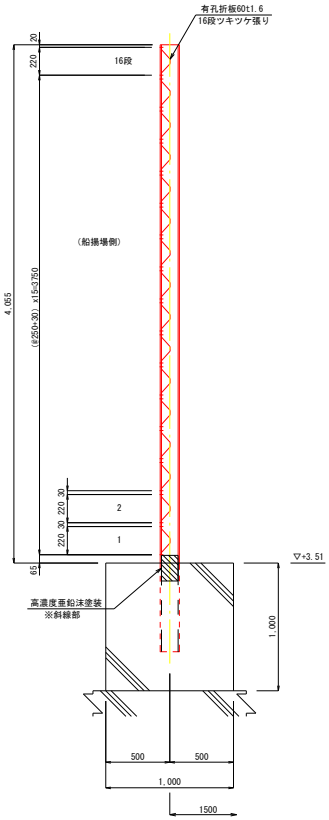
パ ネ ル 取 付 詳 細 図
S=1/10



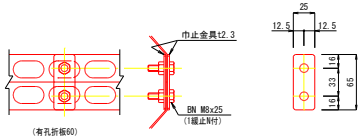
立 面 図
S=1/20



側 面 図
S=1/20



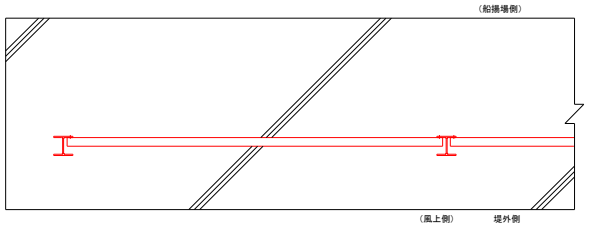
巾 止 金 具 取 付 詳 細 図
S=1/3



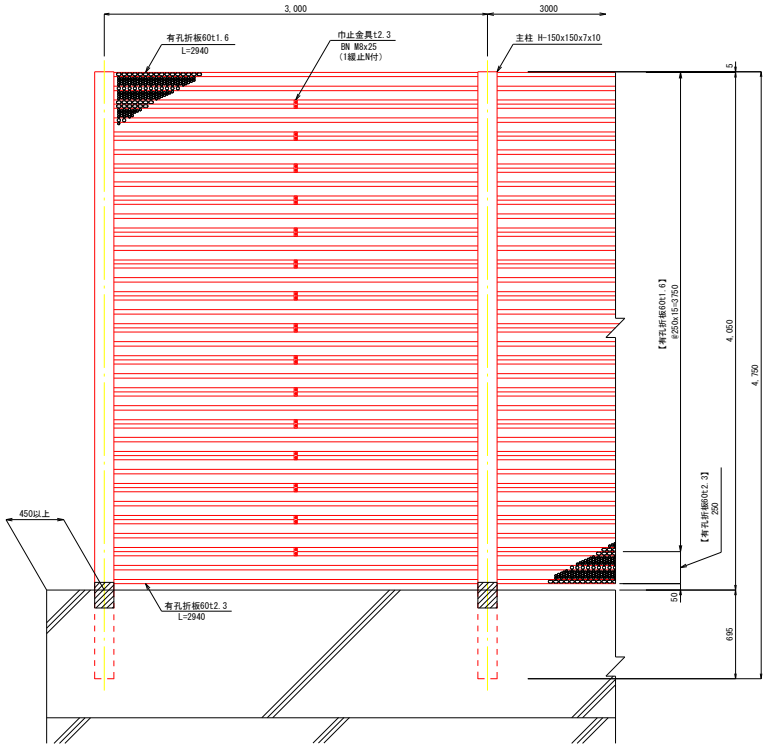
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第1波除堤防風柵詳細図-1		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図 示	図面番号	9 - 6
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部 南部農林土木事務所		

第1波除堤防風柵詳細図-2

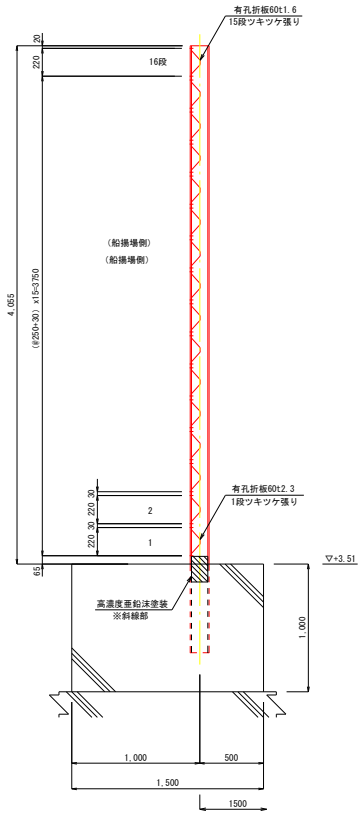
平 面 図
S=1/20



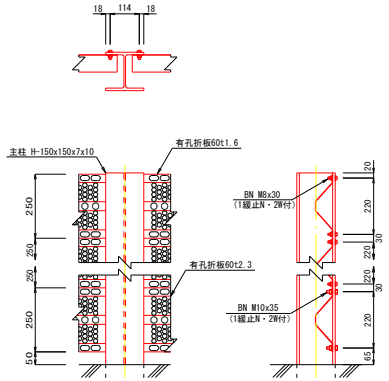
立 面 図
S=1/20



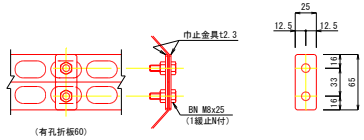
側 面 図
S=1/20



パ ネ ル 取 付 詳 細 図
S=1/10



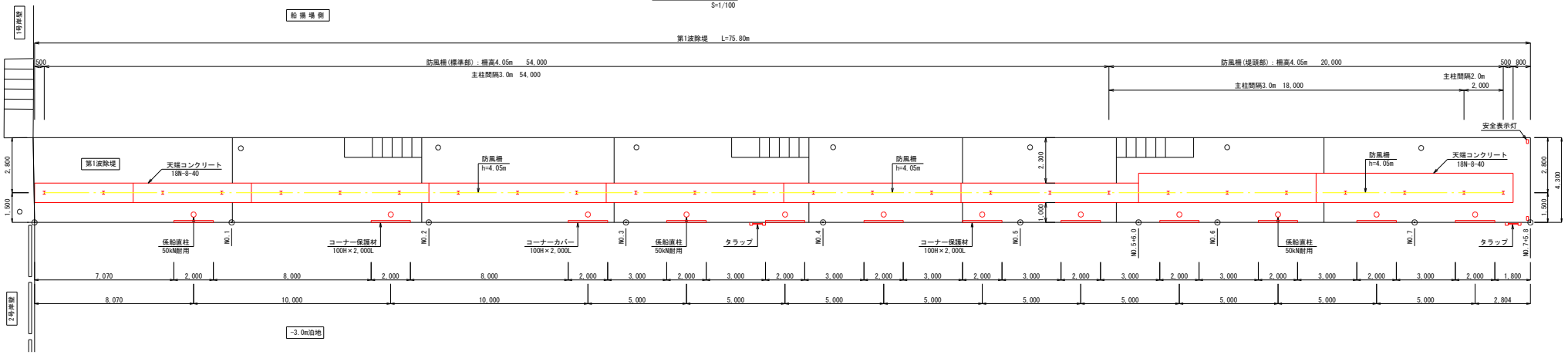
巾 止 金 具 取 付 詳 細 図
S=1/3



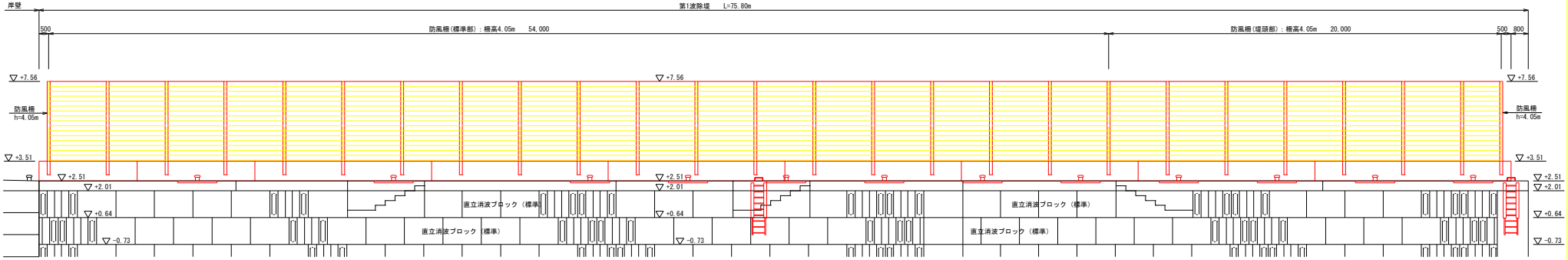
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第1波除堤防風柵詳細図-2		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図 示	図面番号	9 - 7
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部 南部農林土木事務所		

第１波除堤付属工配置図

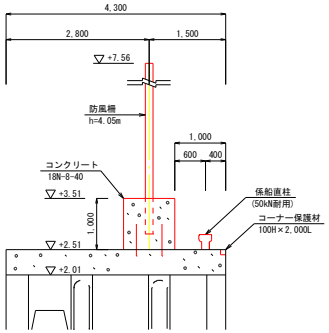
平　面　図
S=1/100



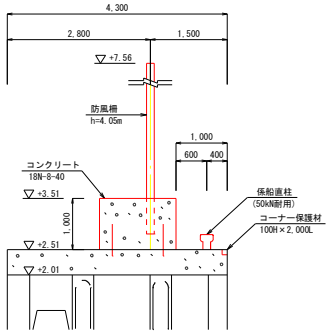
正　面　図
S=1/100



断面図（標準部）
S=1/50



断面図（堤頭部）
S=1/50



第1波除堤(標準部) 防風柵　材料表

※L=54m 18スパン1連当たり

材料名	形状寸法	数量	単位	材料規格	表面処理
主柱（H形鋼）	H-150×150×7×10　L=4750	18	本	SS400	HZA50A
有孔折板60 @3000 16段	t1.6×250　L=2940	288	枚	SS400	HZA50A
有孔折板取付ボルト	M8×30（1縦止N・2W付）	1152	組	強度区分4.6相当	HZA36A
巾止金具（ツキツケ用）	t2.3×25×65	540	枚	SPHC	HZA50A
巾止金具取付ボルト	M8×25（1縦止N付）	540	組	強度区分4.6相当	HZA36A

第1波除堤(堤頭部) 防風柵　材料表

※L=20m 7スパン1連当たり

材料名	形状寸法	数量	単位	材料規格	表面処理
取合主柱（H形鋼）	H-150×150×7×10　L=4750	1	本	SS400	HZA50A
主柱（H形鋼）	H-150×150×7×10　L=4750	7	本	SS400	HZA50A
有孔折板60 @3000 上15段	t1.6×250　L=2940	90	枚	SS400	HZA50A
有孔折板60 @2000 上15段	t1.6×250　L=1940	15	枚	SS400	HZA50A
有孔折板取付ボルト	M8×30（1縦止N・2W付）	420	組	強度区分4.6相当	HZA36A
有孔折板60t2.3 @3000 下1段	t2.3×250　L=2940	6	枚	SS400	HZA50A
有孔折板60t2.3 @2000 下1段	t2.3×250　L=1940	1	枚	SS400	HZA50A
有孔折板取付ボルト	M10×35（1縦止N・2W付）	28	組	強度区分4.6相当	HZA36A
巾止金具（ツキツケ用）	t2.3×25×65	210	枚	SPHC	HZA50A
巾止金具取付ボルト	M8×25（1縦止N付）	210	組	強度区分4.6相当	HZA36A

※ HZA:溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ
　アルミニウム５%とマグネシウム１%を添加した合金メッキとする。

第1波除堤 付属工数量表

名称	数量
係船直柱 50kN型	12　基
コーナー保護材 100H×2,000L	12　基
タラップ 150H×1,800L(補助梯子付900)	2　基
安全表示灯	2　基
防風柵 標準部（柵高 h=4.05m）	54.0　m
防風柵 堤頭部（柵高 h=4.05m）	20.0　m

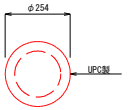
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)
図面名	第1波除堤付属工配置図
作成年月日	令和 8年 6月
縮尺	図　示
図面番号	9 - 8
会社名	
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所

第1波除堤付属工詳細図

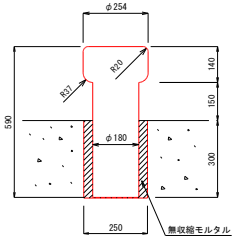
係船直柱詳細図
S=1/10

形状図（50kN型）

平面図

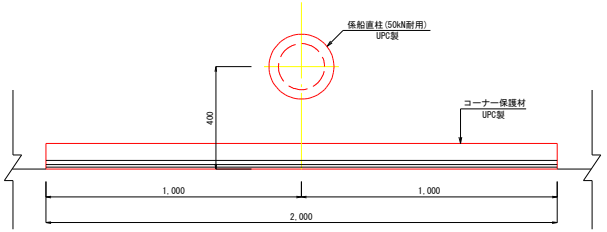


側面図

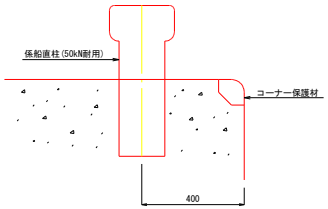


取付位置図

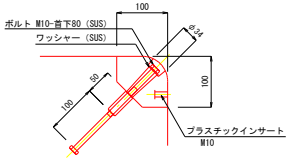
平面図



断面図

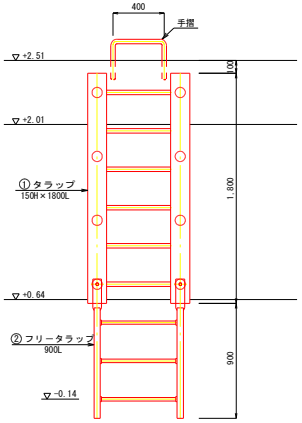


コーナー保護材断面図
S=1/N

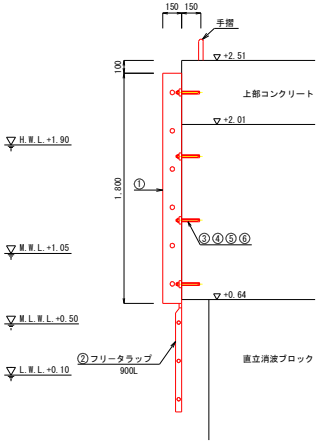


タラップ詳細図(150型)
S=1/20

正面図



断面図



数量表

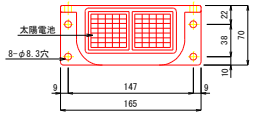
1基当り

符号	個数	名称	材質	記事
①	1	タラップ	ゴム	150H×1800L
②	1	フリータラップ	ゴムライニング	900L
③	8	M18 アンカーボルト	SUS304	
④	8	M18 ナット	SUS304	
⑤	8	M18用ワッシャー	SUS304	
⑥	8	M18用樹脂カプセル	樹脂・骨材	

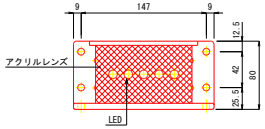
※ボルト長および規格は、確認すること。

安全標示灯詳細図
S=1/3

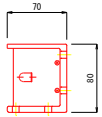
平面図



正面図



側面図



《安全標示灯の種類及び仕様》

区分		点滅型					点灯型	
点滅回数(回/分)		15回、30回、50回						
発光色		赤	橙	黄	緑	白	黄	白
発光部	LEDの輝度(mcd)	15000	20000	23000	12880	4000	1200	130
	LED数量	5個						
	電源電圧(V)	2.4			4.8		2.4	4.8
太陽電池	最大出力(mW)	320						
	最適電圧(V)	3.6			7.2		3.6	7.2
	最適電流(mA)	88			44		88	44
蓄電池	電圧(V)	1.2						
	容量(Ah)	1.2			0.6		1.2	0.6
重量(kg)		1.1						
本体材質		アルミ合金AC7A						

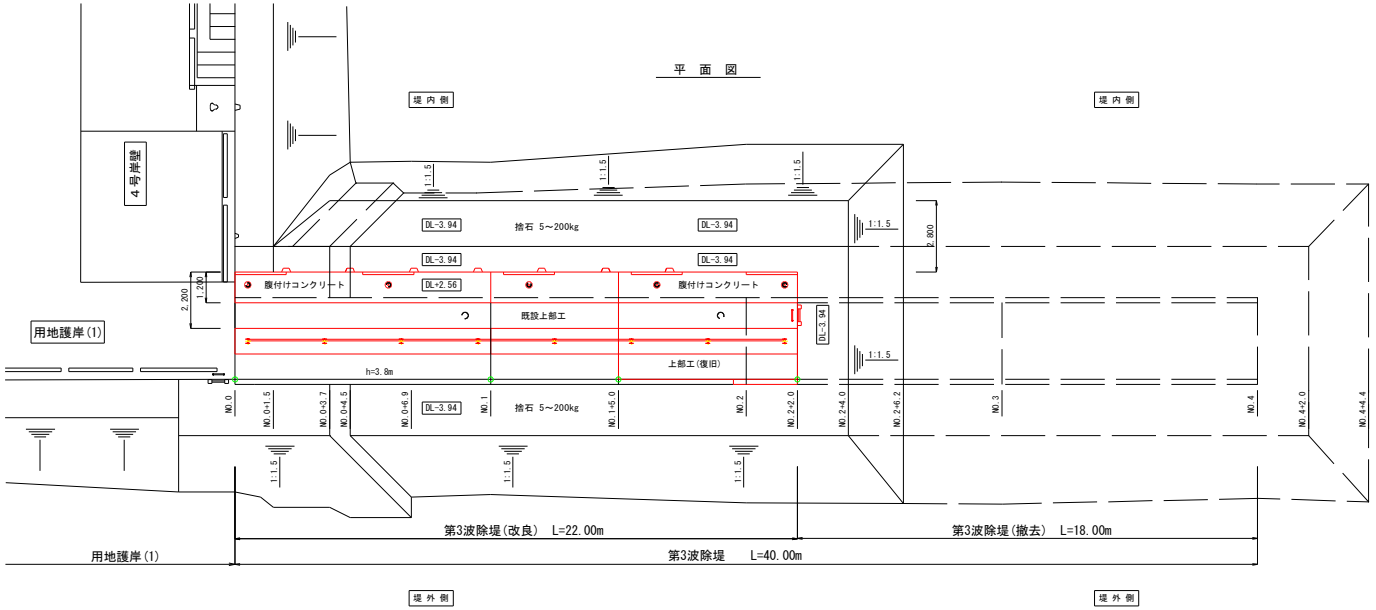
注記：製品の選定並びに設置方向(発光向き)については、調査職員の確認をうけること。

工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)
図面名	第1波除堤付属工詳細図
作成年月日	令和 8年 6月
縮尺	図示
図面番号	9－9
会社名	
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所

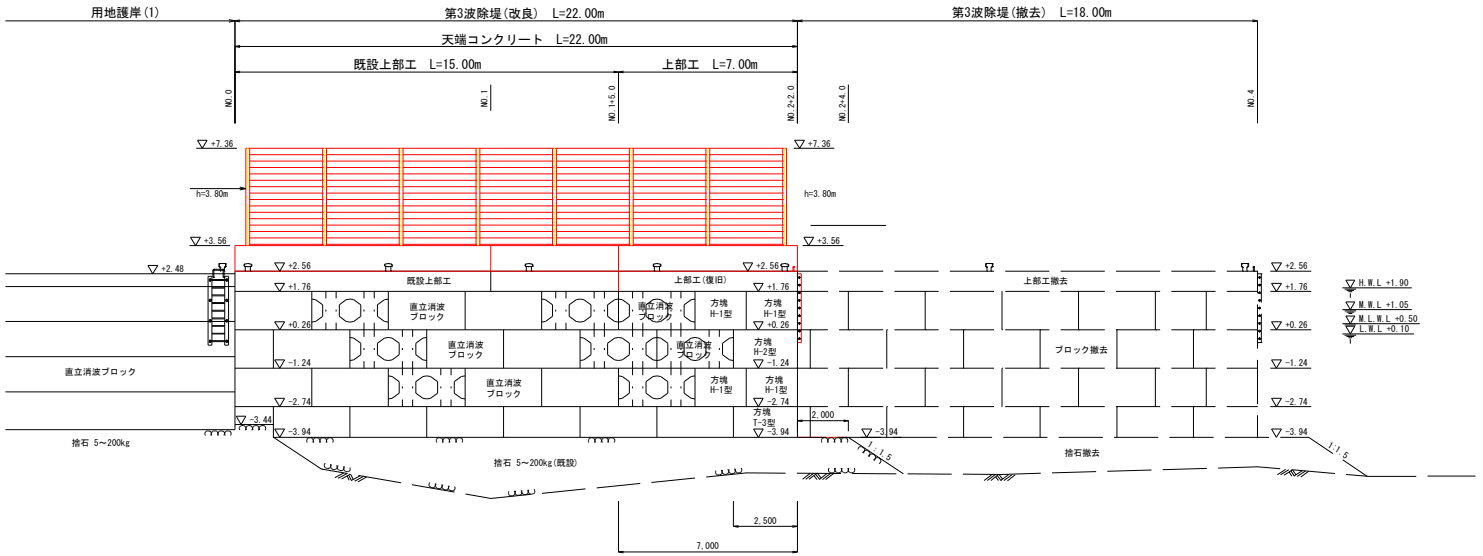
第３波除堤平面詳細図

S=1/100

平面図



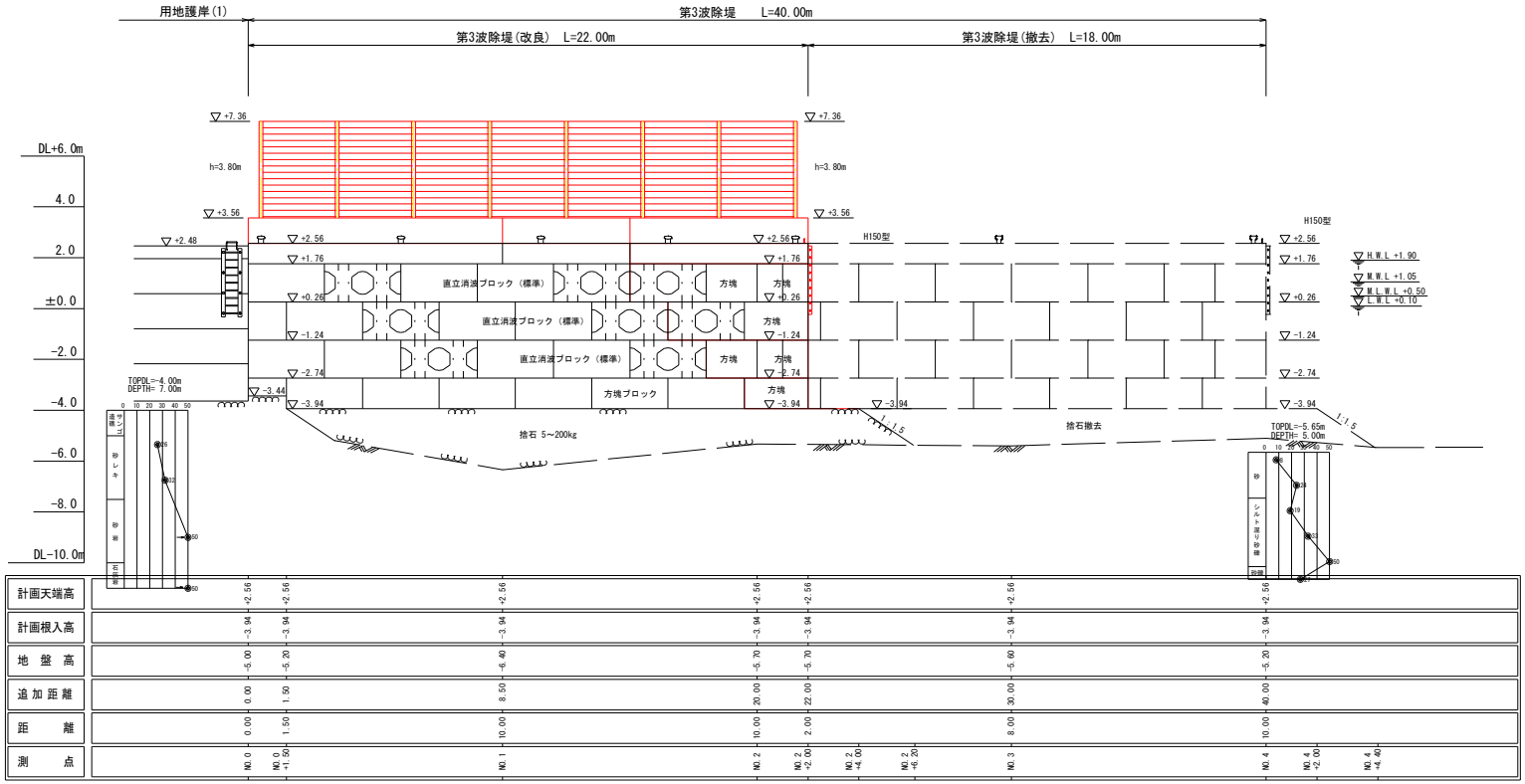
正面図



工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第３波除堤平面詳細図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図 示	図面番号	9 - 1
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部 南部農林土木事務所		

第３波除堤縦断図

S. V=1/100
H=1/100



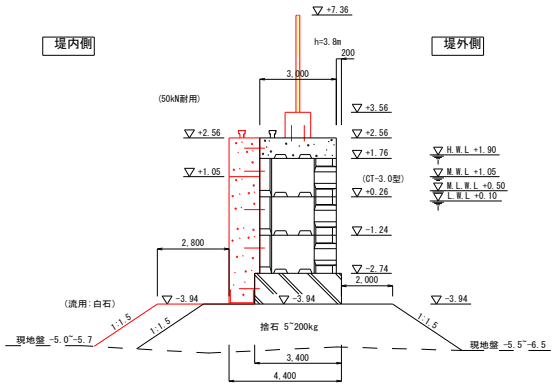
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)
図面名	第３波除堤縦断図
作成年月日	令和 8年 6月
縮尺	図　示
図面番号	9 - 2
会社名	
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所

第３波除堤標準断面図

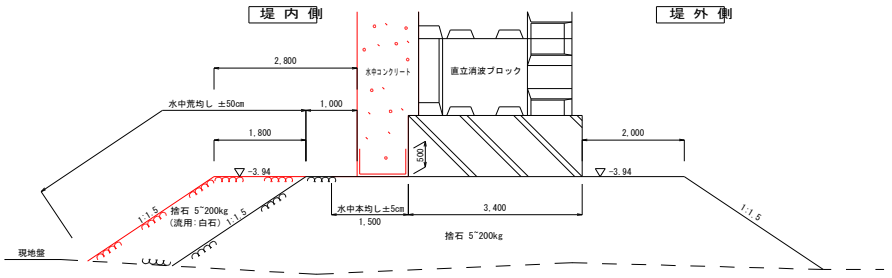
S=1/100

標準断面図

S=1/100



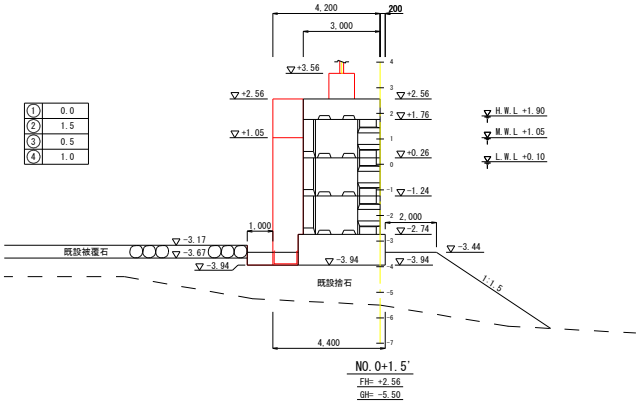
均し区分



工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第３波除堤標準断面図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	1/100	図面番号	9 - 3
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

第３波除堤横断図－１

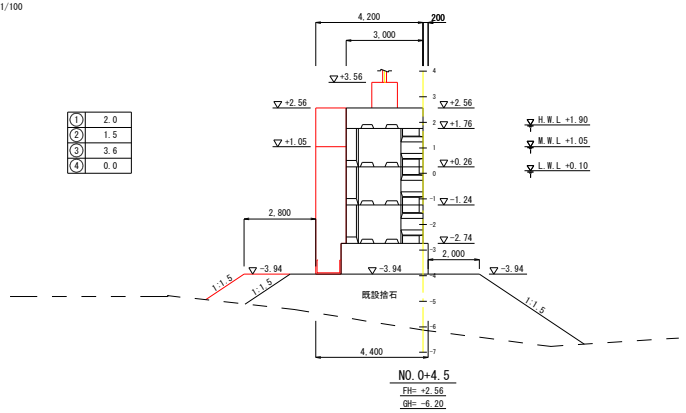
S=1/100



NO.0+1.5'

FH= +2.56

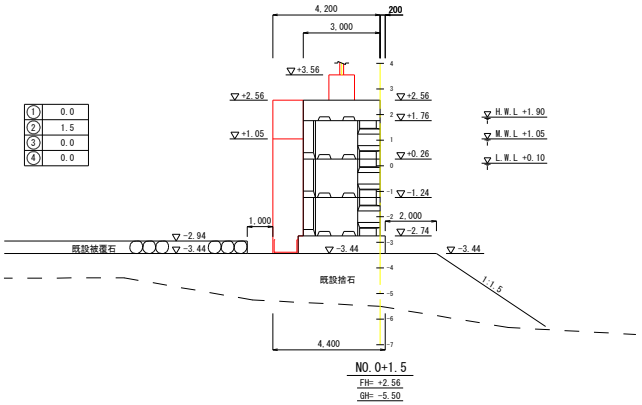
GH= -5.50



NO.0+4.5

FH= +2.56

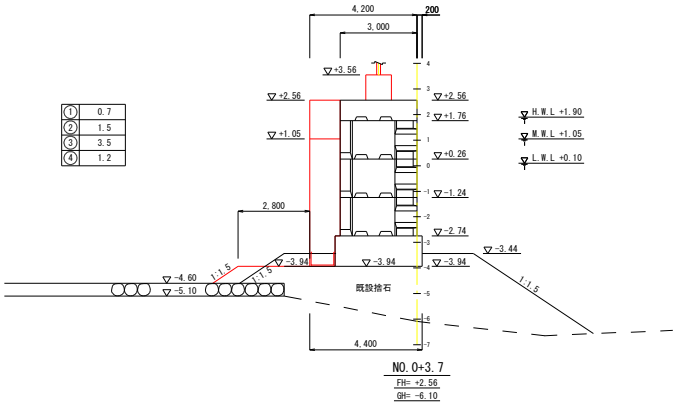
GH= -6.20



NO.0+1.5

FH= +2.56

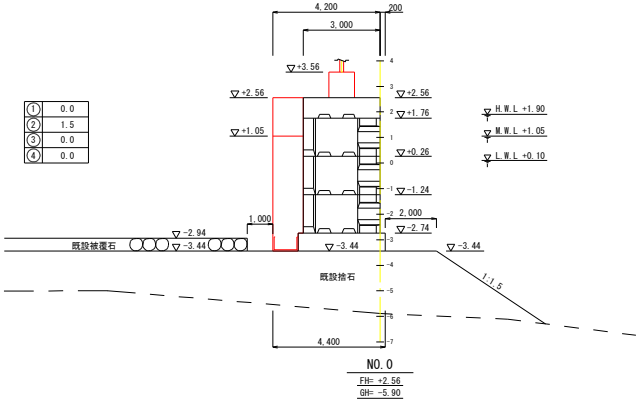
GH= -5.50



NO.0+3.7

FH= +2.56

GH= -6.10



NO.0

FH= +2.56

GH= -5.90

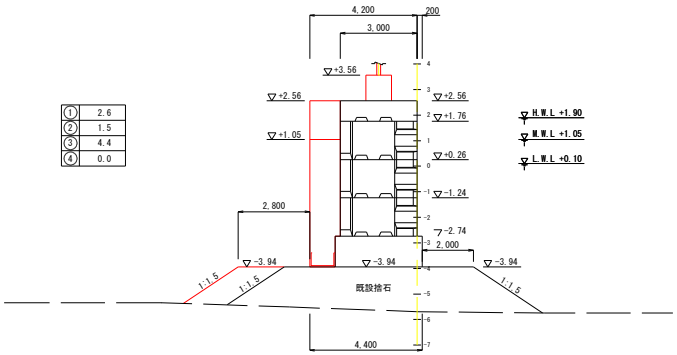
凡　例

①	捨石（水中 5～200kg）
②	捨石本均し（水中±5cm）
③	捨石荒均し（水中±50cm） 堤内側
④	捨石取除き

工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第３波除堤横断図－１		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	1/100	図面番号	9 － 4
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

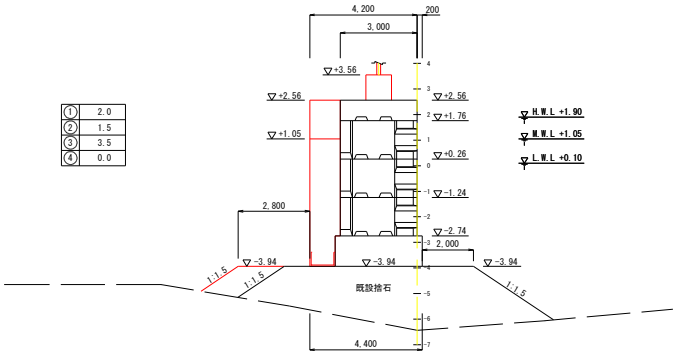
第３波除堤横断図－２

S=1/100



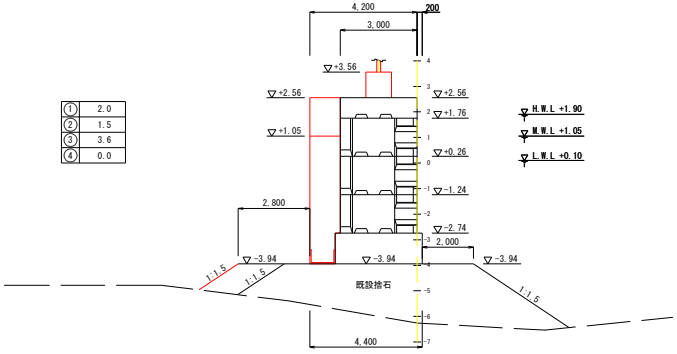
①	2.6
②	1.5
③	4.4
④	0.0

NO.2
FH= +2.56
GH= -5.70



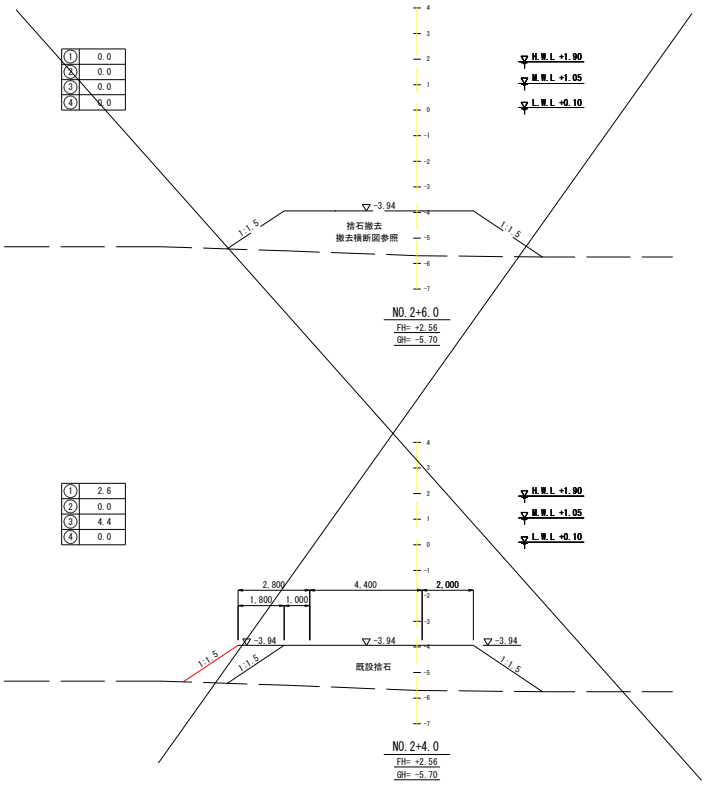
①	2.0
②	1.5
③	3.5
④	0.0

NO.1
FH= +2.56
GH= -6.50



①	2.0
②	1.5
③	3.6
④	0.0

NO.0+6.9
FH= +2.56
GH= -6.30

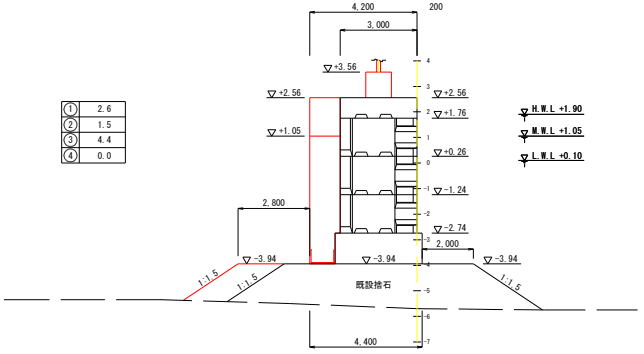


①	0.0
②	0.0
③	0.0
④	0.0

NO.2+6.0
FH= +2.56
GH= -5.70

①	2.6
②	0.0
③	4.4
④	0.0

NO.2+4.0
FH= +2.56
GH= -5.70



①	2.6
②	1.5
③	4.4
④	0.0

NO.2+2.0
FH= +2.56
GH= -5.70

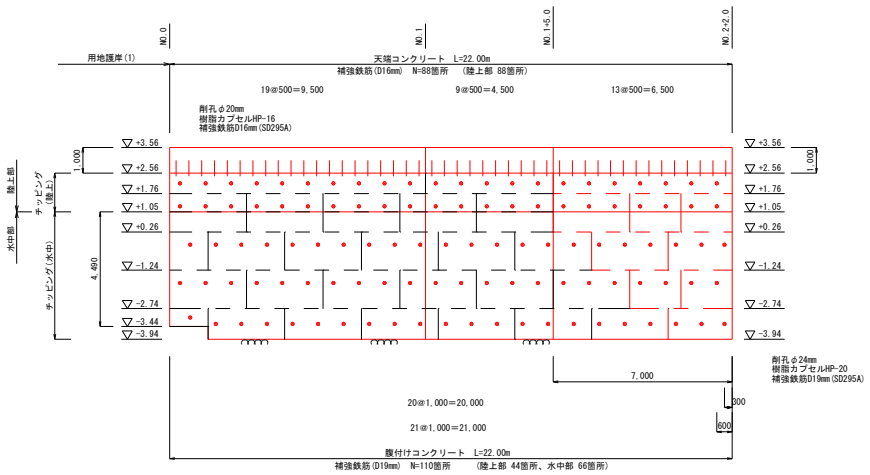
凡　例

①	捨石（水中 5～200kg）
②	捨石本均し（水中±5cm）
③	捨石荒均し（水中±50cm） 堤内側
④	捨石取除き

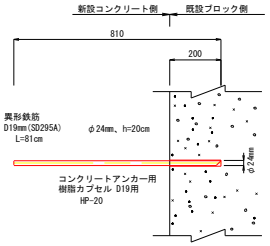
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第３波除堤横断図－２		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	1/100	図面番号	9 － 5
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

第3波除堤腹付けコンクリート詳細図

補強筋配置図
S=1/100

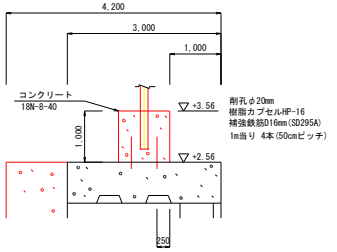


補強鉄筋詳細図(側面部)
S=1/10

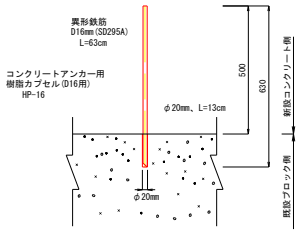


※異形鉄筋は旧コンクリート側先端を片面カット、または、両面カットにすること。
※孔内清掃が不十分だと、強度低下の原因となるので、孔内清掃は確実、丁寧に行う。
※既設コンクリート側の削孔深さは、過剰削孔しないように注意する。
※コンクリート削孔後、孔内に水がある場合は、可能であれば取り除く。取り除けない場合は水孔施工の注意事項を遵守する。
※硬化時間は、気中：15℃→20分 20℃→18分 25℃→15分 30℃→10分である。(参考:HP)

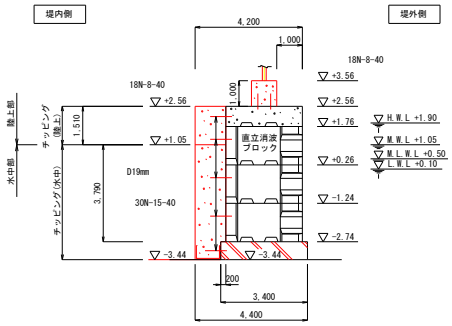
天端コンクリート詳細図
S=1/50



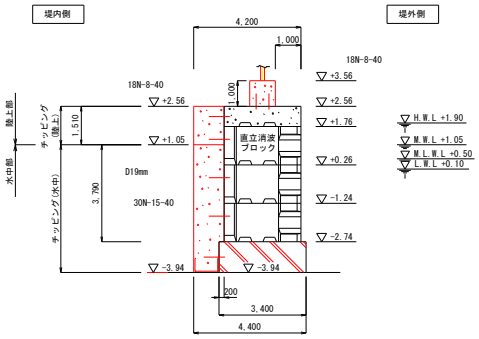
補強鉄筋詳細図(天端部)
S=1/10



始点部断面図
NO.0付近 S=1/100



標準部断面図
S=1/100



注意事項

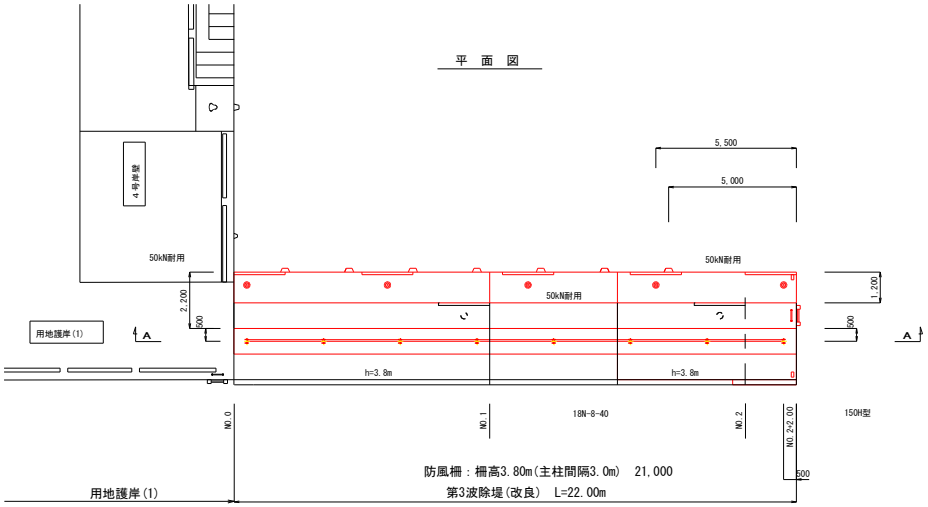
※ 作業中に異常音や異変を察知した場合は、削孔位置を変更する。
削孔位置を変更する場合には、調査職員の確認を受けること。
※ 削孔位置は、目地やブロック端部から、10cm以上離れた位置とする。
※ 設計図の配置間隔が確保できず、配置位置を変更する場合には、調査職員の確認を受けること。

工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第3波除堤腹付けコンクリート詳細図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図 示	図面番号	9 - 6
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部 南部農林土木事務所		

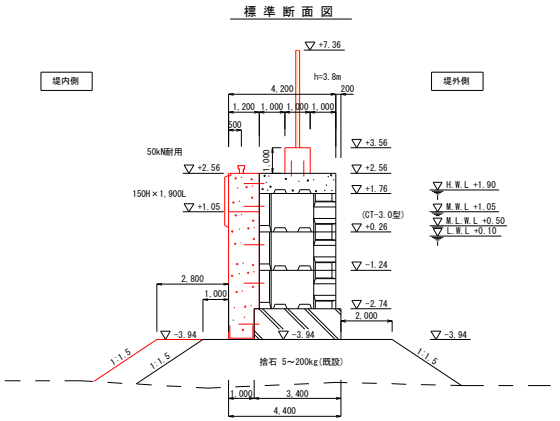
第３波除堤付属工配置図

S=1/100

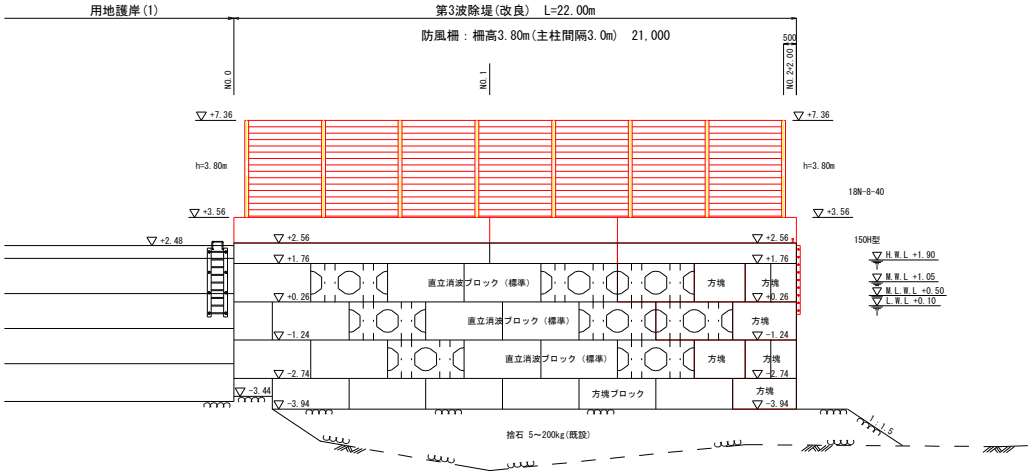
平面図



標準断面図



Ａ－Ａ断面



第3波除堤 付属工数量表

名　　称	数 量
防舷材 150H×1,900L(流用)	7　基
係船直柱 50kN型(新設)	1　基
係船直柱 50kN型(流用)	4　基
コーナーカバー 100H×2,000	5　基
タラップ 150H×2,700L(流用)	1　基
安全表示灯	2　基
防風柵(柵高 h=3.80m)	21.0　m

第3波除堤 防風柵　材料表

材 料 名	形 状 寸 法	数 量	単位	材料規格	表面処理
主柱（H形鋼）	H-150×150×7×10　L=4550	8	本	SS400	HZA50A
有孔折板60t1.6 #3000 上12段	t1.6×250　L=2940	84	枚	SS400	HZA50A
有孔折板取付ボルト	M8×30（1縦止N・2W付）	336	組	強度区分4.6相当	HZA36A
有孔折板60t2.3 #3000 中2段	t2.3×250　L=2940	14	枚	SS400	HZA50A
有孔折板取付ボルト	M10×35（1縦止N・2W付）	56	組	強度区分4.6相当	HZA36A
防波板70t4.5 #3000 下1段	t4.5×250　L=2940	7	枚	SS400	HZA50A
防波板取付ボルト	M12×40（1縦止N・2W付）	28	組	強度区分4.6相当	HZA36A
巾止金具（ツキツケ用）	t2.3×25×65	196	枚	SPHC	HZA50A
巾止金具（特）	t3×25×25	7	枚	SS400	HZA50A
巾止金具取付ボルト	M8×25（1縦止N付）	196	組	強度区分4.6相当	HZA36A

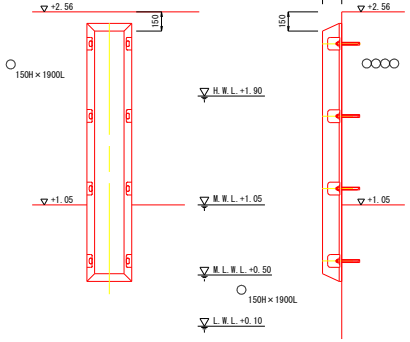
※ HZA:溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ
　アルミニウム5%とマグネシウム1%を添加した合金メッキとする。

工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第３波除堤付属工配置図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図　示	図面番号	9－7
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

第３波除堤付属工詳細図

防舷材詳細図(150H)
（流用） S=1/20

正面図



断面図

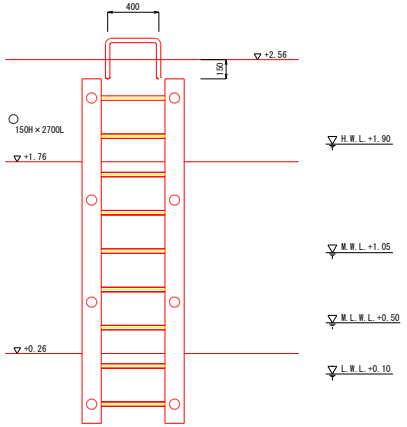
数量表 1基当り

符号	個数	名称	材質	記事
①	1	ゴム防舷材(流用)	ゴム	150H×1,900L
②	8	M18 アンカーボルト	SUS304	
③	8	M18 ナット	SUS304	
④	8	M18用ワッシャー	SUS304	
⑤	8	M18用樹脂カプセル	樹脂・骨材	樹脂量31cm3以上

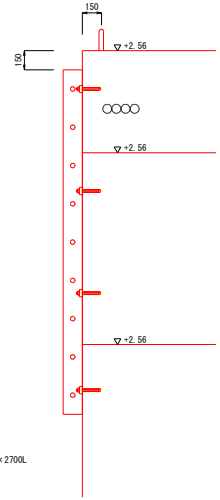
※ボルト長および規格は、既設ボルトを確認すること。

タラップ詳細図(150型)
（流用） S=1/20

正面図



断面図



数量表 1基当り

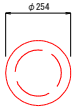
符号	個数	名称	材質	記事
①	1	タラップ(流用)	ゴム	150H×2700L
②	8	M18 アンカーボルト	SUS304	
③	8	M18 ナット	SUS304	
④	8	M18用ワッシャー	SUS304	
⑤	8	M18用樹脂カプセル	樹脂・骨材	樹脂量31cm3以上

※ボルト長および規格は、既設ボルトを確認すること。

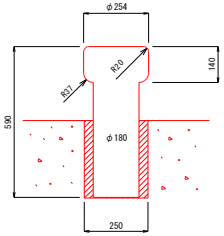
係船直柱詳細図
S=1/10

形状図(50kN型)

平面図

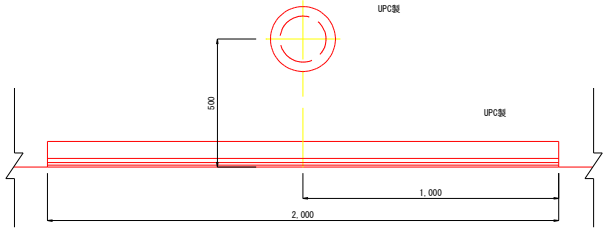


側面図

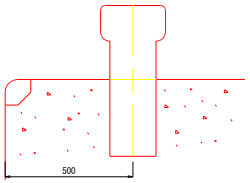


取付位置図

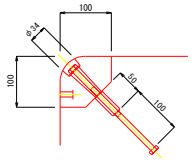
平面図



断面図

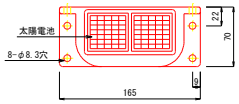


コーナー保護材断面図
S=1/N

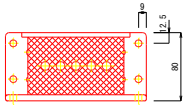


安全標示灯詳細図
S=1/3

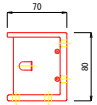
平面図



正面図



側面図



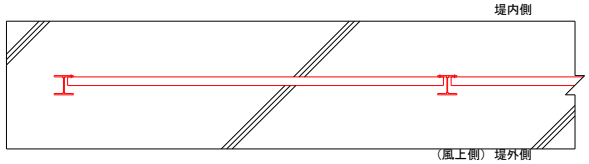
《安全標示灯の種類及び仕様》

区分		点滅型					点灯型	
点滅回数(回/分)		15回、30回、50回						
発光色		赤	橙	黄	緑	白	黄	白
発光部	LEDの輝度(mcd)	15000	20000	23000	12880	4000	1200	130
	LED数量	5個						
	電源電圧(V)	2.4		4.8			2.4	4.8
太陽電池	最大出力(mW)	320						
	最適電圧(V)	3.6		7.2			3.6	7.2
	最適電流(mA)	88		44			88	44
蓄電池	電圧(V)	1.2						
	容量(Ah)	1.2		0.6			1.2	0.6
重量(kg)		1.1						
本体材質		アルミ合金AC7A						
注記：製品の選定並びに設置方向(発光向き)については、調査職員の確認をうけること。								

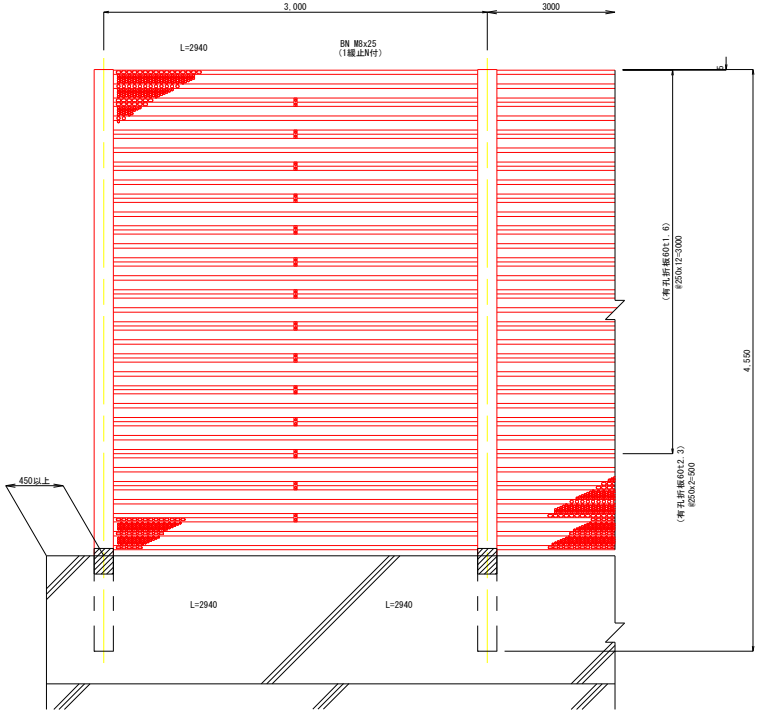
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)
図面名	第３波除堤付属工詳細図
作成年月日	令和 8年 6月
縮尺	図示 / 図面番号 9－8
会社名	
事業者名	沖縄県農林水産部 南部農林土木事務所

第３波除堤防風柵詳細図

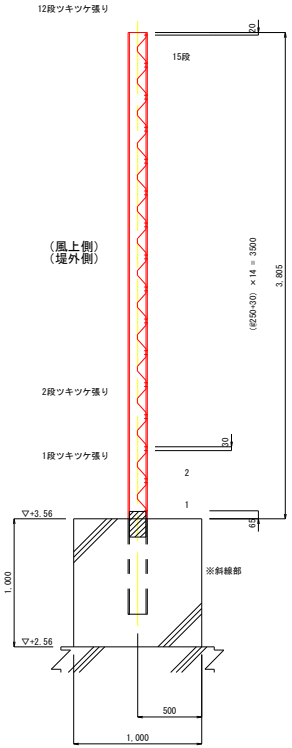
平面図
S=1/20



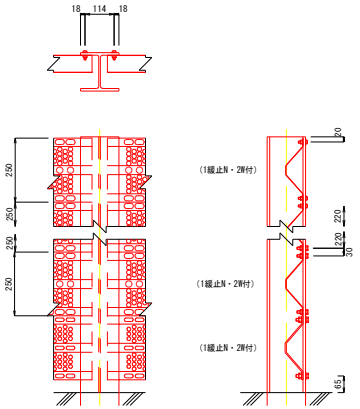
立面図
S=1/20



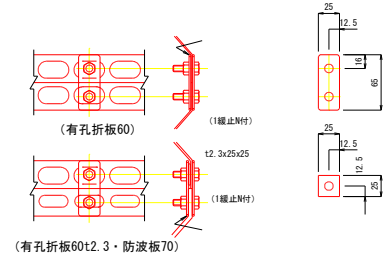
側面図
S=1/20



パネル取付詳細図
S=1/10



巾止金具取付詳細図
S=1/3

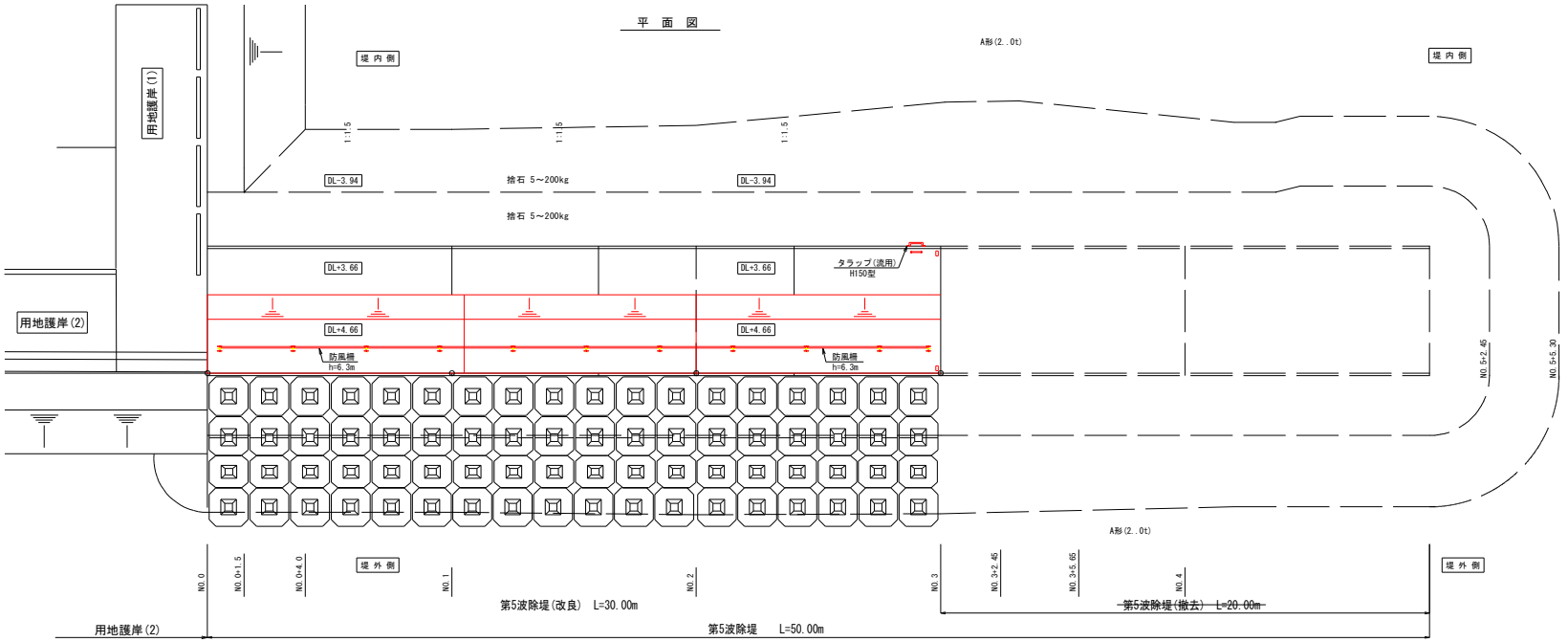


工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第３波除堤防風柵詳細図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図 示	図面番号	9 - 9
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部 南部農林土木事務所		

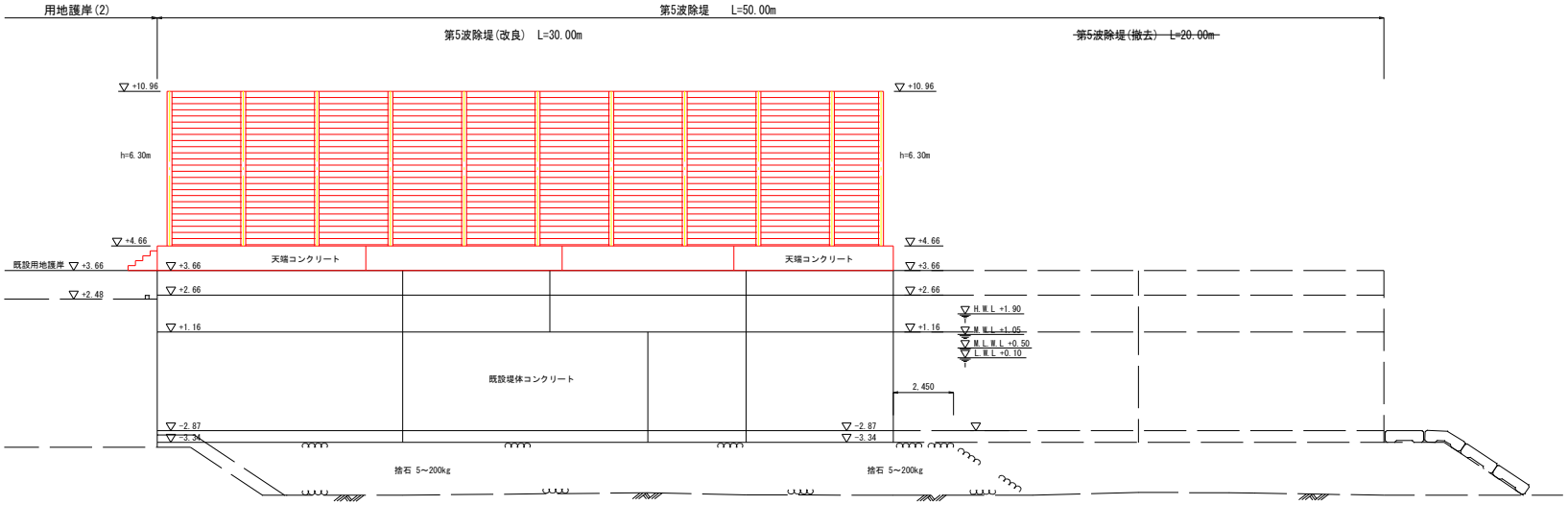
第５波除堤平面詳細図

S=1/100

平面図



正面図



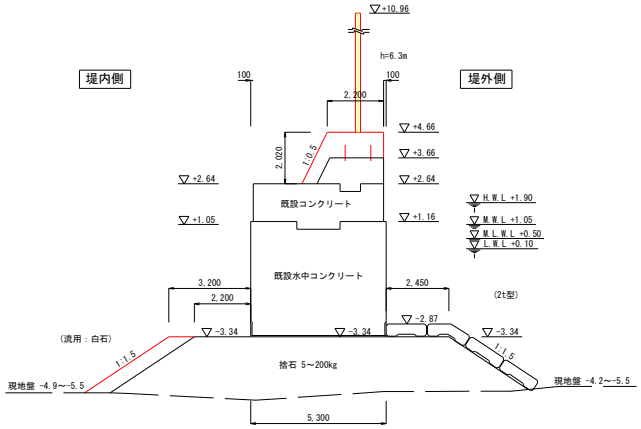
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第５波除堤平面詳細図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図 示	図面番号	8 - 1
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部 南部農林土木事務所		

第５波除堤標準断面図

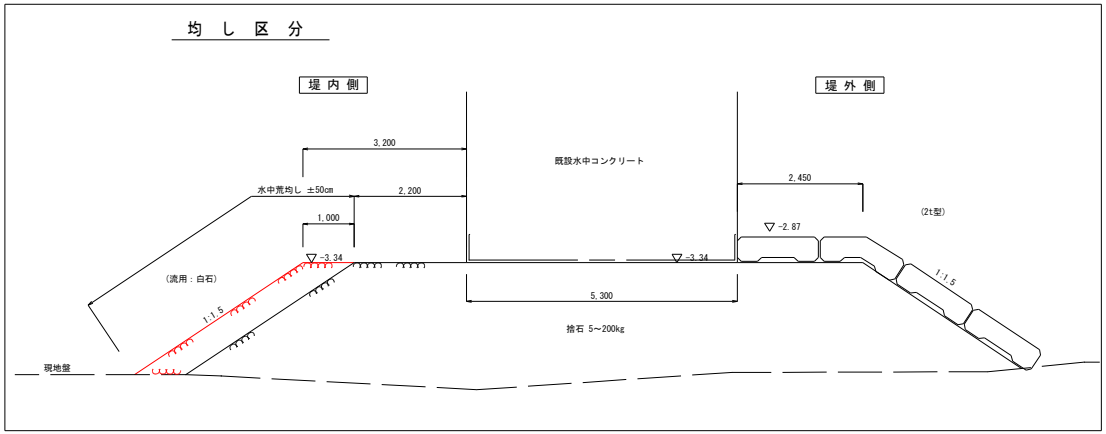
S=1/100

標　準　部

S=1/100



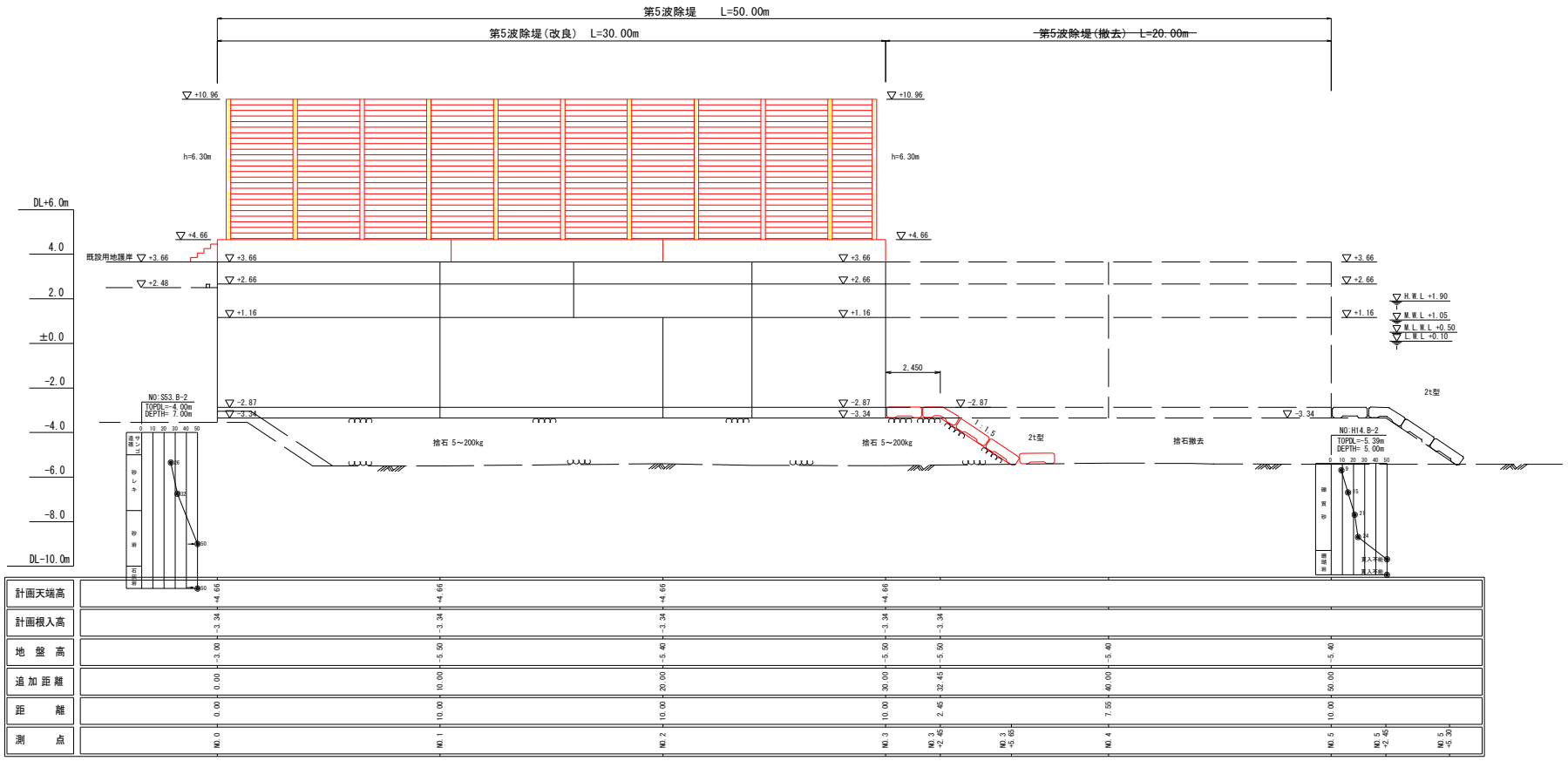
均　し　区　分



工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第５波除堤標準断面図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図　示	図面番号	8－2
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

第５波除堤縦断図

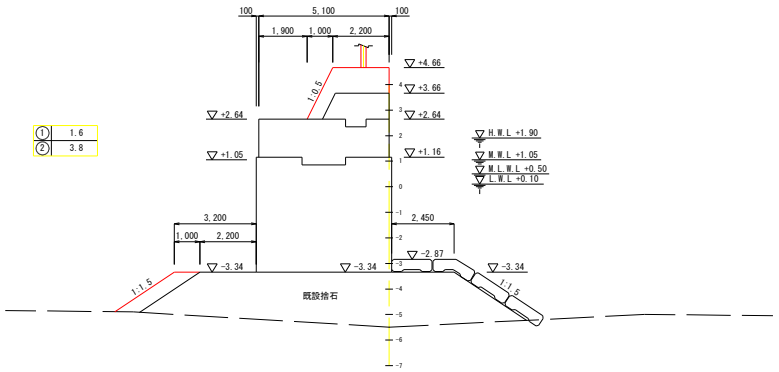
S: V=1/100
H=1/100



工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)
図面名	第５波除堤縦断図
作成年月日	令和 8年 6月
縮尺	図　示
図面番号	8－3
会社名	
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所

第５波除堤横断図－１

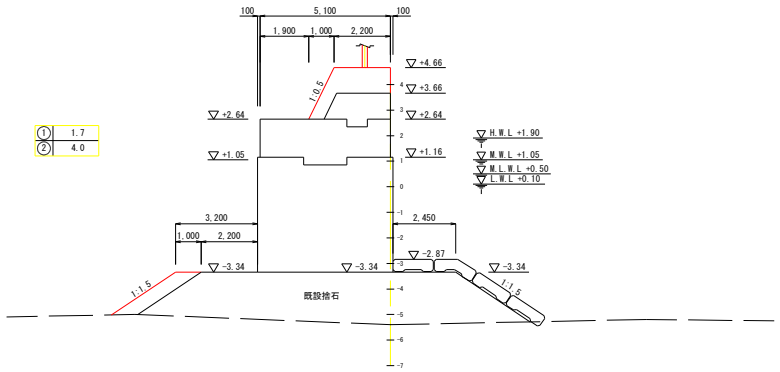
S=1/100



NO.0+4.0

FH= +3.66

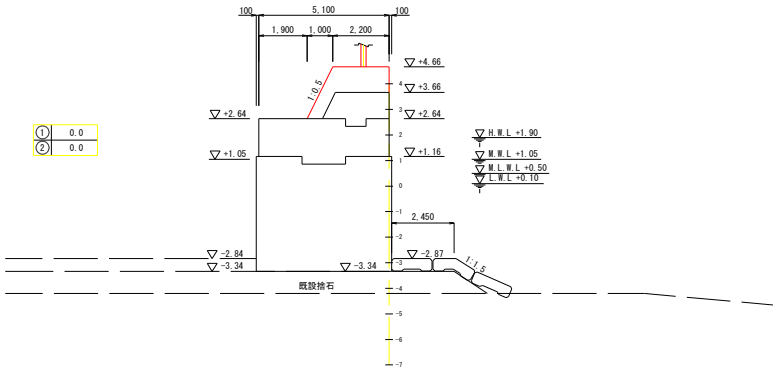
GH= -5.50



NO.2

FH= +3.66

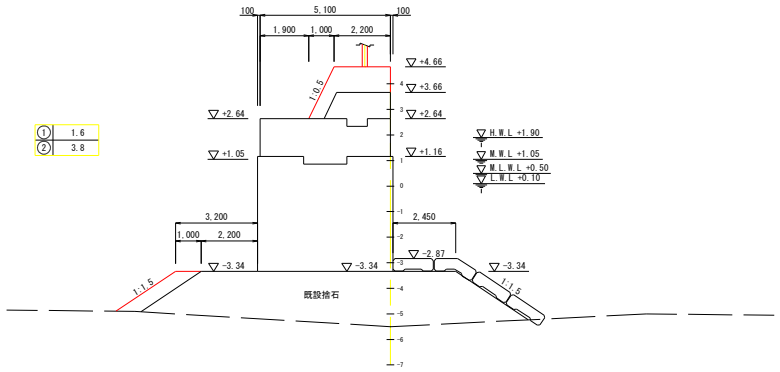
GH= -5.40



NO.0+1.5

FH= +3.66

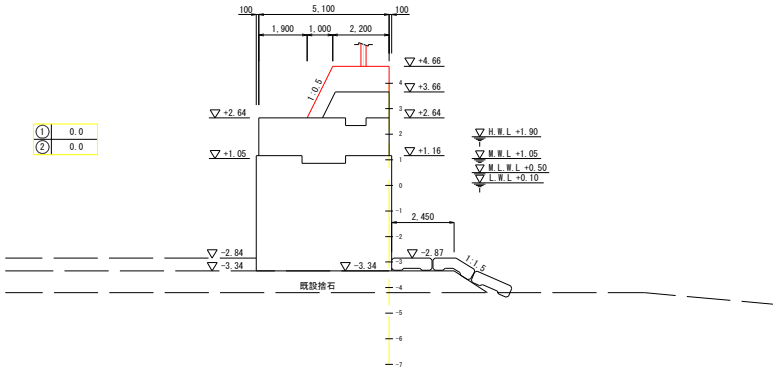
GH= -4.20



NO.1

FH= +3.66

GH= -5.50



NO.0

FH= +3.66

GH= -4.20

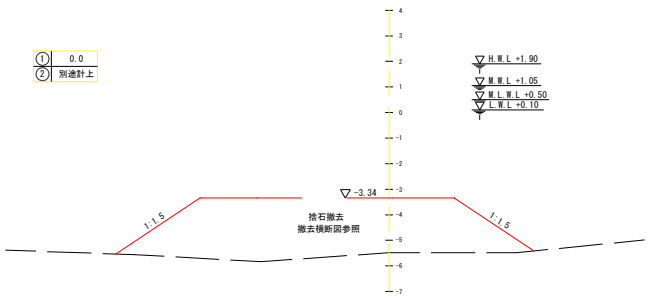
凡　例

①	捨石（水中 5～200kg）
②	捨石荒均し（水中±50cm） 堤内側

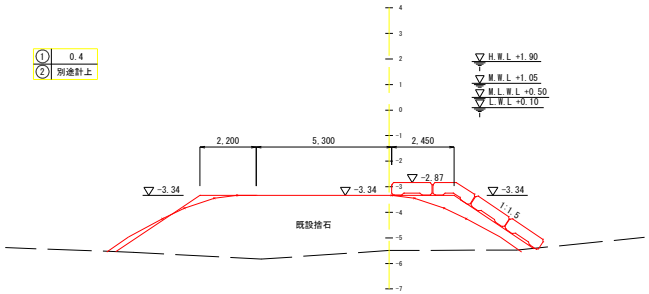
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第５波除堤横断図－１		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	1/100	図面番号	8 － 4
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

第５波除堤横断図－２

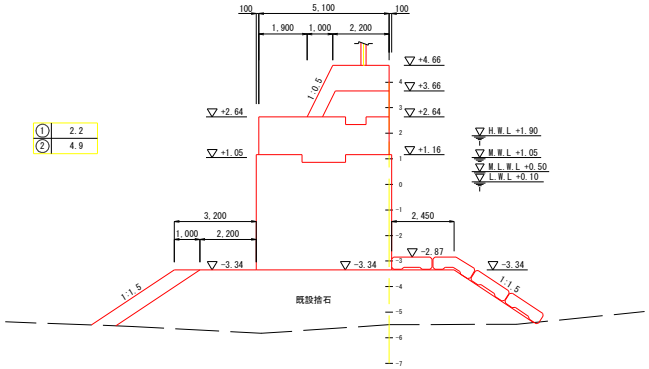
S=1/100



NO.3+5.65
FH= +3.66
GH= -5.50



NO.3+2.45
FH= +3.66
GH= -5.50



NO.3
FH= +3.66
GH= -5.50

凡　例

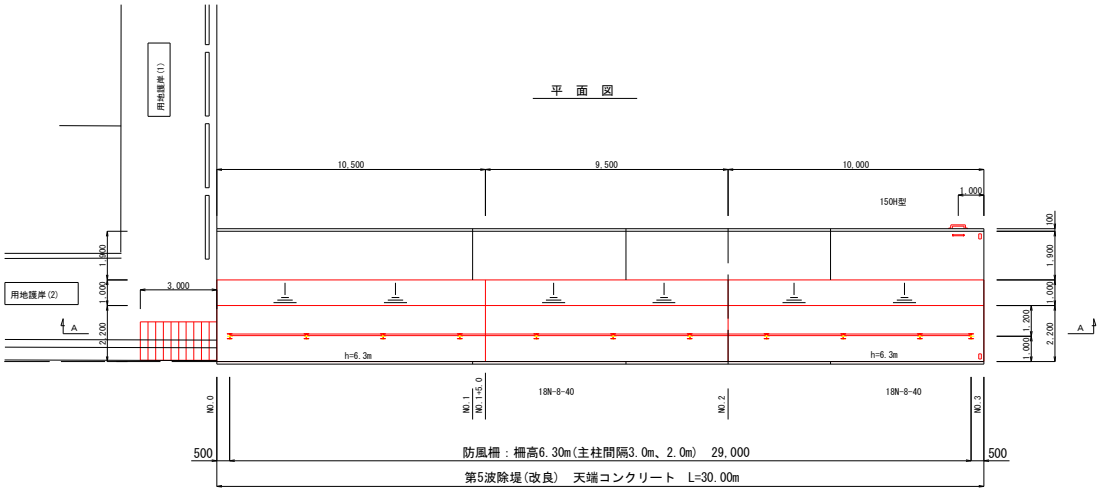
①	捨石（水中 5～200kg）
②	捨石荒均し（水中±50cm） 堤内側

工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第５波除堤横断図－２		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	1/100	図面番号	8 － 5
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

第５波除堤付属工配置図

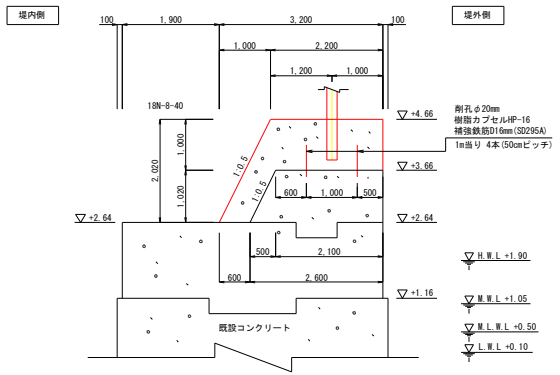
S=1/100

平面図



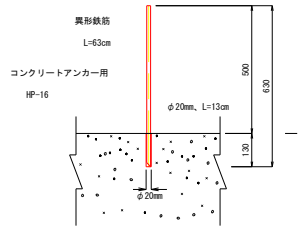
天端コンクリート詳細図

S=1/50

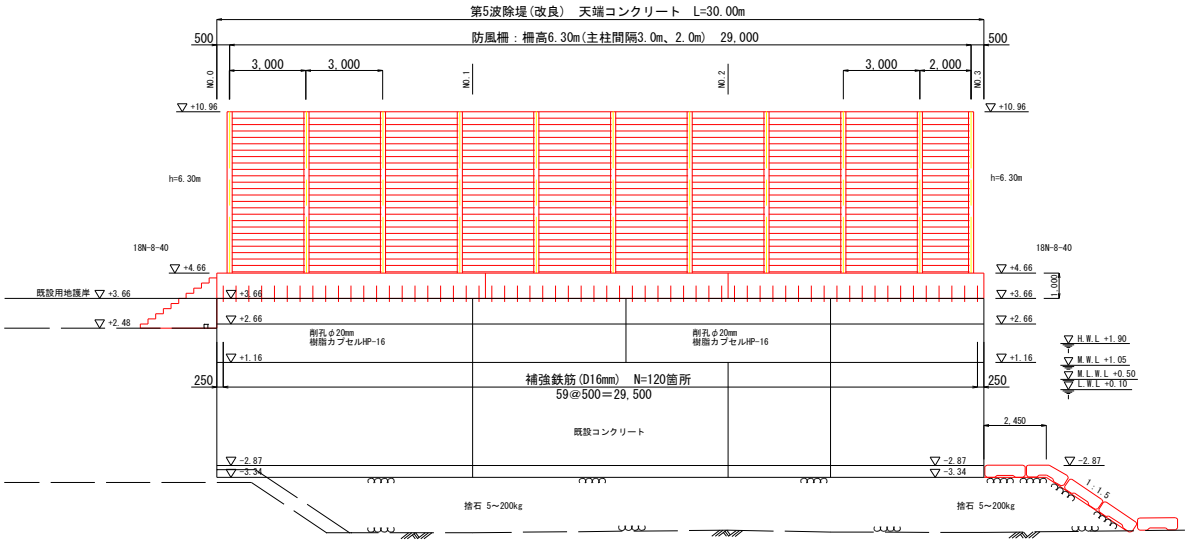


補強鉄筋詳細図(天端部)

S=1/10



Ａ－Ａ断面



第5波除堤 付属工数量表

名　　称	数　量
タラップ 150H×2,700L(流用)	1　基
安全表示灯	2　基
防風柵(柵高 h=6.30m)	29.0ｍ

第5波除堤防風柵　材料表

材料名	形状寸法	数量	単位	材料規格	表面処理
主柱（H形鋼）	H-200×200×8×12　L=7100	11	本	SS400	HZA50A
有孔折板60t1.6 @3000 上20段	t1.6×250　L=2920	180	枚	SS400	HZA50A
有孔折板60t1.6 @2000 上20段	t1.6×250　L=1920	20	枚	SS400	HZA50A
有孔折板取付ボルト	M8×35（1緩止N・2W付）	800	組	強度区分4.6相当	**HZA36A**
有孔折板60t2.3 @3000 中1段	t2.3×250　L=2920	9	枚	SS400	HZA50A
有孔折板60t2.3 @2000 中1段	t2.3×250　L=1920	1	枚	SS400	HZA50A
有孔折板取付ボルト	M10×35（1緩止N・2W付）	40	組	強度区分4.6相当	HZA36A
防波板70t4.5 @3000 下4段	t4.5×250　L=2920	36	枚	SS400	HZA50A
防波板70t4.5 @2000 下4段	t4.5×250　L=1920	4	枚	SS400	HZA50A
防波板取付ボルト	M12×45（1緩止N・2W付）	160	組	強度区分4.6相当	HZA36A
巾止金具（ツキツケ用）	t2.3×25×65	480	枚	SPHC	HZA50A
巾止金具（特）	t3×25×25	10	枚	SS400	HZA50A
巾止金具取付ボルト	M8×25（1緩止N付）	480	組	強度区分4.6相当	HZA36A

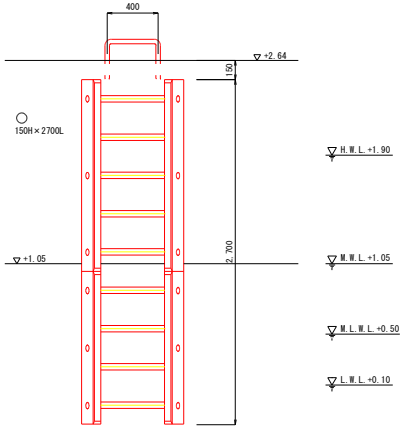
※ HZA:溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ
　アルミニウム５%とマグネシウム１%を添加した合金メッキとする。

工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第５波除堤付属工配置図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図　示	図面番号	8 - 6
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

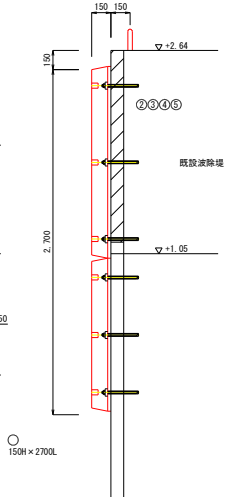
第5波除堤付属工詳細図

タラップ詳細図(150型)
（流用） S=1/20

正面図



断面図



数量表

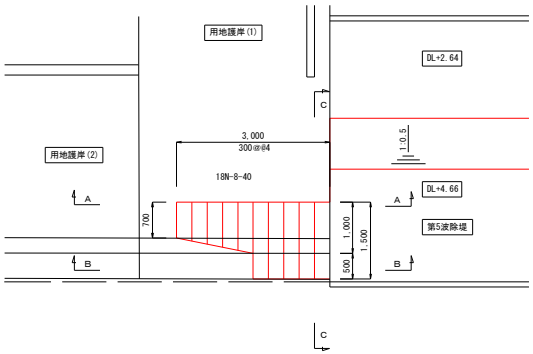
1基当り

符号	個数	名称	材質	記事
①	1	タラップ(流用)	ゴム	150H×2700L
②	8	M18 アンカーボルト	SUS304	
③	8	M18 ナット	SUS304	
④	8	M18用ワッシャー	SUS304	
⑤	8	M18用樹脂カプセル	樹脂・骨材	樹脂量31cm3以上

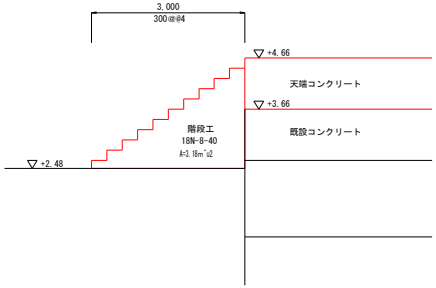
※ボルト長および規格は、既設ボルトを確認すること。

階段工詳細図
S=1/10

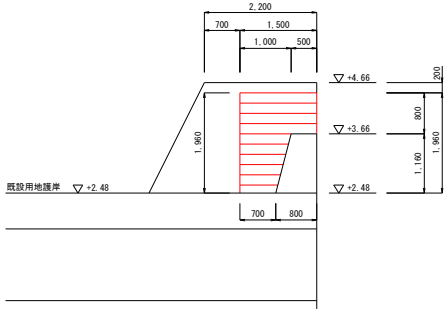
正面図



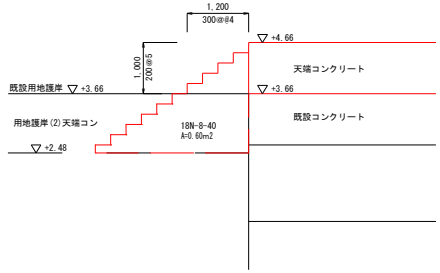
A－A 断面



C－C 断面

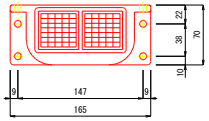


B－B 断面

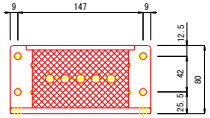


安全標示灯詳細図
S=1/3

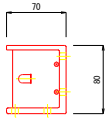
平面図



正面図



側面図



《安全標示灯の種類及び仕様》

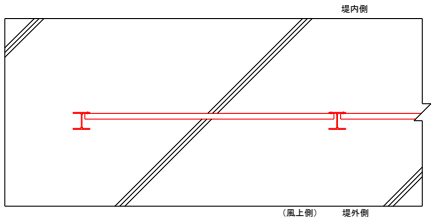
区分		点滅型					点灯型	
点滅回数(回/分)		15回、30回、50回						
発光色		赤	橙	黄	緑	白	黄	白
発光部	LEDの輝度(mcd)	15000	20000	23000	12880	4000	1200	130
	LED数量	5個						
	電源電圧(V)	2.4		4.8			2.4	4.8
太陽電池	最大出力(mW)	320						
	最適電圧(V)	3.6		7.2			3.6	7.2
	最適電流(mA)	88		44			88	44
蓄電池	電圧(V)	1.2						
	容量(Ah)	1.2		0.6			1.2	0.6
重量(kg)		1.1						
本体材質		アルミ合金AC7A						

注記：製品の選定並びに設置方向(発光向き)については、調査職員の確認をうけること。

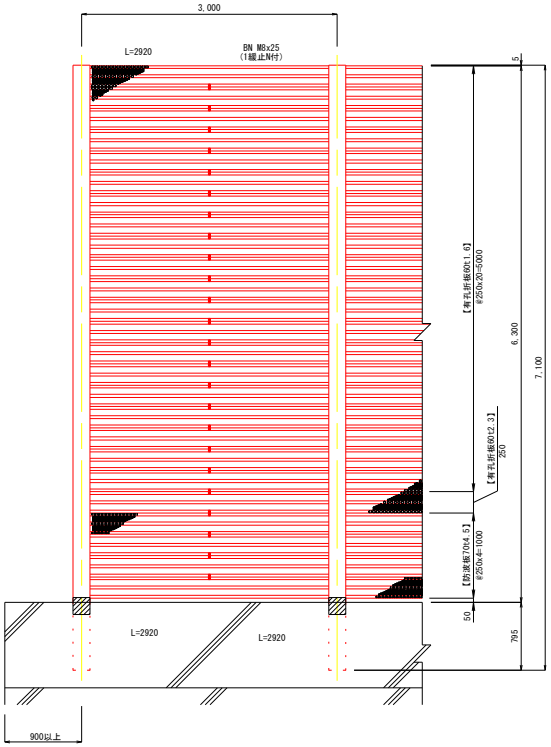
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)
図面名	第5波除堤付属工詳細図
作成年月日	令和 8年 6月
縮尺	図示
図面番号	8－7
会社名	
事業者名	沖縄県農林水産部 南部農林土木事務所

第５波除堤防風柵詳細図

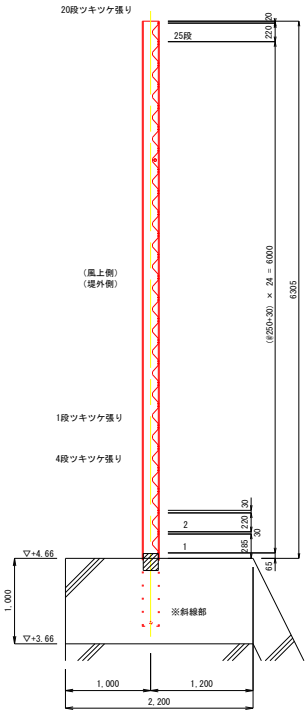
平面図
S=1/30



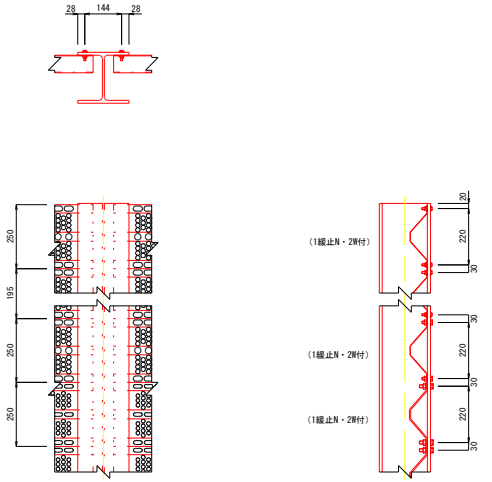
立面図
S=1/30



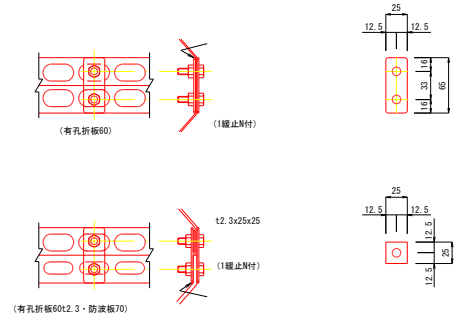
側面図
S=1/30



パネル取付詳細図
S=1/10



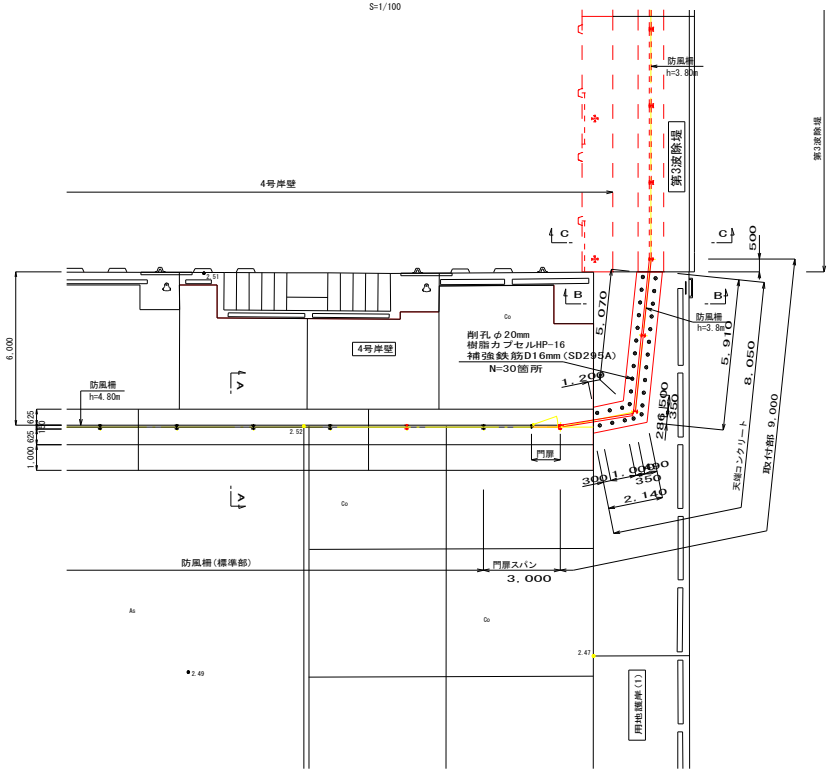
巾止金具取付詳細図
S=1/3



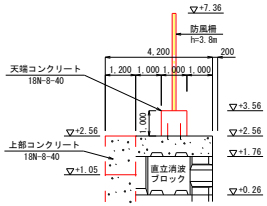
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	第５波除堤防風柵詳細図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図 示	図面番号	8 - 8
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部 南部農林土木事務所		

4号岸壁防風柵取付部詳細図

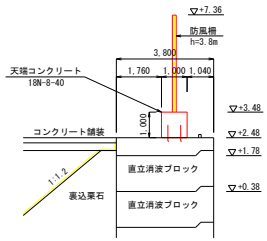
平　面　図
S=1/100



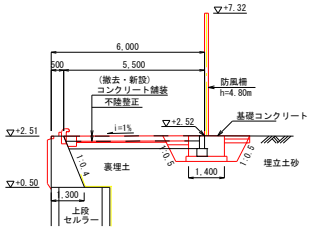
C－C 断 面 図
S=1/100



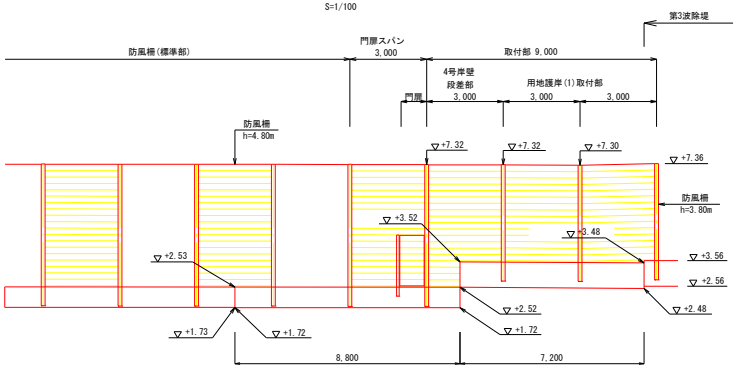
B－B 断 面 図
S=1/100



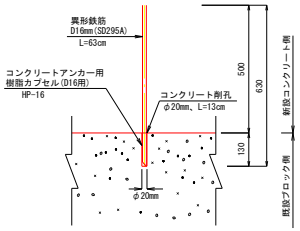
A－A 断 面 図
S=1/100



取 付 部 縦 断 図
S=1/100



補強鉄筋詳細図(天端部)
S=1/10



4号岸壁(標準部:門扉スパン) 防風柵 材料表
※L=3m 門柱2本、門扉1基当たり

材 料 名	形 状 寸 法	数 量	単位	材料規格	表面処理
門柱(H形鋼)	H-150×150×7×10 L=5550	1	本	SS400	HZA50A
有孔折板60 @3000	t1.6×250 L=2940	11	枚	SS400	HZA50A
有孔折板60 @1875	t1.6×250 L=1815	8	枚	SS400	HZA50A
有孔折板取付ボルト	M8×30(1緩止N・2W付)	76	組	強度区分4.6相当	HZA36A
巾止金具(ツキツケ用)	t2.3×25×65	36	枚	SPHC	HZA50A
巾止金具取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	36	組	強度区分4.6相当	HZA36A
門柱(H形鋼)	H-100×100×6×8 L=2400	1	本	SS400	HZA50A
枠材	L-75×75×6 L960×H1980	1	組	SS400	HZA50A
帯板	t6×100×810	1	枚	SS400	HZA50A
有孔折板60	t1.6×250 L=900	7	枚	SS400	HZA50A
有孔折板取付ボルト	M8×30(1緩止N・2W付)	28	組	強度区分4.6相当	HZA36A
丁番	φ28(L=34+60+30)/t9×50、t9×55	2	組	SS400	HZA50A
丁番取付ボルト	M12×40(1緩止N・2W付)	4	組	強度区分4.6相当	HZA36A
丁番軸	M16×160(1緩止N・3W付)	2	組	強度区分4.6相当	HZA36A
カンヌキ	φ19 L=390/t6×32 両面操作用	1	組	SS400	HZA50A
スプリングピン	φ8 L=30	1	本	SUS304相当	-
カンヌキBK	L-50×50×6 L=75	2	ケ	SS400	HZA50A
カンヌキBK取付ボルト	M8×30(1緩止N・2W付)	4	組	強度区分4.6相当	HZA36A
カンヌキ受け	L-50×50×6 L=75	1	ケ	SS400	HZA50A
カンヌキ受け取付ボルト	M8×30(1緩止N・2W付)	2	組	強度区分4.6相当	HZA36A
カンヌキ鍵BK	t6×32×50(曲)、t6×25×30	1	組	SS400	HZA50A

4号岸壁(取付部:段差部) 防風柵 材料表
※L=3m 1スパン1連当たり

材 料 名	形 状 寸 法	数 量	単位	材料規格	表面処理
有孔折板60 @3000 (段差上部)	t1.6×250 L=2775	15	枚	SS400	HZA50A
有孔折板60 @1328 (段差下部)	t1.6×250 L=1175	4	枚	SS400	HZA50A
有孔折板取付ボルト	M8×30(1緩止N・2W付)	76	組	強度区分4.6相当	HZA36A
巾止金具(ツキツケ用)	t2.3×25×65	28	枚	SPHC	HZA50A
巾止金具取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	28	組	強度区分4.6相当	HZA36A
コーナープレート	t4.5×100×2373	2	枚	SS400	HZA50A
コーナープレート	t4.5×100×1873	2	枚	SS400	HZA50A
コーナープレート取付ボルト	M8×35(1緩止N・2W付)	62	組	強度区分4.6相当	HZA36A
コーナープレート取付ボルト	M10×40(1緩止N・2W付)	4	組	強度区分4.6相当	HZA36A
コーナープレート取付ボルト	M12×45(1緩止N・2W付)	2	組	強度区分4.6相当	HZA36A
パネル取付プレート	t4.5×125×1000	1	枚	SS400	HZA50A
オールアンカー	M12×100(1N・1W付)	3	組	強度区分4.6相当	HZA36A

用地護岸(1)(取付部) 防風柵 材料表
※L=6m 2スパン1連当たり

材 料 名	形 状 寸 法	数 量	単位	材料規格	表面処理
主柱(H形鋼)	H-150×150×7×10 L=4550	3	本	SS400	HZA50A
有孔折板60t1.6 @3000 上12段	t1.6×250 L=2940	24	枚	SS400	HZA50A
有孔折板取付ボルト	M8×30(1緩止N・2W付)	96	組	強度区分4.6相当	HZA36A
有孔折板60t2.3 @3000 中2段	t2.3×250 L=2940	4	枚	SS400	HZA50A
有孔折板取付ボルト	M10×35(1緩止N・2W付)	16	組	強度区分4.6相当	HZA36A
防波板70t4.5 @3000 下1段	t4.5×250 L=2940	2	枚	SS400	HZA50A
防波板取付ボルト	M12×40(1緩止N・2W付)	8	組	強度区分4.6相当	HZA36A
巾止金具(ツキツケ用)	t2.3×25×65	56	枚	SPHC	HZA50A
巾止金具(特)	t2.3×25×25	2	枚	SS400	HZA50A
巾止金具取付ボルト	M8×25(1緩止N付)	56	組	強度区分4.6相当	HZA36A

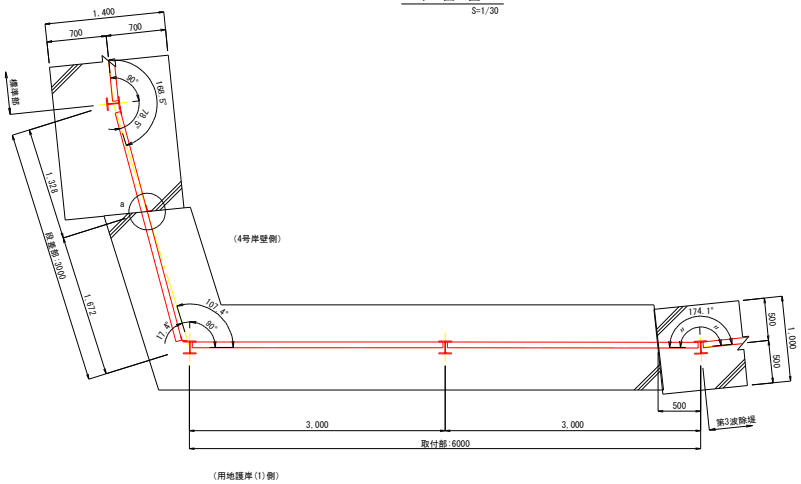
※ HZA:溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ

アルミニウム5%とマグネシウム1%を添加した合金メッキとする。

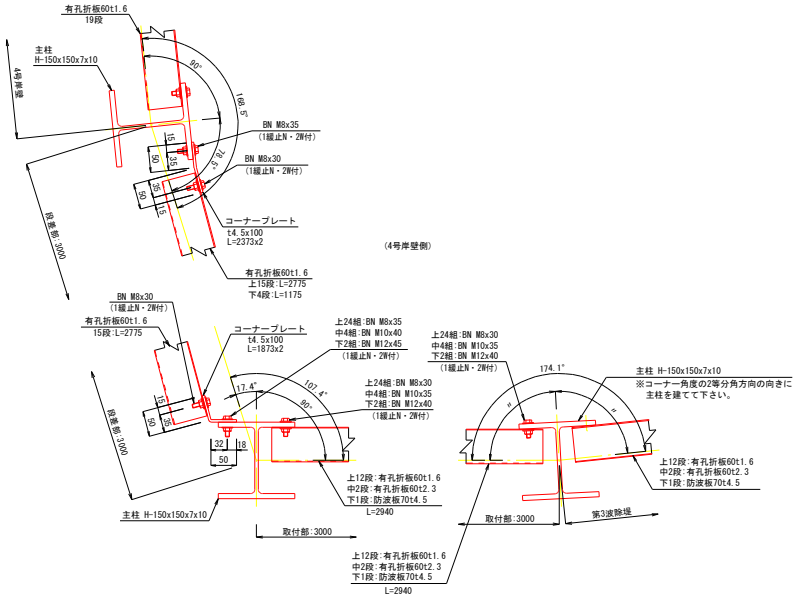
工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	4号岸壁防風柵取付部詳細図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図 示	図面番号	2 - 1
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部　南部農林土木事務所		

4号岸壁防風柵詳細図-2

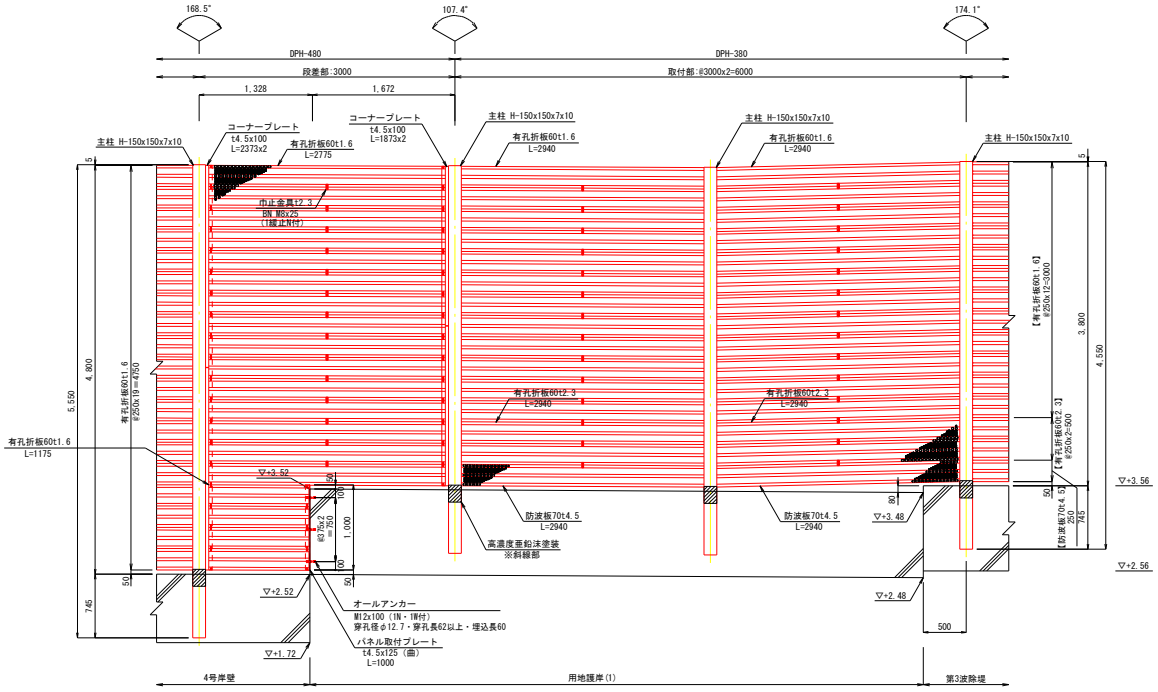
平 面 図
S=1/30



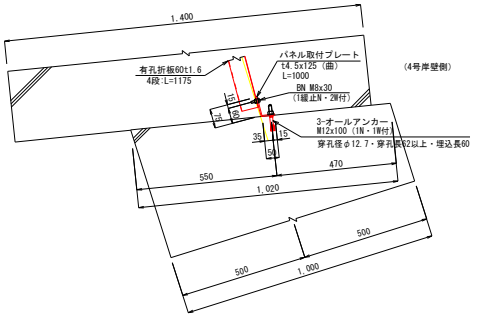
コーナー部詳細図
S=1/5



立 面 図
S=1/30



a（パネル取付プレート）部詳細図
S=1/10

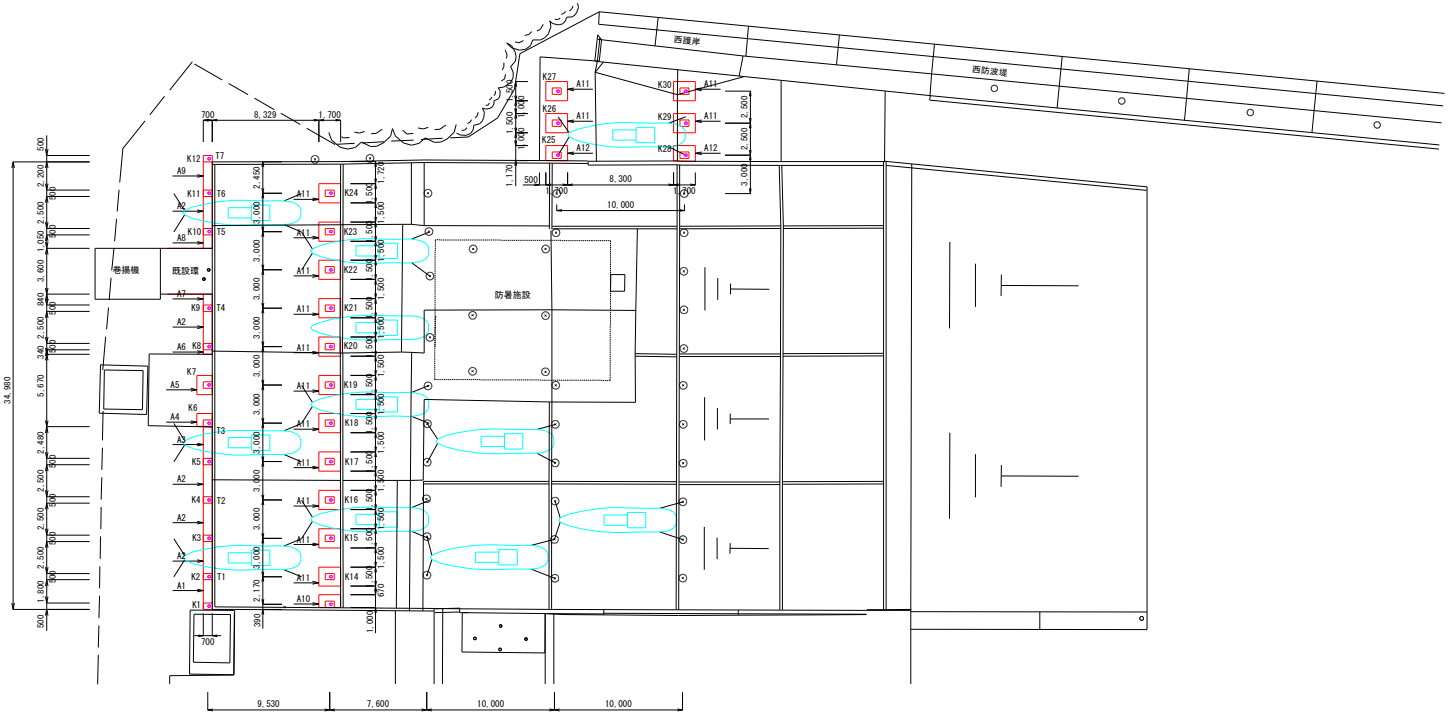


工事名	波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)		
図面名	4号岸壁防風柵詳細図-2		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図 示	図面番号	2 - 2
会社名			
事業者名	沖縄県農林水産部 南部農林土木事務所		

漁船保管施設用地平面詳細図

平　面　図

S=1/200



コンクリート舗装数量表

名　称	番号	規　格	数 量	備　考
コンクリート舗装 厚さ t=20cm (18N-8-40)	A1	0.70×1.80 =1.26 m2	1 箇所	
	A2	0.70×2.50 =1.75 m2	5 箇所	
	A3	0.70×2.48 =1.73 m²	1 箇所	
	A4	1.20×1.00-0.35 m² =0.85 m²	1 箇所	
	A5	1.20×1.50-0.35 m² =1.45 m²	1 箇所	
	A6	0.70×0.34 =0.23 m²	1 箇所	
	A7	0.70×0.84 =0.58 m²	1 箇所	
	A8	0.70×1.05 =0.73 m²	1 箇所	
	A9	0.70×2.20 =1.54 m²	1 箇所	
	A10	1.70×1.00-0.35 m² =1.35 m²	1 箇所	
	A11	1.70×1.50-0.35 m² =2.20 m²	15 箇所	
	A12	1.70×1.17-0.35 m² =1.63 m²	2 箇所	
係船環控除面積		0.50×0.70=0.35 m²		

既設コンクリート舗装撤去数量表

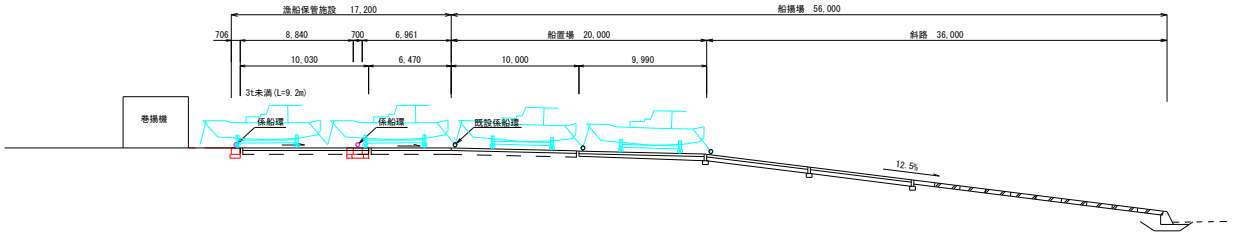
名　称	番号	規　格	数 量	備　考
既設コンクリート舗装 厚さ t=20cm	A4	1.20×1.00 =1.20 m²	1 箇所	コンクリート切断 L=2.20m
	A5	1.20×1.50 =1.80 m²	1 箇所	コンクリート切断 L=3.90m
	A10	1.70×1.00 =1.70 m²	1 箇所	コンクリート切断 L=2.70m
	A11	1.70×1.50 =2.55 m²	15 箇所	コンクリート切断 L=4.90m
	A12	1.70×1.17 =1.98 m²	2 箇所	コンクリート切断 L=4.04m

係船環数量表

名　称		数 量
係船環　環径0200(流用)	K1～K7	7　基
係船環　環径0200(新設)	K8～K30	23　基
既設係船環撤去	T1～T7	7　基

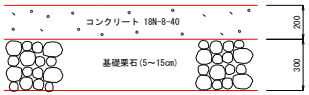
断　面　図

S=1/200



舗　装　構　成　図

S=1/15

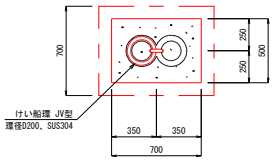


工事名	波照間漁港波除堤等整備工事（R8-2）
図面名	漁船保管施設用地平面詳細図
作成年月日	令和 8年 6月
縮尺	図　示　　図面番号　2－1
会社名	
事業者名	沖縄県　南部農林土木事務所

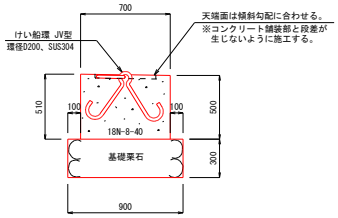
漁船保管施設用地付属工詳細図

係船環及び基礎
S=1/20

平 面 図



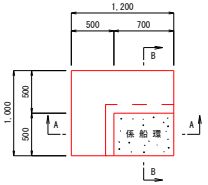
断 面 図



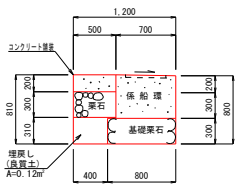
注記:係船環の軸に合わせて
彫り下げること。

コンクリート舗装 A4
S=1/30

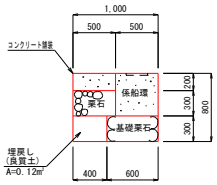
平 面 図



A-A断面図

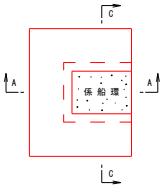


B-B断面図

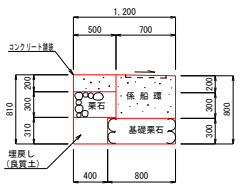


コンクリート舗装 A5
S=1/30

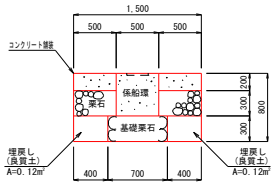
平 面 図



A-A断面図

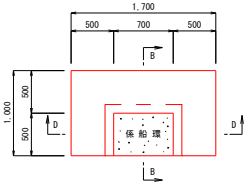


C-C断面図

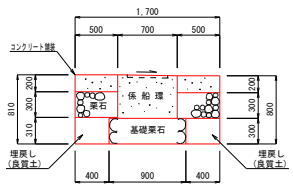


コンクリート舗装 A10
S=1/30

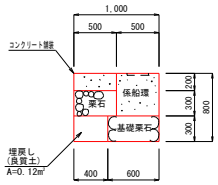
平 面 図



D-D断面図

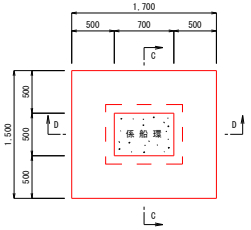


B-B断面図

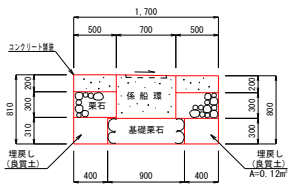


コンクリート舗装 A11
S=1/30

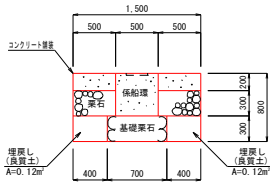
平 面 図



D-D断面図

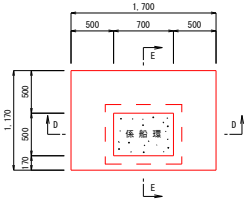


C-C断面図

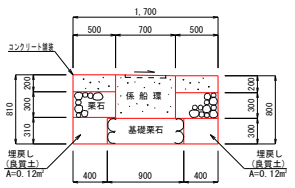


コンクリート舗装 A12
S=1/30

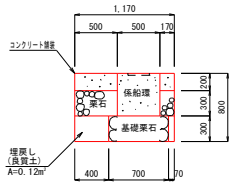
平 面 図



D-D断面図

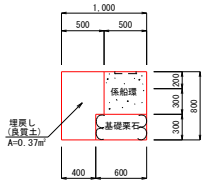


E-E断面図

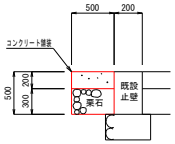


コンクリート舗装(土砂部)
S=1/30

K1～K5、K8～K12



A1～A3、A6～A9



工事名	波照間漁港波除堤等整備工事 (R8-2)		
図面名	漁船保管施設用地付属工詳細図		
作成年月日	令和 8年 6月		
縮尺	図 示	図面番号	2 - 2
会社名			
事業者名	沖縄県 南部農林土木事務所		

工事番号		審査者	設計者
工種	構造物工事		

波照間漁港波除提等整備工事(R8-2)

路線名称			適用歩掛	令和07年 漁港
施工箇所	竹富町　波照間漁港		適用単価	R08年7月八重山4：西表島
工期	自 至	0 日間	適用地区	
工事準拠基準			適用損料	R07年10月建設機械等損料

当初設計額　　円

工事内訳

総　　括　　表

費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	摘要
工事費	1	式				
本工事費	1	式				
構造物工事01	1	式				
合計						

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
構造物工事01	1	式				
第1波除提	1	式				
第1波除提	1	式				
上部工	1	式				
鋼製型枠組立組外(重力式) 陸上施工	161.5	㎡			施 1 号 P34	
コンクリート打設(陸上) ポンプ車 50m3以上	84.5	m3			施 2 号 P35	
伸縮目地 瀝青質系	9.5	㎡			施 3 号 P36	
雑工	1	式				
コンクリートはつり 陸上施工	75	㎡			施 4 号 P37	
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 30㎜以上200㎜未満	300	孔			Ｐ 1 号 P67	
アンカー取付 D16用、HP-16	300	本			代 1 号 P19	
鉄筋加工組立（重力式) 陸上施工	295	kg			施 5 号 P38	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
防風柵設置工 L=54m(標準部)	1	式				
主柱 H形鋼 SS400 HZA50A H-150×150×7×10 L=4750mm	18	本				
有孔折板60 SS400 HZA50A t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）上16段	288	枚				
有孔折板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M8×30(1緩止N･2W付)	1,152	組				
(ツキツケ用)吊止金具 SPHC HZA50A t2.3×25×65	540	枚				
吊止金具 取付ボルト 強度4.6相当 HZA36 M8×25(1緩止N付)	540	組				
防風柵取付工 L=54m(標準部)	1	式				
主柱建方工 H形鋼 H-150×150×7×10 L=4550mm	18	本			代 2 号 P20	
パネル取付工 t1.6×250、L=2920mm（遮蔽率60%）	288	枚			代 3 号 P21	
防風柵設置工 L=20m(堤頭部)	1	式				
取合支柱 H形鋼 SS400 HZA50A H-150×150×7×10 L=4750mm	1	本				
主柱 H形鋼 SS400 HZA50A H-150×150×7×10 L=4750mm	7	本				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
有孔折板60 SS400 HZA50A t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）上16段	90	枚				
有孔折板60 SS400 HZA50A t1.6×250、L=1940mm（遮蔽率60%）上15段	15	枚				
有孔折板60 SS400 HZA50A t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）中2段	6	枚				
有孔折板60 SS400 HZA50A t2.3×250、L=1920mm（遮蔽率60%）下1段	1	枚				
有孔折板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M8×30(1緩止N･2W付)	420	組				
(ツキツケ用)吊止金具 SPHC HZA50A t2.3×25×65	210	枚				
吊止金具 取付ボルト 強度4.6相当 HZA36 M8×25(1緩止N付)	210	組				
防風柵取付工 L=20m(堤頭部)	1	式				
主柱建方工 H形鋼 H-150×150×7×10 L=4550mm	8	本			代 2 号 P20	
パネル取付工 t1.6×250、L=2920mm（遮蔽率60%）	112	枚			代 3 号 P21	
付属工	1	式				
係船柱取付（陸上施工） 100kN(10t)未満	12	基			施 6 号 P39	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
縁金物取付	24	m			施 7 号 P40	
梯子取付（陸上施工）	2	基			施 8 号 P41	
梯子取付（陸上施工） 補助梯子	2	基			施 9 号 P42	
安全表示灯 LED 防水	2	基				
第3波除堤	1	式				
第3波除堤	1	式				
堤体工	1	式				
鋼製型枠組立組外(重力式) 陸上施工	126.3	㎡			施 1 号 P34	
漏えい防止シート敷設	44	㎡			施 10 号 P43	
水中コンクリート打設(ポンプ車) 50m3/日未満	125.7	m3			施 11 号 P44	
伸縮目地 瀝青質系	16.8	㎡			施 3 号 P36	
上部工	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
支保組立･組外(重力式) 陸上施工	29	m			施 12 号 P45	
鋼製型枠組立組外(重力式) 陸上施工	93.7	㎡			施 1 号 P34	
コンクリート打設(陸上) ポンプ車 50m3以上	78.7	m3			施 2 号 P35	
伸縮目地 瀝青質系	9.8	㎡			施 3 号 P36	
雑工	1	式				
コンクリートはつり 陸上施工	55.2	㎡			施 4 号 P37	
コンクリートはつり 海上施工	109	㎡			施 13 号 P46	
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 30㎜以上200㎜未満	132	孔			Ｐ 1 号 P67	
削孔(水中部)(保全工事) (径)50㎜以下 (深)200㎜以上400㎜未満	66	孔			施 14 号 P47	
アンカー取付 D19用、HP-20	44	本			代 4 号 P22	
アンカー取付 D16用、HP-16	88	本			代 1 号 P19	
アンカー取付 D19用、HP-20	66	本			代 4 号 P22	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
鉄筋加工組立（重力式） 陸上施工	200	kg			施 15 号 P48	
鉄筋加工組立（重力式） 陸上施工	86	kg			施 16 号 P49	
防風柵設置工 L=21m	1	式				
主柱 H形鋼 SS400 HZA50A H-150×150×7×10 L=4550mm	8	本				
有孔折板60 SS400 HZA50A t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）上12段	84	枚				
有孔折板60 SS400 HZA50A t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）中2段	14	枚				
防波板70 SS400 HZA50A t4.5×250、L=2940mm（遮蔽率70%）下1段	7	枚				
有孔折板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M8×30(1緩止N･2W付)	336	組				
有孔折板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M10×35(1緩止N･2W付)	56	組				
防波板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M12×40(1緩止N･2W付)	28	組				
(ツキツケ用)吊止金具 SPHC HZA50A t2.3×25×65	196	枚				
(ツキツケ用)吊止金具(特) SS400 HZA50A t3.0×25×25	7	枚				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
吊止金具 取付ボルト 強度4.6相当 HZA36 M8×25(1緩止N付)	196	組				
防風柵取付工 L=21m	1	式				
主柱建方工 H形鋼 H-150×150×7×10 L=4550mm	8	本			代 2 号 P20	
パネル取付工 t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	84	枚			代 5 号 P23	
パネル取付工 t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	14	枚			代 6 号 P24	
パネル取付工 t4.5×250、L=2940mm（遮蔽率70%）	7	枚			代 7 号 P25	
付属工	1	式				
防舷材本体取付（陸上施工)流用 H=250mm未満	7	基			施 17 号 P50	
係船柱取付（陸上施工) 100kN(10t)未満	1	基			施 6 号 P39	
係船柱取付（陸上施工)流用 100kN(10t)未満	4	基			施 18 号 P51	
縁金物取付	10	m			施 7 号 P40	
梯子取付（陸上施工)流用	1	基			施 19 号 P52	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
安全表示灯 LED 防水	2	基				
第5波除堤	1	式				
第5波除堤	1	式				
上部工	1	式				
支保組立･組外(重力式) 陸上施工	30	m			施 12 号 P45	
鋼製型枠組立組外(重力式) 陸上施工	109.7	㎡			施 1 号 P34	
コンクリート打設(陸上) ポンプ車 50m3以上	91.8	m3			施 2 号 P35	
伸縮目地 瀝青質系	6.1	㎡			施 3 号 P36	
雑工	1	式				
コンクリートはつり 陸上施工	97.2	㎡			施 4 号 P37	
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 30㎜以上200㎜未満	120	孔			Ｐ 1 号 P67	
アンカー取付 D16用、HP-16	120	本			代 1 号 P19	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
鉄筋加工組立 (重力式) 陸上施工	118	kg			施 20 号 P53	
防風柵設置工 L=30.0m	1	式				
主柱 H形鋼 SS400 HZA50A H-200×200×8×13 L=7100mm	11	本				
有孔折板60 SS400 HZA50A t1.6×250、L=2920mm（遮蔽率60%）上20段	180	枚				
有孔折板60 SS400 HZA50A t1.6×250、L=1920mm（遮蔽率60%）上20段	20	枚				
有孔折板60 SS400 HZA50A t2.3×250、L=2920mm（遮蔽率60%）中1段	9	枚				
有孔折板60 SS400 HZA50A t2.3×250、L=1920mm（遮蔽率60%）中1段	1	枚				
防波板70 SS400 HZA50A t4.5×250、L=2920mm（遮蔽率70%）下4段	36	枚				
防波板70 SS400 HZA50A t4.5×250、L=1920mm（遮蔽率70%）下4段	4	枚				
有孔折板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M8×35(1緩止N･2W付)	800	組				
有孔折板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M10×35(1緩止N･2W付)	40	組				
防波板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M12×45(1緩止N･2W付)	160	組				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
(ツキツケ用)吊止金具 SPHC HZA50A t2.3×25×65	480	枚				
(ツキツケ用)吊止金具(特) SS400 HZA50A t3.0×25×25	10	枚				
吊止金具 取付ボルト 強度4.6相当 HZA36 M8×25(1緩止N付)	480	組				
防風柵取付工 L=30.0m	1	式				
主柱建方工 H形鋼 H-150×150×7×10 L=7100mm	11	本			代 8 号 P26	
パネル取付工 t1.6×250、L=2920mm（遮蔽率60%）	200	枚			代 3 号 P21	
パネル取付工 t2.3×250、L=2920mm（遮蔽率60%）	10	枚			代 9 号 P27	
パネル取付工 t4.5×250、L=2920mm（遮蔽率70%）	40	枚			代 10 号 P28	
付属工	1	式				
梯子取付（陸上施工)流用	1	基			施 19 号 P52	
安全表示灯 LED 防水	2	基				
4号岸壁	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
4号岸壁	1	式				
防風柵設置工 段差部 L=3.0m	1	式				
有孔折板60 SS400 HZA50A t1.6×250、L=2775mm（遮蔽率60%）上15段	15	枚				
有孔折板60 SS400 HZA50A t1.6×250、L=1175mm（遮蔽率60%）上4段	4	枚				
有孔折板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M8×30(1緩止N･2W付)	76	組				
(ツキツケ用)吊止金具 SPHC HZA50A t2.3×25×65	28	枚				
吊止金具 取付ボルト 強度4.6相当 HZA36 M8×25(1緩止N付)	28	組				
コーナープレート t4.5×100×2373 SS400 HZA50A	2	枚				
コーナープレート t4.5×100×1873 SS400 HZA50A	2	枚				
有孔折板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M8×35(1緩止N･2W付)	62	組				
有孔折板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M10×40(1緩止N･2W付)	4	組				
防波板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M12×45(1緩止N･2W付)	2	組				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
パネル取付プレート t4.5×125×1000 SS400 HZA50A	1	枚				
オールアンカー M12×100(1N･1W付)	3	組				
防風柵取付工 段差部 L=3.0m	1	式				
パネル取付工 t1.6×250、L=2775mm（遮蔽率60%）	19	枚			代 11 号 P29	
防風柵設置工 取付部 L=6.0m	1	式				
主柱 H形鋼 SS400 HZA50A H-150×150×7×10 L=4550mm	3	本				
有孔折板60 SS400 HZA50A t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）上12段	24	枚				
有孔折板60 SS400 HZA50A t2.3×250、L=2940mm（遮蔽率60%）中2段	4	枚				
防波板70 SS400 HZA50A t4.5×250、L=2940mm（遮蔽率70%）下1段	2	枚				
有孔折板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M8×30(1緩止N･2W付)	96	組				
有孔折板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M10×35(1緩止N･2W付)	16	組				
防波板取付ボルト 強度4.6相当 HZA36A M12×40(1緩止N･2W付)	8	組				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
(ツキツケ用)吊止金具 SPHC HZA50A t2.3×25×65	56	枚				
(ツキツケ用)吊止金具(特) SS400 HZA50A t3.0×25×25	2	枚				
吊止金具 取付ボルト 強度4.6相当 HZA36 M8×25(1緩止N付)	56	組				
防風柵取付工 取付部 L=6.0m	1	式				
主柱建方工 H形鋼 H-150×150×7×10 L=4550mm	3	本			代 2 号 P20	
パネル取付工 t1.6×250、L=2940mm（遮蔽率60%）	24	枚			代 5 号 P23	
パネル取付工 t2.3×250、L=2920mm（遮蔽率60%）	4	枚			代 9 号 P27	
パネル取付工 t4.5×250、L=2940mm（遮蔽率70%）	2	枚			代 7 号 P25	
用地(係船環) 地域創造型	1	式				
用地(係船環)	1	式				
土工	1	式				
床掘り 土質:土砂 土留無し 標準	42	m3			P 2 号 P69	

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	11	m3			P 3 号 P70	
土砂等運搬 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 標準 良好 DID無し 距離0.3km以下	30	m3			P 4 号 P72	
整地 敷均し(ﾙｰｽﾞ) 標準(10,000m3未満)	30	m3			P 5 号 P73	
舗装工	1	式				
人力舗設 平均舗装厚20cm未満	54.7	m2			施 21 号 P54	
基礎砕石 5～15cm内外 白石	54.7	m2			P 6 号 P74	
型枠 一般型枠 鉄筋･無筋構造物	19.9	m2			P 7 号 P76	
付属工	1	式				
係船環移設工(流用) 環径D200、Φ25mm	7	基			代 12 号 P30	
係船環新設工 環径D200 Φ25mm	23	基			代 13 号 P31	
係船環撤去工 環径D200、Φ25mm	7	基			代 14 号 P32	
撤去工	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚15cmを超え30cm以下	90.4	m			P 8 号 P77	
構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工	45.7	m3			施 22 号 P55	
Co殻運搬・処理 波照間～石垣島	9	m3			代 15 号 P33	
直接工事費計						
共通仮設費計	1	式				
共通仮設費(積上げ)	1	式				
運搬費	1	式				
ミニクローラクレーン運搬費 那覇～石垣～波照間	1	式				
共通仮設費(率化)	1	式				
共通仮設費率分	1	式				
現場環境改善費率分	1	式				
純工事費	1	式				

本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
現場管理費計	1	式				
現場管理費率分	1	式				
工事原価	1	式				
一般管理費等	1	式				
工事価格	1	式				
消費税等相当額	1	式				
合計						

【 第　1 号 代価表 】

アンカー取付 D16用、HP-16　　100　本 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
コンクリートアンカー用 樹脂カプセル　D16用　HP-16	100	本				定:1
普通作業員 (昼間)	2.375	人				
諸雑費	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						

【 第　2 号 代価表 】

主柱建方工　H形鋼 H-150×150×7×10　L=4550㎜　　5　本 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
ミニクローラクレーン 2.8ｔ×1.4m級	1	日				
世話役 (一般土木)(昼間)	2.4	人				定:1
普通作業員 (昼間)	13.6	人				定:1
諸雑費	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						

【 第　3 号 代価表 】

パネル取付工 t1.6×250、L=2920㎜（遮蔽率60%）　　30　　枚 当り

名　　称　・　規　　格	数　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	摘　　要
ミニクローラクレーン 2.8ｔ×1.4m級	1	日				
世話役 (一般土木)(昼間)	1	人				定:1
普通作業員 (昼間)	3	人				定:1
諸雑費	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						

【 第　4 号 代価表 】

アンカー取付 D19用、HP-20　　100　本 当り

名　称 ・ 規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
コンクリートアンカー用 樹脂カプセル　D19用　HP-20	100	本				定:1
普通作業員 (昼間)	2.375	人				
諸雑費	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						

【 第　5 号 代価表 】

パネル取付工 t1.6×250、L=2940㎜（遮蔽率60%）　　30　　枚 当り

名　　称　・　規　　格	数　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	摘　　要
ミニクローラクレーン 2.8ｔ×1.4m級	1	日				
世話役 (一般土木)(昼間)	1	人				定:1
普通作業員 (昼間)	3	人				定:1
諸雑費	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						

【 第　6 号 代価表 】

パネル取付工 t2.3×250、L=2940㎜（遮蔽率60%）　　30　　枚 当り

名　　称　・　規　　格	数　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	摘　　要
ミニクローラクレーン 2.8ｔ×1.4m級	1	日				
世話役 (一般土木)(昼間)	1.2	人				定:1
普通作業員 (昼間)	3.6	人				定:1
諸雑費	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						

【 第　7 号 代価表 】

パネル取付工 t4.5×250、L=2940㎜（遮蔽率70%）　　30　　枚 当り

名　　称　・　規　　格	数　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	摘　　要
ミニクローラクレーン 2.8ｔ×1.4m級	1	日				
世話役 (一般土木)(昼間)	1.9	人				定:1
普通作業員 (昼間)	5.7	人				定:1
諸雑費	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						

【 第　8 号 代価表 】

主柱建方工　H形鋼 H-150×150×7×10　L=7100㎜　　10　　本 当り

名　　称　・　規　　格	数　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	摘　　要
ミニクローラクレーン 2.8ｔ×1.4m級	1	日				
世話役 (一般土木)(昼間)	3.9	人				定:1
普通作業員 (昼間)	22.1	人				定:1
諸雑費	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						

【 第　9 号 代価表 】

パネル取付工 t2.3×250、L=2920㎜（遮蔽率60%）　　30　　枚 当り

名　　称　・　規　　格	数　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	摘　　要
ミニクローラクレーン 2.8ｔ×1.4m級	1	日				
世話役 (一般土木)(昼間)	1.2	人				定:1
普通作業員 (昼間)	3.6	人				定:1
諸雑費	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						

【 第 10 号 代価表 】

パネル取付工 t4.5×250、L=2920㎜（遮蔽率70%） 30 枚 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
ミニクローラクレーン 2.8ｔ×1.4m級	1	日				
世話役 (一般土木)(昼間)	1.9	人				定:1
普通作業員 (昼間)	5.7	人				定:1
諸雑費	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						

【 第 11 号 代価表 】

パネル取付工 t1.6×250、L=2775㎜（遮蔽率60%） 59 枚 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
世話役 (一般土木)(昼間)	2.18	人				定:1
普通作業員 (昼間)	5.85	人				定:1
諸雑費	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						

【 第 12 号 代価表 】

係船環移設工(流用) 環径D200、Φ25㎜ 1 基 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号	摘 要
ブロック(1スウィング内) 撤去・据付 (陸上施工) 根固ﾌﾞﾛｯｸ	1	個			施 33 号 P66	
計						
単位当たり						

【 第 13 号 代価表 】

係船環新設工 環径D200 Φ25mm　　1 基 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	明細単価番号	摘要
基礎砕石 5～15cm内外 白石	0.63	m2			P 6 号 P74	
コンクリート 小型 一般養生	0.18	m3			P 9 号 P79	
型枠 一般型枠 小型構造物	1.22	m2			P 10 号 P80	
係船環 環径D200 JV型 SUS304	1	基				
計						
単位当たり						

【 第 14 号 代価表 】

係船環撤去工 環径D200、Φ25mm　　1　基 当り

名　称 ・ 規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
ブロック(1スウィング内) 撤去・据付 (陸上施工) 根固ﾌﾞﾛｯｸ	1	個			施 33 号 P66	
計						
単位当たり						

【 第 15 号 代価表 】

Co殻運搬・処理　波照間～石垣島　　1　m3 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
フェリー代金 全長10～11m	1	m3				
殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物 DID区間無し 機械積込	1	m3			P 11 号 P81	
計						
単位当たり						

【 第　1 号 施工単価表 】

鋼製型枠組立組外(重力式) 陸上施工　　100　㎡ 当り

(　　,漁港歩掛 P.3-6-12　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
型枠工（港湾）　上部工　[材工共] 重力式　クレーン抜き　鋼製型枠	100	ｍ２				
ラフテレーンクレーン賃料 [油圧伸縮ジブ型]16t吊	2	日				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■ [C2] = 1　ｸﾚｰﾝ規格 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ (油)16t吊		[A] = 1　施工区分 陸上施工 [J] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-6-12				

【 第　2 号 施工単価表 】

コンクリート打設(陸上) ポンプ車 50m3以上　　10　　m3 当り

(　　,漁港歩掛 P.3-6-26　　)

名　　称　・　規　　格	数　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	摘　　要
生コンクリート 18-8-40	10.3	m3				
ｺﾝｸﾘ打設工（港湾）上部工　陸上施工 ｺﾝｸﾘｰﾄ運搬含 ﾎﾟﾝﾌﾟ車 [手間のみ]	10	ｍ３				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　　■　歩掛説明　■		[A] = 2	構造物種別 無筋構造物			
[B] = 1　打設区分 ポンプ車 [E] = T0004550 生コンクリート規格 [J] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-6-26		[C] = 2 [I] = 1	ﾎﾟﾝﾌﾟ車(1台/日)打設量 50m3以上 材料割増の有無 割増有り			

【 第　3 号 施工単価表 】

伸縮目地 瀝青質系　　100　㎡ 当り

(　　,漁港歩掛 P.3-6-24　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
伸縮目地工（港湾）　[材工共] 瀝青系	100	ｍ２				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■ [C] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-6-24		[A] = 1　規格 瀝青質系				

【 第　4 号 施工単価表 】

コンクリートはつり 陸上施工　　100　㎡ 当り

(　　,漁港歩掛 P.3-6-34　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
空気圧縮機運転 ﾛｰﾀﾘｰ 7.5～7.8m3/min	1	日			施　23 号 P56	定:1
さく岩機運転 コンクリートブレーカ 20kg級	3	日			施　24 号 P57	定:1
特殊作業員 (昼間)	3.75	人				定:1
雑材料	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■ [B] = 1　係数ランク 1		[A] = 1　施工区分 陸上施工 [D] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-6-34				

【 第　5 号 施工単価表 】

鉄筋加工組立（重力式）陸上施工　　1,000　kg 当り

(SD295A　D16　　,漁港歩掛 P.3-6-21　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
異形棒鋼 SD295/D16	1.03	t				
鉄筋工（港湾）　上部工　[手間のみ] クレーン抜き	1	t				
ラフテレーンクレーン賃料 [油圧伸縮ジブ型]16t吊	0.1	日				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■　歩掛説明　■ [A1] = 1　構造形式（重力式） [F] = 3　異形棒鋼の規格（SD295A）D16 [I] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-6-21			[A] = 1　施工区分 陸上施工 [C2] = 1　陸上クレーン種類 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ（油）16t吊 [G] = 1　材料割増の有無 割増有り			

【 第　6 号 施工単価表 】

係船柱取付 (陸上施工) 100kN(10t)未満　　5　基 当り

(　　,漁港歩掛 P.3-7-7　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
けい船柱 レジンコンクリート 5t型 直柱	5	基				
係船柱取付工(港湾) 係船柱取付 [手間のみ] けん引力100ｋＮ未満　陸上施工　ｸﾚｰﾝ抜き	5	基				
ラフテレーンクレーン賃料 [油圧伸縮ジブ型]16t吊	0.4	日				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■ [B] = 1　適用区分 100kN(10t)未満 [D] = 8　係船柱区分 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製 直柱 5t型			[A] = 1　施工区分 (陸上施工) [C] = 1　ｸﾚｰﾝ規格 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ (油)16t吊 [G] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-7-7			

【 第　7 号 施工単価表 】

縁金物取付　　100　m 当り

(延30m未満　　,漁港歩掛 P.3-7-13　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
縁金物	100	m				
縁金物取付工（港湾） 縁金物取付 二次製品［手間のみ］	100	m				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■ [C] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-7-13		[D] =	2　施工規模区分	延30m未満		

【 第　8 号 施工単価表 】

梯子取付 (陸上施工)　　14　　基 当り

(　　,漁港歩掛 P.3-7-10　　)

名　　称 ・ 規　　格	数　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	摘　　要
梯子	14	基				
防舷材取付工（港湾） 梯子取付 H=250㎜未満 陸上施工 ｸﾚｰﾝ抜 [手間のみ]	14	基				
ラフテレーンクレーン賃料 [油圧伸縮ジブ型]16t吊	1	日				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　　■ 歩掛説明 ■ [G] = 1 ｸﾚｰﾝ規格 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ (油)16t吊 [F] = 2 歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-7-10		[A] = 1 施工区分 (陸上施工) [H] = 2 施工規模区分 ５基未満				

【 第　9 号 施工単価表 】

梯子取付（陸上施工）補助梯子　　14　　基 当り

(　　,漁港歩掛 P.3-7-10　　)

名　　称 ・ 規　　格	数　量	単位	単　　価	金　　額	明細単価番号	摘　　要
梯子	14	基				
防舷材取付工（港湾） 梯子取付 H=250㎜未満 陸上施工 ｸﾚｰﾝ抜 [手間のみ]	14	基				
ラフテレーンクレーン賃料 [油圧伸縮ジブ型]16t吊	1	日				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　　■ 歩掛説明 ■ [G] = 1 ｸﾚｰﾝ規格 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ (油)16t吊 [F] = 2 歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-7-10		[A] = 1 施工区分 (陸上施工) [H] = 2 施工規模区分 ５基未満				

【 第 10 号 施工単価表 】

漏えい防止シート敷設　　100 ㎡ 当り

(,漁港歩掛 P.3-4.3-10)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
漏えい防止シート	130	㎡				定:1
潜水士船 D270ps 3～5t吊	0.5	日			施 25 号 P58	定:1
普通作業員 (昼間)	1.625	人				定:1
雑材料	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000 ■ 歩掛説明 ■ [C] = 1 係数ランク 1		[B] = 1 材料割増の有無 割増有り [E] = 2 歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-4.3-10				

【 第 11 号 施工単価表 】

水中コンクリート打設(ポンプ車) 50m3/日未満　　10　m3 当り

(　　,漁港歩掛 P.3-4.3-13　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
生コンクリート	10.6	m3				
コンクリートポンプ車運転 ブーム式90～110m3/h	0.2	日			施 26 号 P59	定:1
潜水士船 D270ps 3～5t吊	0.1	日			施 25 号 P58	定:1
世話役 (一般土木)(昼間)	0.375	人				定:1
特殊作業員 (昼間)	0.5	人				定:1
普通作業員 (昼間)	1.125	人				定:1
雑材料	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■			[A] = 1 打設区分 50m3/日未満			
[C] = T 生コンクリート規格 [H] = 1 材料割増の有無 割増有り			[G] = 1 係数ランク 1 [I] = 2 歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-4.3-13			

【 第 12 号 施工単価表 】

支保組立･組外(重力式) 陸上施工　　100 m 当り

(,漁港歩掛 P.3-6-11)

名　称 ・ 規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
支保工（港湾） 上部工 ［材工共］ 重力式 クレーン抜き	100	m				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000 ■ 歩掛説明 ■ [F] = 2 歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-6-11		[A] = 1	区分 陸上施工			

【 第 13 号 施工単価表 】

コンクリートはつり 海上施工　　100 ㎡ 当り

(　　,漁港歩掛 P.3-6-34　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
空気圧縮機運転 ﾛｰﾀﾘｰ 7.5～7.8m3/min	1	日			施 27 号 P60	定:1
さく岩機運転 コンクリートブレーカ 20kg級	3	日			施 24 号 P57	定:1
台船 鋼100t積	1	日			施 28 号 P61	定:1
作業用引船 鋼D200ps	1	日			施 29 号 P62	定:1
特殊作業員 (昼間)	3.75	人				定:1
雑材料	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■ [B] = 1　係数ランク 1			[A] = 2　施工区分 海上施工 [D] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-6-34			

【 第 14 号 施工単価表 】

削孔(水中部)(保全工事) (径)50㎜以下 (深)200㎜以上400㎜未満　　100　孔 当り

(既設構造物等を基地として作業できる場合　　,漁港歩掛 P.3-19-(3)　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
潜水士 (昼間)	2.2	人				定:1
潜水連絡員 (昼間)	2.2	人				定:1
潜水送気員 (昼間)	2.2	人				定:1
さく岩機運転 ハンドドリル(空圧式) 15kg級	2.2	日			施 30 号 P63	定:1
空気圧縮機運転 ﾛｰﾀﾘｰ 3.5～3.7m3/min	2.2	日			施 31 号 P64	定:1
雑材料	6.5	%				参:1
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■			[A] = 1 適用現場条件 既設構造物等を基地として作業できる場合			
[C] = 1 適用削孔径 (径)50㎜以下 [J] = 2 歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-19-(3)			[D] = 1 適用削孔深 (深)200㎜以上400㎜未満			

【 第 15 号 施工単価表 】

鉄筋加工組立（重力式）陸上施工　　1,000　kg 当り

(SD295A　D19　　,漁港歩掛 P.3-6-21　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
異形棒鋼 SD295/D19	1.03	t				
鉄筋工（港湾）　上部工　[手間のみ] クレーン抜き	1	t				
ラフテレーンクレーン賃料 [油圧伸縮ジブ型]16t吊	0.1	日				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■ [A1] = 1　構造形式（重力式） [F] = 4　異形棒鋼の規格（SD295A）D19 [I] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-6-21			[A] = 1　施工区分 陸上施工 [C2] = 1　陸上クレーン種類 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ（油）16t吊 [G] = 1　材料割増の有無 割増有り			

【 第 16 号 施工単価表 】

鉄筋加工組立（重力式）陸上施工　　1,000　kg 当り

(SD295A　D16　　,漁港歩掛 P.3-6-21　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
異形棒鋼 SD295/D16	1.03	t				
鉄筋工（港湾）　上部工　[手間のみ] クレーン抜き	1	t				
ラフテレーンクレーン賃料 [油圧伸縮ジブ型]16t吊	0.1	日				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■　歩掛説明　■ [A1] = 1　構造形式（重力式） [F] = 3　異形棒鋼の規格（SD295A）D16 [I] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-6-21			[A] = 1　施工区分 陸上施工 [C2] = 1　陸上クレーン種類 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ（油）16t吊 [G] = 1　材料割増の有無 割増有り			

【 第 17 号 施工単価表 】

防舷材本体取付 (陸上施工)流用 H=250㎜未満　　14　基 当り

(　　,漁港歩掛 P.3-7-10　　)

名　称 ・ 規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
防舷材 V 型　高150㎜×2.0m	14	基				
防舷材取付工(港湾) 防舷材取付 [手間のみ] H＝250mm未満　陸上施工　ｸﾚｰﾝ抜き	14	基				
ラフテレーンクレーン賃料 [油圧伸縮ジブ型]16t吊	1	日				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■ [B] = 1　区分(2) (陸上施工) [D] = 1　ｸﾚｰﾝ規格 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ (油)16t吊 [I] = 2　施工規模区分 ５基未満			[A] = 1　区分(1) H=250㎜未満 [C] = 3　防舷材規格 (V型)150H 長さ2m [H] = 2　引船の計上(陸上) 計上しない [G] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-7-10			

【 第 18 号 施工単価表 】

係船柱取付 (陸上施工)流用 100kN(10t)未満　　5　基 当り

(　　,漁港歩掛 P.3-7-7　　)

名　称 ・ 規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
けい船柱 レジンコンクリート 5t型 直柱	5	基				
係船柱取付工(港湾) 係船柱取付 [手間のみ] けん引力100ｋＮ未満　陸上施工　ｸﾚｰﾝ抜き	5	基				
ラフテレーンクレーン賃料 [油圧伸縮ジブ型]16t吊	0.4	日				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■ [B] = 1　適用区分 100kN(10t)未満 [D] = 8　係船柱区分 ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製 直柱 5t型			[A] = 1　施工区分 (陸上施工) [C] = 1　ｸﾚｰﾝ規格 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ (油)16t吊 [G] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-7-7			

【 第 19 号 施工単価表 】

梯子取付 (陸上施工)流用　　14　基 当り

(　　,漁港歩掛 P.3-7-10　　)

名　称 ・ 規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
梯子	14	基				
防舷材取付工（港湾） 梯子取付 H=250㎜未満 陸上施工 ｸﾚｰﾝ抜 [手間のみ]	14	基				
ラフテレーンクレーン賃料 [油圧伸縮ジブ型]16t吊	1	日				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■ [G] = 1 ｸﾚｰﾝ規格 ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ (油)16t吊 [F] = 2 歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-7-10		[A] = 1 施工区分 (陸上施工) [H] = 2 施工規模区分 ５基未満				

【 第 20 号 施工単価表 】

鉄筋加工組立（重力式）陸上施工　　1,000　kg 当り

(SD295A　D16　　,漁港歩掛 P.3-6-21　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
異形棒鋼 SD295/D16	1.03	t				
鉄筋工（港湾）　上部工　［手間のみ］ クレーン抜き	1	t				
クローラクレーン運転(排対型) 50ｔ吊	0.1	日			施　32 号 P65	
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■　歩掛説明　■ [A1] = 1　構造形式（重力式） [F] = 3　異形棒鋼の規格（SD295A）D16 [I] = 2　歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-6-21			[A] = 1　施工区分 陸上施工 [C2] = 7　陸上クレーン種類 ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ（油）50ｔ吊 [G] = 1　材料割増の有無 割増有り			

【 第 21 号 施工単価表 】

人力舗設 平均舗装厚20㎝未満　　100 ㎡ 当り

(,昼間(亜熱帯割増) Ⅳ－1－⑤－5)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
世話役 (一般土木)(昼間)	1.35	人				定:1
特殊作業員 (昼間)	4.187	人				定:1
普通作業員 (昼間)	7.975	人				定:1
諸雑費	27	%				定:A 参:1
諸雑費	1	式				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■ [D] = 1 作業時間帯 昼間(亜熱帯割増)			[A] = 1 平均舗装厚 平均舗装厚20㎝未満 [E] = 1 施工歩掛ページ Ⅳ－1－⑤－5			

【 第 22 号 施工単価表 】

構造物とりこわし工 無筋構造物 機械施工　　10 m3 当り

(時間的制約を受けない ,夜間作業しない 漁港歩掛 P.3-17-3)

名　称 ・ 規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
構造物とりこわし工 昼間施工[手間のみ] 無筋構造物　機械施工　時間的制約なし	10	m3				
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000　■ 歩掛説明 ■ [B] = 1　施工区分 機械施工 [D] = 2　夜間作業の有無 夜間作業しない [E] = 2　施工歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-17-3		[A] = 1　構造物種別 無筋構造物 [C] = 1　時間的制約状況の程度 時間的制約を受けない [F] = 2　施工条件補正(K1) 低騒音･低振動対策無し				

【 第 23 号 施工単価表 】

空気圧縮機運転 ﾛｰﾀﾘｰ 7.5～7.8m3/min　　1　日 当り

(陸上　　,　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
軽油	56	L				
空気圧縮機賃料 エンジンコンプレッサ 7.5～7.8m3/min	1.56	日				
計						
[条件] [A] = 4　ｺﾝﾌﾟﾚｯｻ規格 ﾛｰﾀﾘｰ 7.5～7.8m3/min [C] = 1　係数ランク 1		[B] = 1　現場区分 陸上				

【 第 24 号 施工単価表 】

さく岩機運転 コンクリートブレーカ 20kg級　　1　日 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
さく岩機[ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ] 20kg級	1	日				
さく岩機[ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾚｰｶ] 20kg級	1.71	日				
計						
[条件] [A] = 2　規格 コンクリートブレーカ 20kg級						

【 第 25 号 施工単価表 】

潜水士船 D270ps 3～5t吊　　1　日 当り

(就業8ｈ　　,　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
軽油 (免税品)(船舶用)	129	L				
潜水世話役 (昼間)	0.24	人				
潜水士 (昼間)	1.2	人				
潜水連絡員 (昼間)	1.2	人				
潜水送気員 (昼間)	1.2	人				
潜水士船 D270PS型3~5t吊7.3GT	1	日				
潜水士船 D270PS型3~5t吊7.3GT	1.65	日				
計						
[条件] [A] = 1　規格 D270ps 3～5t吊 [C] = 1　係数ランク 1		[B] = 1　運転区分 就業8ｈ				

【 第 26 号 施工単価表 】

コンクリートポンプ車運転 ブーム式90～110m3/h　　1　日 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
軽油	88	L				
運転手 (特殊)(昼間)	1	人				
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車[ﾄﾗｯｸ架装･ﾌﾞｰﾑ式] 圧送能力90~110m3/h	6.8	時間				
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車[ﾄﾗｯｸ架装･ﾌﾞｰﾑ式] 圧送能力90~110m3/h	1.14	日				
計						
[条件] [A] = 1　規格 ブーム式90～110m3/h						

【 第 27 号 施工単価表 】

空気圧縮機運転 ﾛｰﾀﾘｰ 7.5～7.8m3/min　　1　日 当り

(海上　　,　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
軽油	47	L				
空気圧縮機賃料 エンジンコンプレッサ 7.5～7.8m3/min	1.65	日				
計						
[条件] [A] = 4　ｺﾝﾌﾟﾚｯｻ規格 ﾛｰﾀﾘｰ 7.5～7.8m3/min [C] = 1　係数ランク 1		[B] = 2　現場区分 海上				

【 第 28 号 施工単価表 】

台船 鋼100t積　　1 日 当り

(就業8ｈ ,)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
普通船員 (昼間)	2.4	人				
台船 100t積	1.65	日				
計						
[条件] [A] = 1 台船規格 鋼100t積		[B] = 1 運転時間 就業8ｈ				
[C] = 1 係数ランク 1						

【 第 29 号 施工単価表 】

作業用引船 鋼D200ps　　1　日 当り

(就8h-運2h　　,　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
重油 A(バージ)	46	L				
高級船員 (昼間)	1.2	人				
普通船員 (昼間)	1.2	人				
引船[鋼製] D200PS型15GT	2	時間				
引船[鋼製] D200PS型15GT	1.65	日				
計						
[条件] [A] = 1　作業用引船規格 鋼D200ps [C] = 1　係数ランク 1		[B] = 1　運転区分 就8h-運2h				

【 第 30 号 施工単価表 】

さく岩機運転 ハンドドリル(空圧式) 15kg級　　1　日 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
さく岩機[ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾘﾙ(空圧式)] 質量15kg級	1	日				
さく岩機[ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾘﾙ(空圧式)] 質量15kg級	1.71	日				
計						
[条件] [A] = 1　規格 ハンドドリル(空圧式) 15kg級						

【 第 31 号 施工単価表 】

空気圧縮機運転 ﾛｰﾀﾘｰ 3.5～3.7m3/min　　1　日 当り

(陸上　　,　　)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
軽油	25	L				
空気圧縮機賃料 エンジンコンプレッサ 3.5～3.7m3/min	1.56	日				
計						
[条件] [A] = 2 ｺﾝﾌﾟﾚｯｻ規格 ﾛｰﾀﾘｰ 3.5～3.7m3/min [C] = 1 係数ランク 1		[B] = 1	現場区分 陸上			

【 第 32 号 施工単価表 】

クローラクレーン運転(排対型) 50ｔ吊　　1　日 当り

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
軽油	70	L				
クローラクレーン賃料 油圧駆動式ｳｨﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型 50t吊	1	日				
計						
[条件] [A] = 1　ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ(油圧式)規格 50ｔ吊						

【 第 33 号 施工単価表 】

ブロック(1スウィング内) 撤去・据付 (陸上施工) 根固ﾌﾞﾛｯｸ　　76　個 当り

(4.5t未満 ,漁港歩掛 P.3-17-11)

名　称・規　格	数　量	単位	単　価	金　額	明細単価番号	摘　要
ラフテレーンクレーン賃料 [油圧伸縮ジブ型]25t吊	1	日				定:1
とび工 (昼間)	1.25	人				定:1
普通作業員 (昼間)	3.75	人				定:1
雑材料	0.5	%				参:1
計						
単位当たり						
[条件] [YY] = 0.000 ■ 歩掛説明 ■		[A] = 1 施工区分(E3) (陸上施工)				
[B] = 3 作業種類(E1) 撤去・据付		[C] = 6 塊種類(E2) 根固ﾌﾞﾛｯｸ				
[D] = 1 塊重量(E4) 4.5t未満		[D1] = 1 クレーン規格 標準規格				
[E] = 1 ウインチ移動(E5) 移動なし		[F] = 1 施工内容 玉掛･玉外どちらも陸(水)上				
[K] = 2 歩掛ページ 漁港歩掛 P.3-17-11						

【 第　1 号 施工パッケージ 】

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　30㎜以上200㎜未満　　1　　孔 当り

(　　,昼間(亜熱帯割増有)　Ⅱ-2-⑮-2　　)

名　　称　・　規　　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　　要
【機械】	2.15				
発動発電機賃料[ガソリン駆動] 2kVA	1.03				
その他[電動ﾊﾝﾏﾄﾞﾘﾙ] 穴あけ能力φ38~40㎜	0.72				
その他(機械)					
【労務】	95.53				
特殊作業員 (昼間)	45.54				
普通作業員 (昼間)	18.55				
世話役 (一般土木)(昼間)	13.59				
その他(労務)					
【材料】	2.32				
ガソリン レギュラー	1.89				
その他(材料)					

【 第　1 号 施工パッケージ 】　　（続　き）

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　30㎜以上200㎜未満　　1　　孔 当り

(　　,昼間(亜熱帯割増有)　Ⅱ-2-⑮-2　　)

名　　称　・　規　　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　　要
【端数調整】					
[条件] [J01] = 1　削孔深さ 30㎜以上200㎜未満 [Y2] = 1　建設機械賃料長期補正 あり [Z2] = 1.000　機械損料補正係数	[X1] = 1　作業時間帯 昼間(亜熱帯割増有) [Z1] = 1.000　労務補正係数				

【 第　2 号 施工パッケージ 】

床掘り 土質:土砂 土留無し　標準　　1　　m3 当り

(障害無し　　,昼間(亜熱帯割増有) Ⅱ-1-③-6　　)

名　　称　・　規　　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　　要
【機械】	22.47				
バックホウ賃料 [ｸﾛｰﾗ型]0.8m3	22.47				
【労務】	53.87				
運転手 (特殊)(昼間)	53.87				
【材料】	23.66				
軽油	23.66				
【端数調整】					
[条件] [J01] = 1　土質 土砂 [J03] = 1　土留方式の種類 土留無し [X1] = 1　作業時間帯 昼間(亜熱帯割増有) [Z1] = 1.000　労務補正係数	[J02] = 1　施工方法 標準 [J04] = 1　障害の有無 無し [Y2] = 1　建設機械賃料長期補正 あり				

【 第　3 号 施工パッケージ 】

埋戻し　最大埋戻幅1m以上4m未満　　1　　m3 当り

(　　,昼間(亜熱帯割増有)　Ⅱ-1-③-13　　)

名　　称　・　規　　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　　要
【機械】	9.29				
バックホウ賃料 [ｸﾛｰﾗ型]0.8m3	7.79				
振動ローラ賃料[ハンドガイド式] 質量0.5～0.6t	1.41				
タンパ賃料 60～80kg	0.09				
【労務】	82.13				
普通作業員 (昼間)	40.17				
特殊作業員 (昼間)	26.27				
運転手 (特殊)(昼間)	15.69				
【材料】	8.58				
軽油	8.45				
ガソリン レギュラー	0.13				
【端数調整】					

【 第　3 号 施工パッケージ 】　　（続　き）

埋戻し　最大埋戻幅1m以上4m未満　　1　　m3 当り

(　　,昼間(亜熱帯割増有)　Ⅱ-1-③-13　　)

名　　称　・　規　　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　　要
[条件] [J01] = 3　施工方法 最大埋戻幅1m以上4m未満 [Y2] = 1　建設機械賃料長期補正 あり	[X1] = 1　作業時間帯 昼間(亜熱帯割増有) [Z1] = 1.000　労務補正係数				

【 第　4 号 施工パッケージ 】

土砂等運搬 土砂(岩塊･玉石混り土含む) 標準 良好　DID無し 距離0.3km以下　　1　　m3 当り

(ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3)　　,昼間(亜熱帯割増無) Ⅱ-1-②-19　　)

名　　称　・　規　　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　　要
【機械】	44.67				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 10t積級	44.67				
【労務】	40.44				
運転手 (一般)(昼間)	40.44				
【材料】	14.89				
軽油	14.89				
【端数調整】					
[条件] [J01] = 1　土砂等発生現場 標準	[J02] = 1　積込機種･規格 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3)				
[J03] = 1　土質 土砂(岩塊･玉石混り土含む)	[J04] = 1　DID区間の有無 無し				
[J05] = 1　運搬距離 0.3km以下	[K01] = 1　路面状況 良好				
[X1] = 1　作業時間帯 昼間(亜熱帯割増有)	[Z1] = 1.000　労務補正係数				
[Z2] = 1.000　機械損料補正係数					

【 第　5 号 施工パッケージ 】

整地　敷均し(ﾙｰｽﾞ) 標準(10,000m3未満)　　1　　m3 当り

(障害無し　　,昼間(亜熱帯割増無) II -1-②-21　　)

名　　称　・　規　　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　　要
【機械】	22.80				
バックホウ賃料 [ｸﾛｰﾗ型]0.8m3	22.80				
【労務】	53.11				
運転手 (特殊)(昼間)	53.11				
【材料】	24.09				
軽油	24.09				
【端数調整】					
[条件] [J01] = 2　作業区分 敷均し(ﾙｰｽﾞ) [J02] = 1　施工数量 標準(10,000m3未満) [J03] = 1　障害の有無 無し [X1] = 1　作業時間帯 昼間(亜熱帯割増有) [Y2] = 1　建設機械賃料長期補正 あり [Z1] = 1.000　労務補正係数					

【 第　6 号 施工パッケージ 】

基礎砕石　5～15㎝内外　白石　　1　　m2 当り

(砕石の厚さ27.5㎝を超え30.0㎝以下　　,昼間(亜熱帯割増有) Ⅱ-2-②-2　　)

名　　称　・　規　　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　　要
【機械】	4.74				
バックホウ賃料 [ｸﾛｰﾗ型]0.8m3	4.71				
その他(機械)					
【労務】	69.59				
普通作業員 (昼間)	33.45				
特殊作業員 (昼間)	14.12				
運転手 (特殊)(昼間)	13.11				
世話役 (一般土木)(昼間)	8.43				
その他(労務)					
【材料】	25.67				
割栗石 5～15㎝内外　白石	21.26				
軽油	4.38				

【 第　6 号 施工パッケージ 】　　（続　き）

基礎砕石　5～15㎝内外　白石　　1　　m2 当り

(砕石の厚さ27.5㎝を超え30.0㎝以下　　,昼間(亜熱帯割増有) Ⅱ-2-②-2　　)

名　　称　・　規　　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　　要
その他(材料)					
【端数調整】					
[条件] [J01] = 7　砕石の厚さ 27.5㎝を超え30.0㎝以下 [X1] = 1　作業時間帯 昼間(亜熱帯割増有) [Z1] = 1.000　労務補正係数	[K02] = T0000150 砕石規格 [Y2] = 1　建設機械賃料長期補正 あり				

【 第　7 号 施工パッケージ 】

型枠 一般型枠　鉄筋･無筋構造物　　1　　m2 当り

(　　,昼間(亜熱帯割増有) Ⅱ-4-②-3　　)

名　　称　・　規　　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　　要
【労務】	100.00				
型枠工 (昼間)	46.66				
普通作業員 (昼間)	25.14				
世話役 (一般土木)(昼間)	9.51				
その他(労務)					
【端数調整】					
[条件] [J01] = 1　型枠の種類 一般型枠 [X1] = 1　作業時間帯 昼間(亜熱帯割増有)	[J02] = 1　構造物の種類 鉄筋･無筋構造物 [Z1] = 1.000　労務補正係数				

【 第　8 号 施工パッケージ 】

舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚15cmを超え30cm以下　　1　m 当り

(　　,昼間(亜熱帯割増有) Ⅳ-3-③-2　　)

名　称・規　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　要
【機械】	12.13				
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ[ﾊﾞｷｭｰﾑ式(超低騒音型)・湿式] 切削深30cm級ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径φ75cm	8.25				
その他(機械)					
【労務】	44.25				
特殊作業員 (昼間)	15.11				
世話役 (一般土木)(昼間)	8.25				
普通作業員 (昼間)	6.76				
その他(労務)					
【材料】	43.62				
コンクリートカッタ （ブレード）径30インチ	19.28				
コンクリートカッタ（ブレード） 径22ｲﾝﾁ	13.24				
コンクリートカッタ（ブレード） 径14インチ	8.10				

【 第　8 号 施工パッケージ 】　　（続　き）

舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版　ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚15cmを超え30cm以下　　1　m 当り

(　　,昼間(亜熱帯割増有) Ⅳ-3-③-2　　)

名　称　・　規　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　要
ガソリン レギュラー	2.04				
その他(材料)					
【端数調整】					
[条件] [J01] = 1　舗装版種別 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 [J02] = 2　ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚 15cmを超え30cm以下 [K02] = 52,600.000　コンクリートカッタφ14単価(枚) [X1] = 1　作業時間帯 昼間(亜熱帯割増有) [Z1] = 1.000　労務補正係数 [Z2] = 1.000　機械損料補正係数					

【 第　9 号 施工パッケージ 】

コンクリート 小型 一般養生　　1　　m3 当り

(人力　　,昼間(亜熱帯割増有) Ⅱ-4-①-7　　)

名　　称　・　規　　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　　要
【労務】	41.15				
普通作業員 (昼間)	22.25				
世話役 (一般土木)(昼間)	9.19				
特殊作業員 (昼間)	7.69				
その他(労務)					
【材料】	58.85				
生コンクリート 18-8-40	58.85				
【端数調整】					
[条件] [J01] = 2　構造物種別 小型構造物 [J04] = 2　養生工の種類 一般養生 [N1] = T0004550 生コンクリート規格 [Z1] = 1.000　労務補正係数	[J02] = 3　打設工法 人力打設 [J06] = 2　現場内小運搬の有無 無し [X1] = 1　作業時間帯 昼間(亜熱帯割増有)				

【 第 10 号 施工パッケージ 】

型枠 一般型枠 小型構造物　　1 m2 当り

(,昼間(亜熱帯割増有) Ⅱ-4-②-3)

名　称 ・ 規　格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘　要
【労務】	100.00				
型枠工 (昼間)	44.28				
普通作業員 (昼間)	30.82				
世話役 (一般土木)(昼間)	11.86				
その他(労務)					
【端数調整】					
[条件] [J01] = 1　型枠の種類 一般型枠 [X1] = 1　作業時間帯 昼間(亜熱帯割増有)	[J02] = 2　構造物の種類 小型構造物 [Z1] = 1.000　労務補正係数				

【 第 11 号 施工パッケージ 】

殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物 DID区間無し 機械積込 1 m3 当り

(運搬距離5.7km以下 良好 ,昼間(亜熱帯割増無)Ⅱ-2-(25)-6)

名 称 ・ 規 格	構成比(%)	基準地区単価	積算地区単価	明細単価番号	摘 要
【機械】	40.77				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 10t積級	40.77				
【労務】	44.82				
運転手 (一般)(昼間)	44.82				
【材料】	14.41				
軽油	14.41				
【端数調整】					
[条件]					
[J01] = 1 殻発生作業 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし	[J02] = 1 積込工法区分 機械積込				
[J03] = 1 DID区間の有無 無し	[J04] = 3 運搬距離 5.7km以下				
[K01] = 1 路面状況 良好	[X1] = 1 作業時間帯 昼間(亜熱帯割増有)				
[Z1] = 1.000 労務補正係数	[Z2] = 1.000 機械損料補正係数				

諸 経 費 設 定 情 報

名　　称	値
【工区名称：構造物工事01】	
[基本設定]	
施工地域	山間地域及び離島に係る漁港漁場
前払金支出割合区分	３５％を超える場合(*1.00)
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合(+0.04%)
契約保証に係る補正の計算方法	一般管理費・補正額毎に端数調整して加算(一般管理費で計算)
一般管理費調整（端数調整・目標額設定）	工事価格端数調整
工事価格端数調整	万円止め
調整文字列	調整額を表記
海上輸送に要する補正	補正無し
現場環境改善費計上区分	計上する
[共通仮設費]	
率指定	しない(標準率)
乗算補正(*n)	0
乗算補正方法	標準率のみに乗じる
週休2日補正(*n)	1.02
週休2日補正方法	最後に補正する
加算補正(+n) (%)	0
[現場環境改善費]	
率指定	しない(標準率)
乗算補正(*n)	0
加算補正(+n) (%)	0
[現場管理費]	
率指定	しない(標準率)
冬期補正の有無	冬期補正無
工期日数	0
冬期日数	0
緊急工事補正	緊急工事補正無
補正率合計値の上限(%)	0
乗算補正(*n)	0

諸 経 費 設 定 情 報

名　　称	値
乗算補正方法	標準率のみに乗じる
週休2日補正(*n)	1.03
週休2日補正方法	最後に補正する
加算補正(+n) (%)	0
[工期延長等に伴う増加費用]	
工期延長等に伴う増加費用計上区分	計上しない
[一般管理費等]	
率指定	しない(標準率)
契約保証に係る額の対象額(円)	0
乗算補正(*n)	0
加算補正(+n) (%)	0
[消費税]	
(経過措置)複数の税率を適用する	複数税率を適用しない

様式第 1 号

特別調査の単価一覧表

工事名:波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)

工事場所:竹富町　波照間漁港

発注者:沖縄県　南部農林土木事務所

名称	規格	単位	単価	摘要
H型綱	H-150×150×7×10　L=4,750mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	本	164,000	
H型綱	H-150×150×7×10　L=4,550mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	本	157,000	
H型綱	H-175×175×7.5×11　L=6,300mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	本	283,000	
H型綱	H-175×175×7.5×11　L=6,050mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	本	271,000	
H型綱	H-175×175×7.5×11　L=5,900mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	本	265,000	
H型綱	H-200×200×8×13　L=7,100mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	本	395,000	
有孔折板	遮蔽率60% t1.6mm×250mm L=2,940mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	13,900	
有孔折板	遮蔽率60% t1.6mm×250mm L=2,920mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	13,900	
有孔折板	遮蔽率60% t1.6mm×250mm L=2,775mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	13,900	
有孔折板	遮蔽率60% t1.6mm×250mm L=1,940mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	12,500	
有孔折板	遮蔽率60% t1.6mm×250mm L=1,920mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	12,500	
有孔折板	遮蔽率60% t1.6mm×250mm L=1,175mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	12,500	
有孔折板	遮蔽率60% t2.3mm×250mm L=2,940mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	27,500	
有孔折板	遮蔽率60% t2.3mm×250mm L=2,920mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	27,500	
有孔折板	遮蔽率60% t2.3mm×250mm L=2,860mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	27,500	

有孔折板	遮蔽率60% t2.3mm×250mm L=2,840mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	27,500	
有孔折板	遮蔽率60% t2.3mm×250mm L=1,940mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	24,400	
防波板	遮蔽率70% t4.5mm×250mm L=2,940mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	36,700	
防波板	遮蔽率70% t4.5mm×250mm L=2,920mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	36,700	
防波板	遮蔽率70% t4.5mm×250mm L=1,920mm 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	32,900	
ボルト・ナット	M8×30(緩止ナット、ワッシャー2個付き) 有孔折板取付用 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	組	198	
ボルト・ナット	M8×35(緩止ナット、ワッシャー2個付き) 有孔折板取付用 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	組	198	
ボルト・ナット	M10×35(緩止ナット、ワッシャー2個付き) 有孔折板取付用 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	組	270	
ボルト・ナット	M10×40(緩止ナット、ワッシャー2個付き) 有孔折板取付用 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	組	270	
ボルト・ナット	M12×40(緩止ナット、ワッシャー2個付き) 有孔折板取付用 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	組	396	
ボルト・ナット	M12×45(緩止ナット、ワッシャー2個付き) 有孔折板取付用 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	組	396	
巾止金具	t2.3×25×65 有孔折板ツキツケ用 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	90	
巾止金具	t3.0×25×25 有孔折板ツキツケ用 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	99	
ボルト・ナット	M8×25 (緩止ナット付き)巾止金具用 有孔折板巾止金具用 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	組	162	
コーナープレート	t4.5×100×2,373 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	17,600	
コーナープレート	t4.5×100×1,873 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	13,800	
パネル取付プレート	t4.5×125×1,000 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	枚	9,330	
オールアンカー	M12×100 (1N・1W付) 溶融亜鉛アルミニウム合金メッキ (アルミニウム5%マグネシウム1%)	組	1,540	
六角ボルト	M24×60(1アイナット、1W付)	組	15,400	

様式第 2 号

見積り採用単価一覧表

工事名：波照間漁港波除堤等整備工事(R8-2)

工事場所：竹富町　波照間漁港

発注者：沖縄県　南部農林土木事務所

名称	規格	単位	単価	摘要
安全表示灯	BOX型表示灯　角度付タイプ(20°)	基	286,500	
フェリー代金	Co殻、As殻	m3	12,960	
ミニクローラクレーン	2.8t×1.4m級	日	41,680	
ミニクローラクレーン運搬費	那覇～石垣～波照間	式	450,000	

（記載要領）

1．沖縄県情報公開条例第7条の不開示情報に該当する可能性のある単価は、摘要欄に「沖縄県情報公開条例第7条の不開示情報に該当」と記入する。

2．引き渡し条件に留意事項があれば、摘要欄に記入のこと。

3．図面等の添付がある場合は、摘要欄にその旨を記載すること。